

---

# ZEUSCloud スタートアップマニュアル

---

## 文書管理

日付	作成者	版	補足
2019/09/18	ZEAL 宇田川	1.0	初版作成
2020/10/01	ZEAL	2.0	名称変更・機能追加に伴う加筆修正
2021/03/22	ZEAL	2.1	キャプチャの最新化、DWH およびデータレイク取り込み時のコメント修正

---

---

## 目次

文書管理 .....	2
目次 .....	3
1 はじめに .....	5
1.1 ZEUSCloud とは .....	5
1.2 ZEUSCloud 機能一覧 .....	6
1.3 ユーザーの役割と機能 .....	7
2 ポータル .....	8
2.1 各機能への接続 .....	8
2.2 メンテナンス機能 .....	9
3 データレイクを用いた分析方法 .....	11
3.1 データレイクへのウェブ経由ファイルアップロード .....	12
3.2 データレイク(S3)へのファイルアップロード .....	15
3.3 データレイクの情報更新 .....	17
4 簡易 DWH 取込を用いた方法 .....	19
4.1 DWH へのウェブ経由ファイルアップロード .....	20
4.2 DWH へのツールを用いたファイルアップロード .....	23
4.3 DWH への取り込み .....	25
4.4 取り込み済みテーブルへのデータ追加 .....	27
5 分析サービスへの接続 .....	31
5.1 分析機能への接続 .....	31
5.2 参照機能への接続 .....	34
6 分析レポートの種類 .....	37
6.1 ドシエ .....	37
6.2 レポート .....	38
6.3 ドキュメント .....	39
6.4 分析レポートの使い分け .....	39
7 分析 .....	40
7.1 データ取り込み .....	40
7.2 分析 .....	50
8 MicroStrategy Library .....	74
8.1 MicroStrategy Library への接続 .....	74
8.2 MicroStrategy Library へのドシエの追加 .....	77
9 モバイルからの参照方法 .....	80
9.1 iPhone .....	80
9.2 iPad .....	85
9.3 Android .....	90

---

---

10	用語集.....	97
----	----------	----

## 1 はじめに

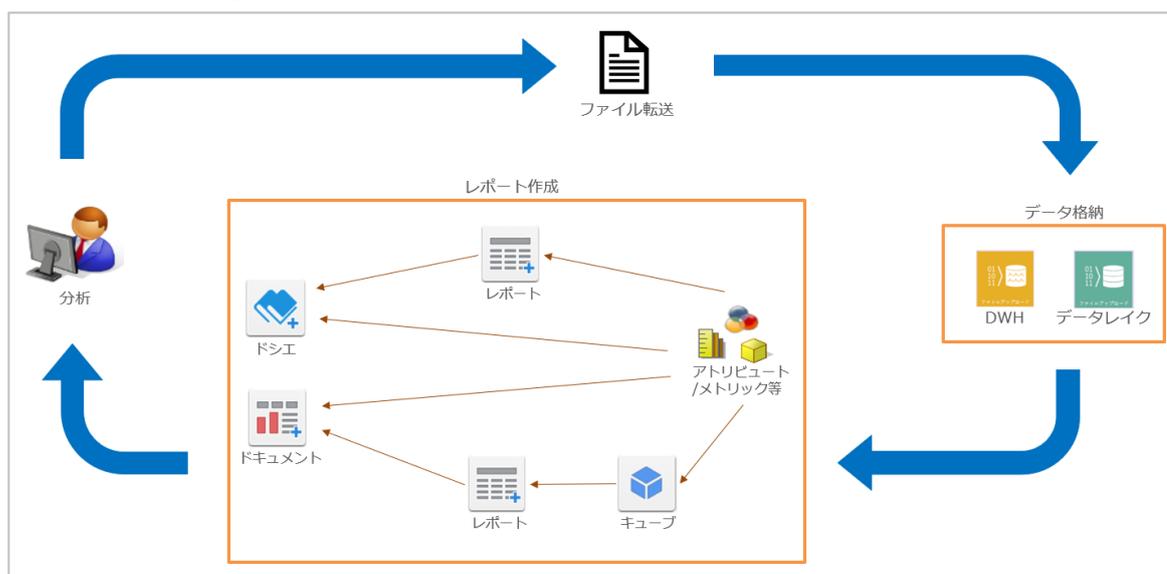
本スタートアップマニュアルは、ZEUSCloud の簡易的な使用方法を記載する資料です。ZEUSCloud をご利用いただくに辺り、初めにパスワードを変更頂く必要があります。変更手順に関しましては「初回パスワード変更マニュアル」を参照ください。また、ZEUSCloud を使用するうえで詳細な情報が必要な箇所については別紙としてその他マニュアルがございます。ご確認のうえご利用いただきますようお願いいたします。

### 1.1 ZEUSCloud とは

ZEUSCloud (Zeal Enterprise-data Unified Service Cloud) はデータベース (DWH<sup>※1</sup>) と分析基盤がセットになった、SaaS サービスです。データベース以外にもデータレイク<sup>※2</sup>から分析を行うことも可能です。

また、CSV ファイルをデータベースに簡易に取り込みする機能も提供しており、利用開始後、すぐに分析を開始することが可能です。

#### ●ZEUSCloud 概念図



本マニュアルでは、データレイクを用いた分析、データベースへの CSV の簡易取り込み、分析サービスへの接続、及び、分析方法をご説明します。

#### ※1 : DWH (データウェアハウス) とは

取り込んだデータを時系列で恒久的に蓄積して分析に使用する機能。

#### ※2 : データレイクとは

多数のソースから様々なデータを、元のままの形式で蓄積する機能。

## 1.2 ZEUSCloud 機能一覧

機能名	機能説明
ポータル	ZEUSCloud の各機能の入り口となるウェブサイト。
簡易 DWH 取り込み機能	Excel や CSV で表されるような構造化データを DWH に取り込む機能。 時系列で恒久的にデータを蓄積して分析する際は DWH へ取り込みを行う。
簡易 DWH 取り込み即時反映機能	アップロードしたデータを即座に DWH に取り込む機能。
データレイク機能	アップロードしたデータを DWH に格納することなく、分析データとして使用する機能。 データを整形せずに分析を行う場合はデータレイクを使用する。
データレイク即時反映機能	リアルタイムで情報の更新をする機能。
分析機能	レポートの作成、データの分析を行う機能。
参照機能	作成した分析画面を参照する機能。

・本書における呼称について

各機能で使用している呼称および製品名は以下の表の通りです。

呼称	製品名
分析機能	MicroStrategy
参照機能	MicroStrategy Library
MicroStrategy のクライアントツール <sup>※3</sup>	MicroStrategy WorkStation
MicroStrategy の管理ツール <sup>※3</sup>	MicroStrategy Developer

※3 : 別紙「クライアントインストールマニュアル」にて使用するツールです。

### 1.3 ユーザーの役割と機能

ZEUSCloud を使用するユーザーの役割には管理ユーザー、分析ユーザー、参照ユーザーがあります。

管理ユーザー：データの投入からレポートの作成、ユーザーの管理や高度な分析を行うユーザー

分析ユーザー：データの投入からレポートの作成を行うユーザー

参照ユーザー：レポートの閲覧を行うユーザー

ユーザーの各役割と使用する機能は、以下の表をご参照ください。

機能			ユーザー分類			参照マニュアル
大分類	中分類	小分類	管理	分析	参照	
簡易分析	データ投入	データレイク	○	○		本書 3 章
		DWH	○	○		本書 4 章
	レポート作成	ドシエ	○	○		本書 5 章・7 章、分析利用マニュアル
		レポート	○	○		分析利用マニュアル
		ドキュメント	○	○		分析利用マニュアル
	レポート参照	ドシエ	○	○	○	本書 5 章・8 章
		レポート	○	○	○	本書 5 章・8 章
		ドキュメント	○	○	○	本書 5 章・8 章
		モバイルでの参照	○	○	○	本書 9 章
	高度分析	DWH 作成	-	○		
モデル定義		-	○			
権限設定		-	○			

## 2 ポータル

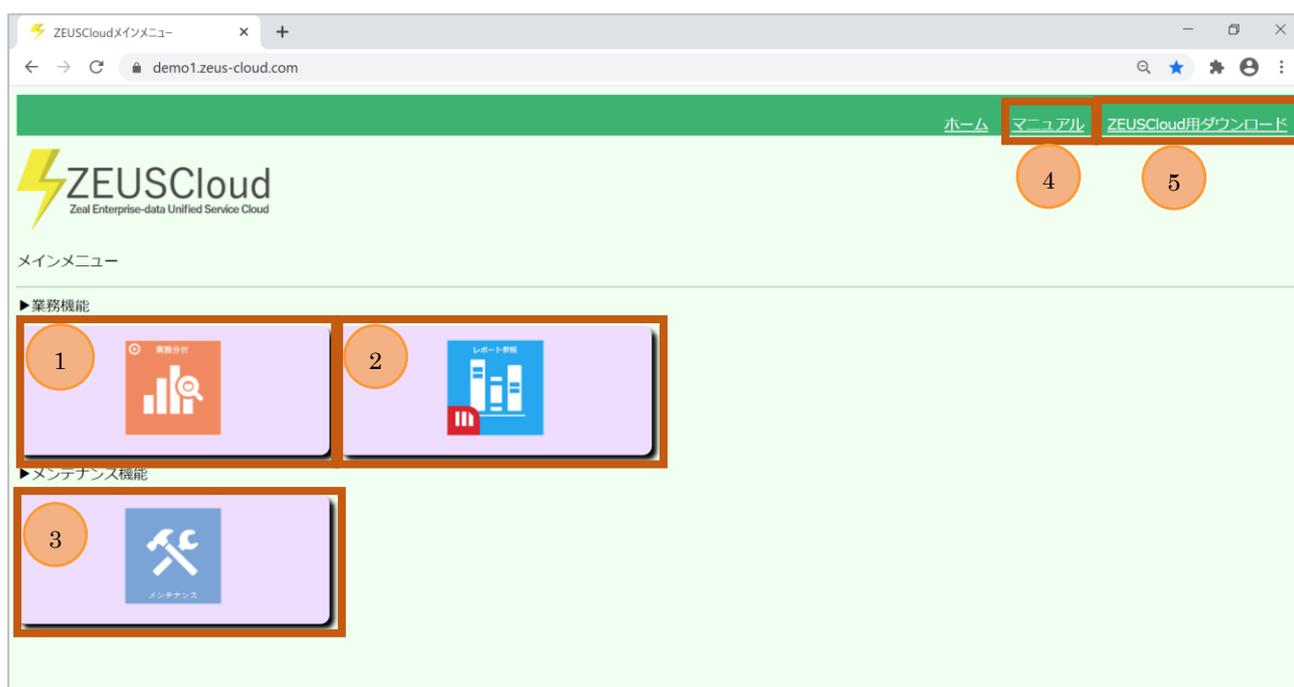
ZEUSCloud 各機能の入り口となるウェブサイトです。

ポータルの URL と利用可能時間は、利用開始マニュアルの「1.1 ZEUSCloud ポータル環境情報」をご参照ください。

なお、MicroStrategy2021 以降のバージョンでは、Internet Explorer のサポートを廃止いたしました。Chrome を推奨しておりますので、そちらをご利用ください。

### 2.1 各機能への接続

#### ●メインメニュー



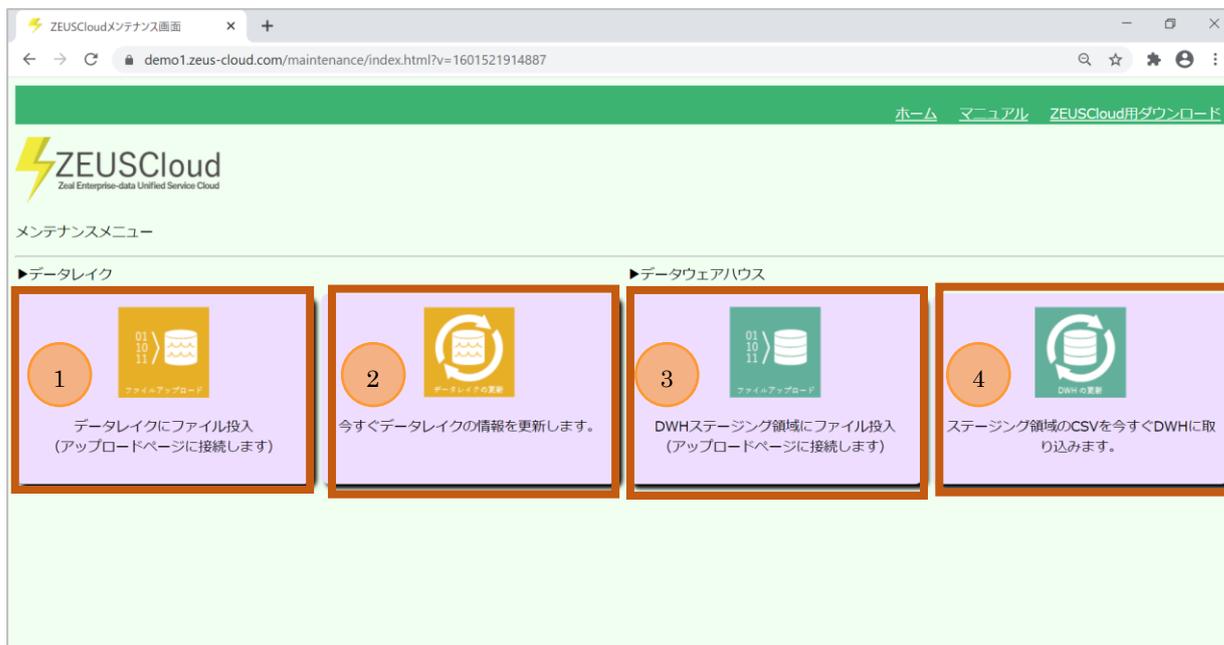
各機能の概要と参照マニュアルは以下の表の通りです。

※各機能への接続時に求められる接続情報は、別紙「利用開始マニュアル」に記載しています。

項番	概要	参照マニュアル
1	分析機能への接続を行います。	本書 5.1 章
2	参照機能への接続を行います。	本書 5.2 章
3	メンテナンス機能へ接続します。	本書 2.2 章
4	マニュアルのダウンロードサイトへ移動します。	—
5	クライアントツールのダウンロードサイトへ移動します。	クライアントインストールマニュアル

## 2.2 メンテナンス機能

### ●メンテナンスメニュー



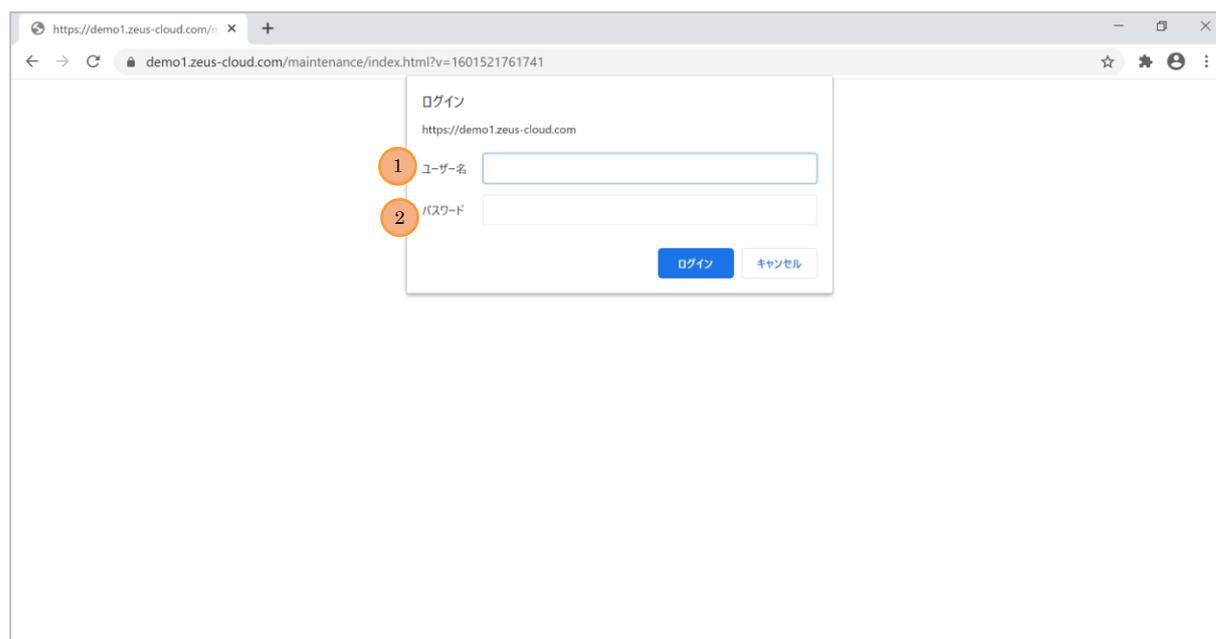
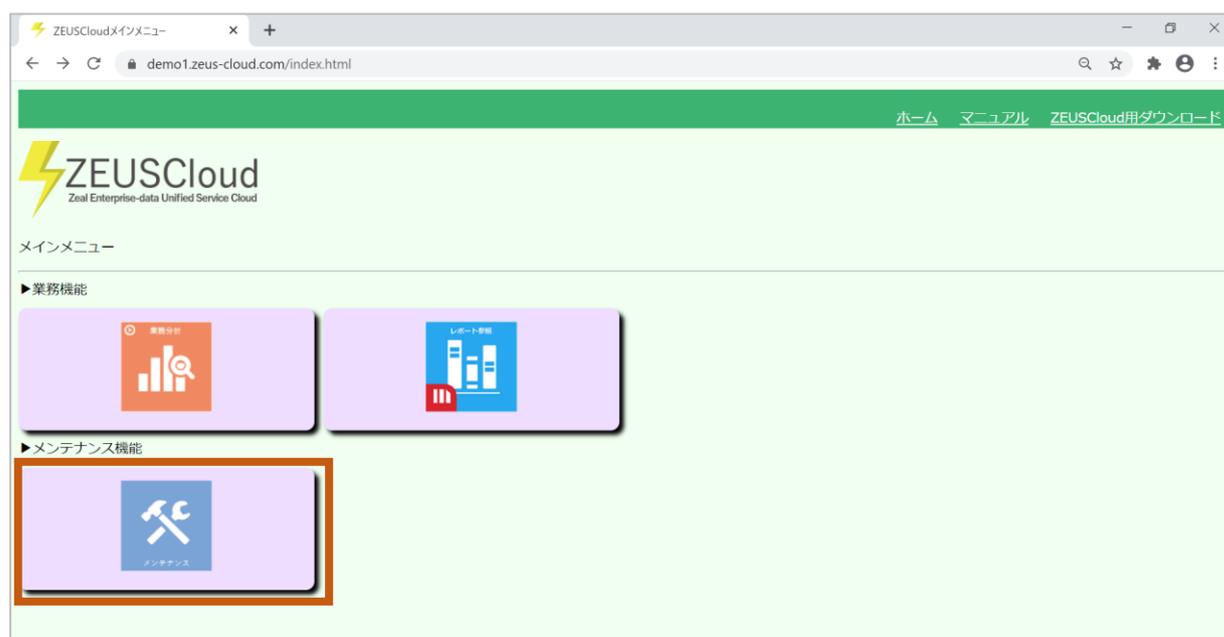
各機能の概要と参照マニュアルは以下の表の通りです。

項番	概要	参照マニュアル
1	データレイクにファイルを投入します。	本書 3.1 章
2	データレイクの情報更新を行います。	本書 3.3 章
3	DWH にファイルを投入します。	本書 4.1 章
4	投入したファイルを即座に DWH に取り込みます。	本書 4.3 章

メンテナンス機能へ接続する際に、ユーザー名とパスワードの入力が求められます。

※接続情報と参照マニュアルは以下の表の通りです。

項番	フィールド	参照マニュアル	参照箇所
①	ユーザー名	基本情報記載依頼シートの 「ログインユーザー記入シート」	ユーザー名 ※役割が管理ユーザーおよび分析ユーザーのみ使用可
②	パスワード	初回パスワード変更マニュアル	初回ログイン時に設定したパスワード

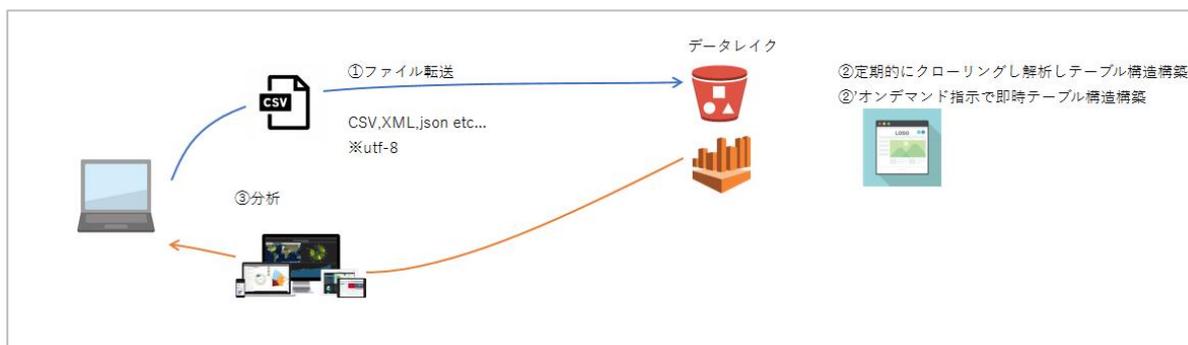


### 3 データレイクを用いた分析方法

データレイクを用いた分析では、DWH にデータを格納することなく、データレイク(S3)に保存した CSV、XML、JSON 等<sup>※4</sup>を分析データとして利用が可能です。

※4：日本語を含むデータは UTF-8 形式、ヘッダーカラムは英名である必要があります。

#### ●データレイク概念図



データの保存はポータルからウェブ経由でアップロードする方法と WinSCP などのファイル転送ツールでアップロードする方法があります。本書では両者の手順を紹介させていただきます。

#### ウェブ経由でのアップロード

接続情報	参照マニュアル
ユーザー名、パスワード ※管理ユーザーおよび分析ユーザーのみ 可能です	利用開始マニュアルの 「1.2.1 ウェブ経由ファイルアップロード」参照

#### ファイル転送ツール (WinSCP) を用いたアップロード

接続情報	参照マニュアル
ファイル転送ツールのインストール方法	クライアントインストールマニュアル
S3 の URL、アカウント、アクセスキー、 シークレットアクセスキー	利用開始マニュアルの 「1.2.2 ツールを用いたファイルアップロード」参照

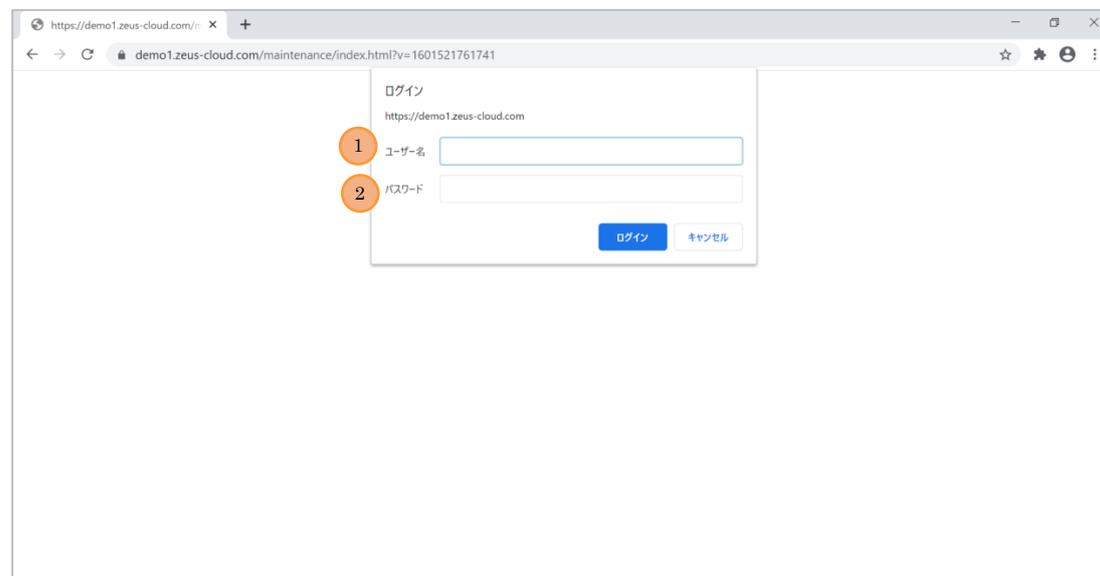
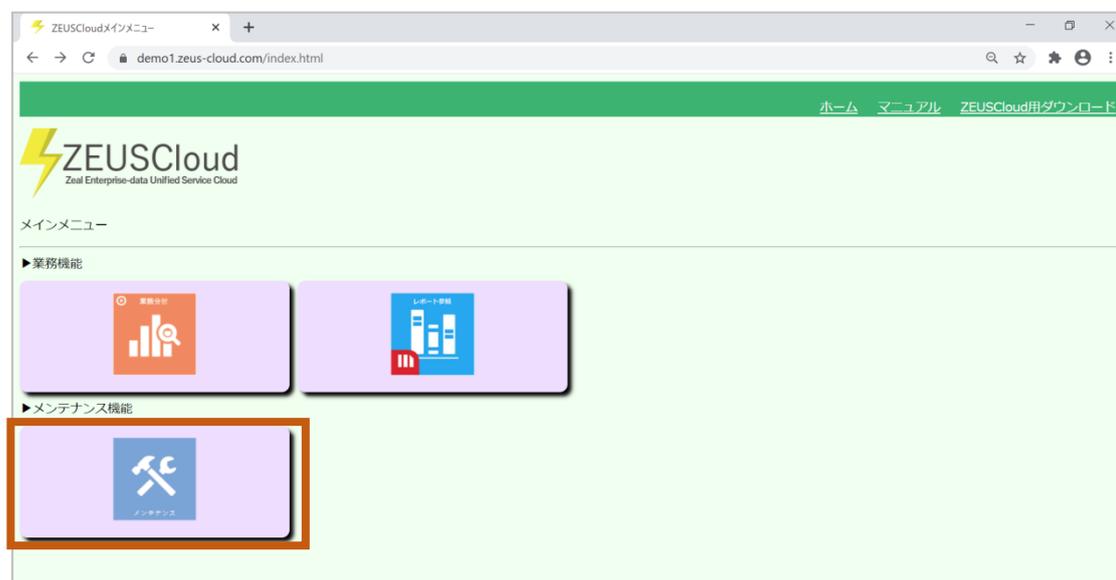
### 3.1 データレイクへのウェブ経由ファイルアップロード

メンテナンス画面よりウェブ経由でデータレイクにデータファイルをアップロードします。  
以下、ウェブ経由のファイルアップロードの手順を説明します。

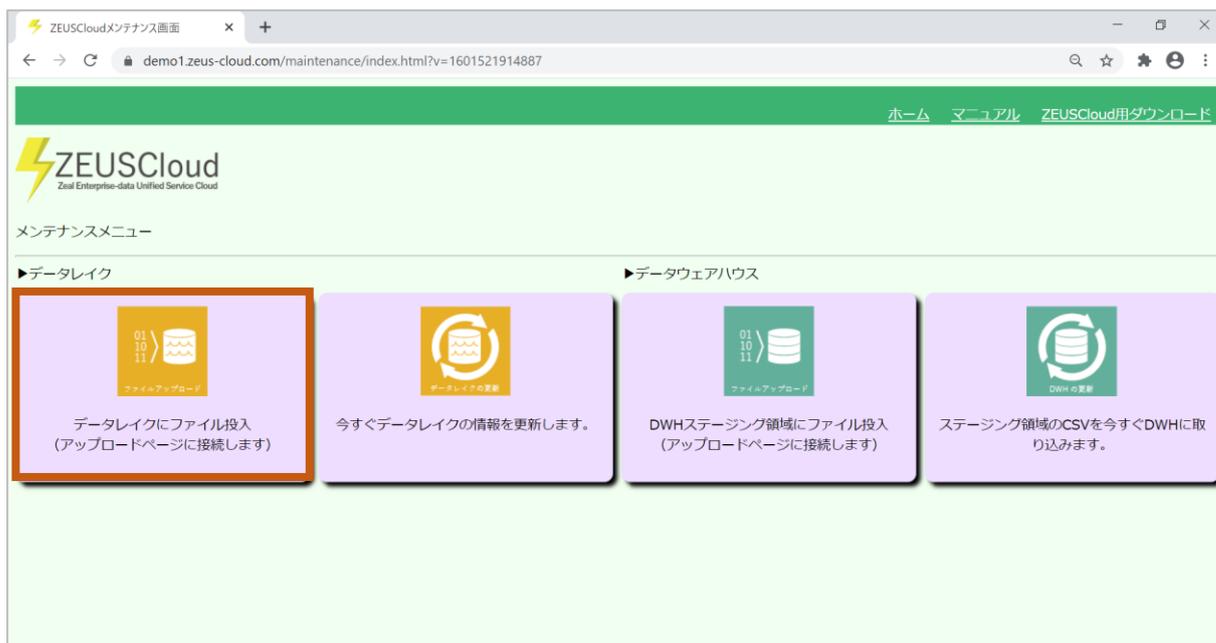
ポータルメンテナンス機能へ接続します。

※接続情報と参照マニュアルは以下の表の通りです。

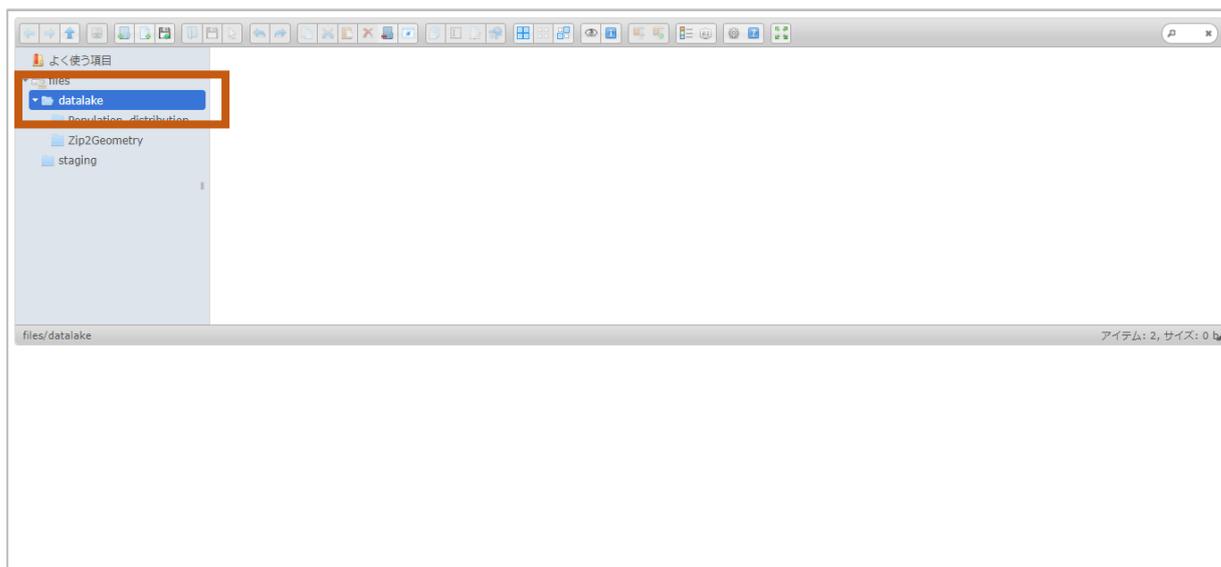
項番	フィールド	参照マニュアル	参照箇所
①	ユーザー名	基本情報記載依頼シートの 「ログインユーザー記入シート」	ユーザー名 ※役割が管理ユーザーおよび分析ユーザーのみ使用可
②	パスワード	初回パスワード変更マニュアル	初回ログイン時に設定したパスワード



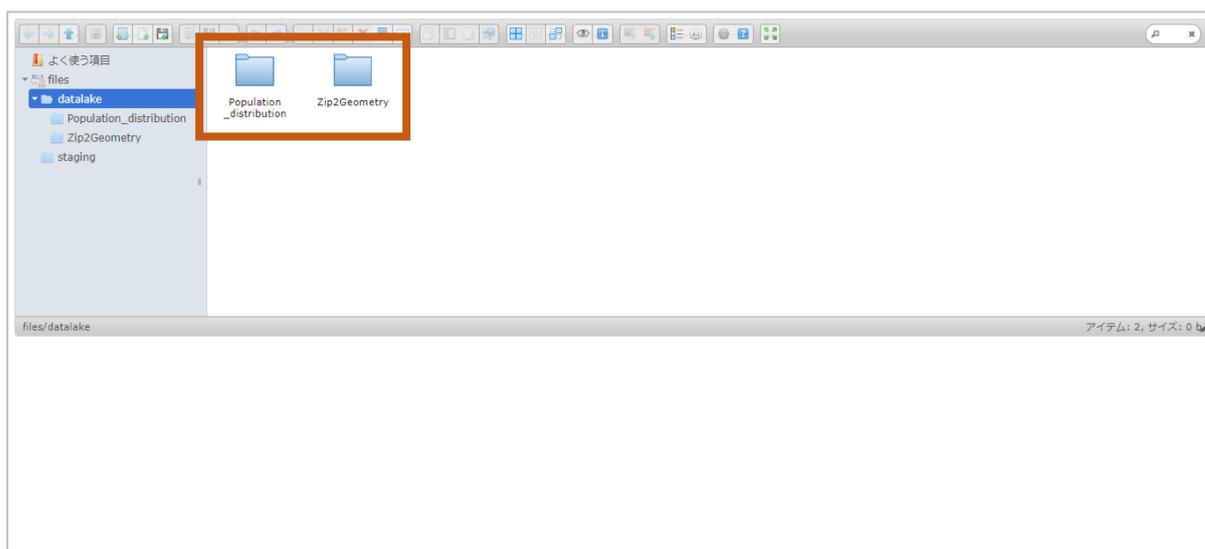
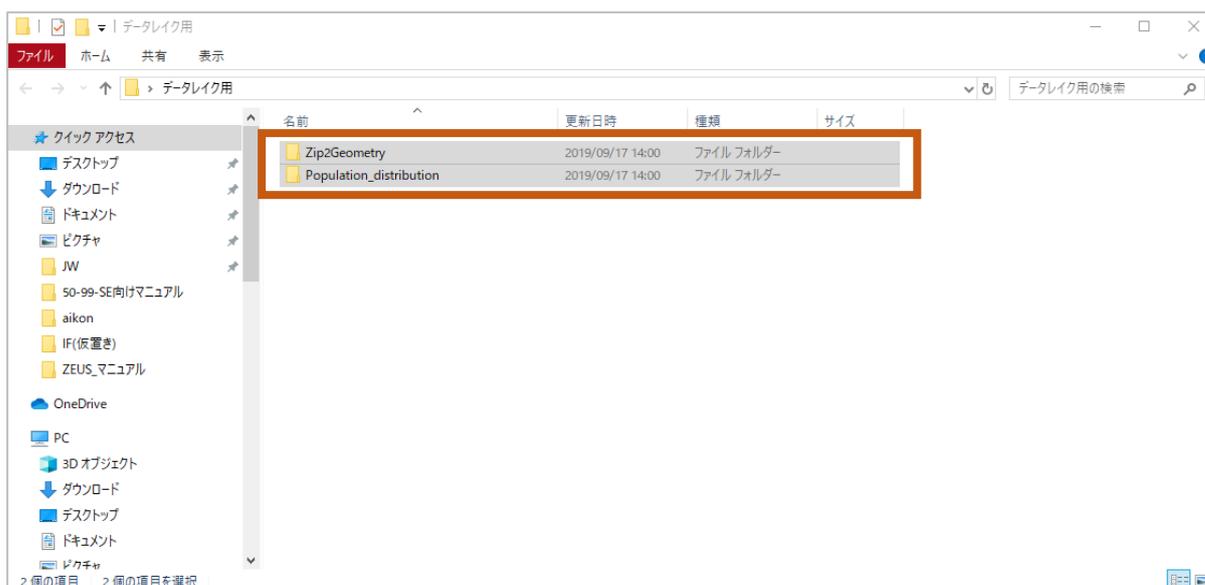
「データレイクにファイル投入(アップロードページに接続します)」をクリックします。



アップロードページに遷移します。



フォルダを選択し、アップロードページにドラッグアンドドロップします。



### 3.2 データレイク(S3)へのファイルアップロード

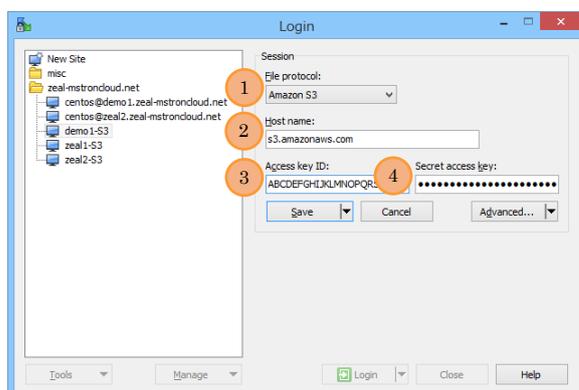
WinSCP 等の S3 へファイルアップロード可能なツールを用いてファイルをアップロードします。(例では WinSCP を利用)

以下、WinSCP を用いたファイルアップロードの手順を説明します。

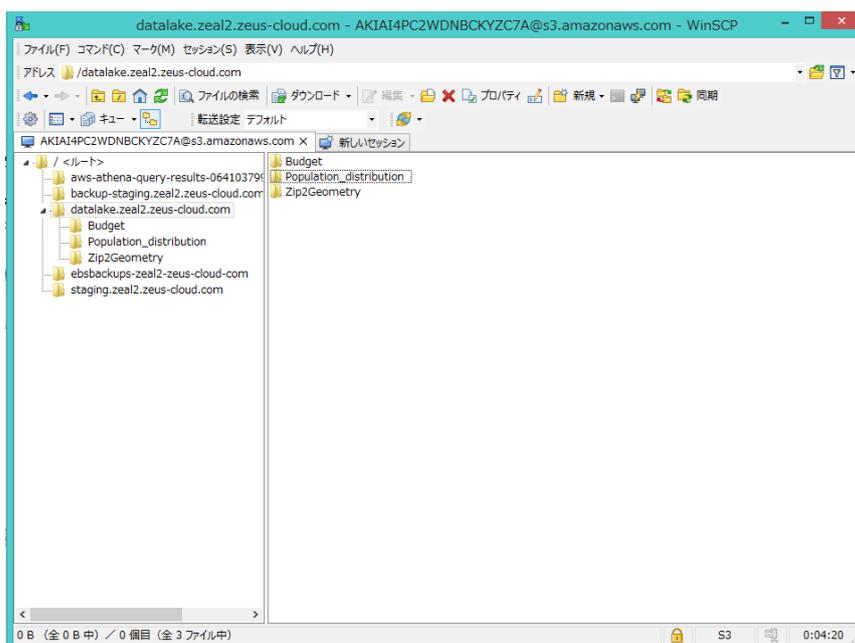
※WinSCP のインストール方法は、「クライアントインストールマニュアル」をご参照ください。

接続情報と参照マニュアルは以下の表の通りです。

項番	フィールド	参照マニュアル	参照箇所
①	File Protocol	利用開始マニュアル 1.2.2 ツールを用いたファイルアップロード	File Protocol
②	Host name	利用開始マニュアル 1.2.2 ツールを用いたファイルアップロード	Host name
③	Access Key ID	利用開始マニュアル 1.2.2 ツールを用いたファイルアップロード	S3 Access Key ID
④	Secret access key	利用開始マニュアル 1.2.2 ツールを用いたファイルアップロード	S3 Secret access key



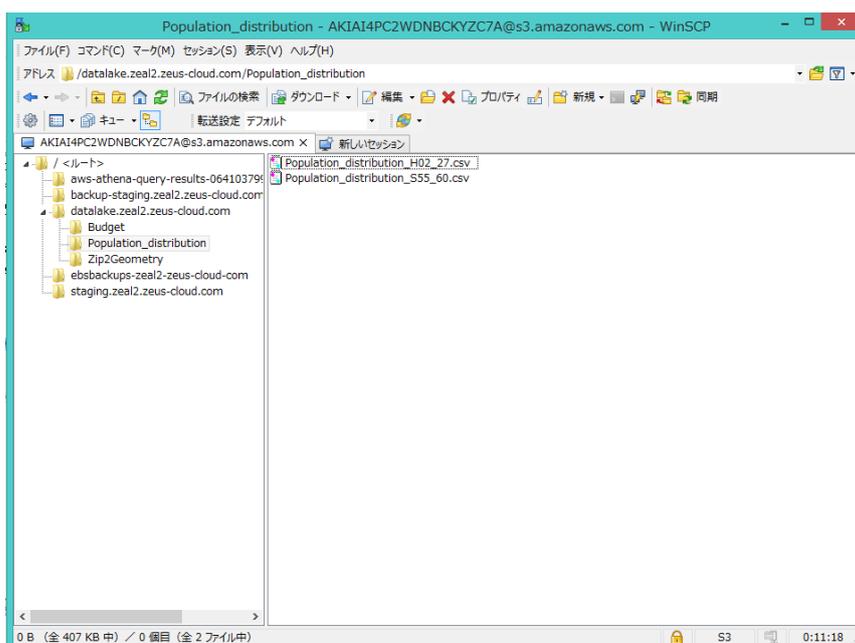
ログインすると S3 のフォルダが表示されるのでクリックします。



フォルダを作成しその中にデータファイルを格納します。

データファイルは複数に分かれていても解析し同じカラムレイアウトの場合はフォルダでまとめたテーブルとして格納します。

例：実績データをフォルダ「Population\_distribution」に元号毎に CSV ファイルを格納。仮想的に Population\_distribution テーブルとして分析が可能。

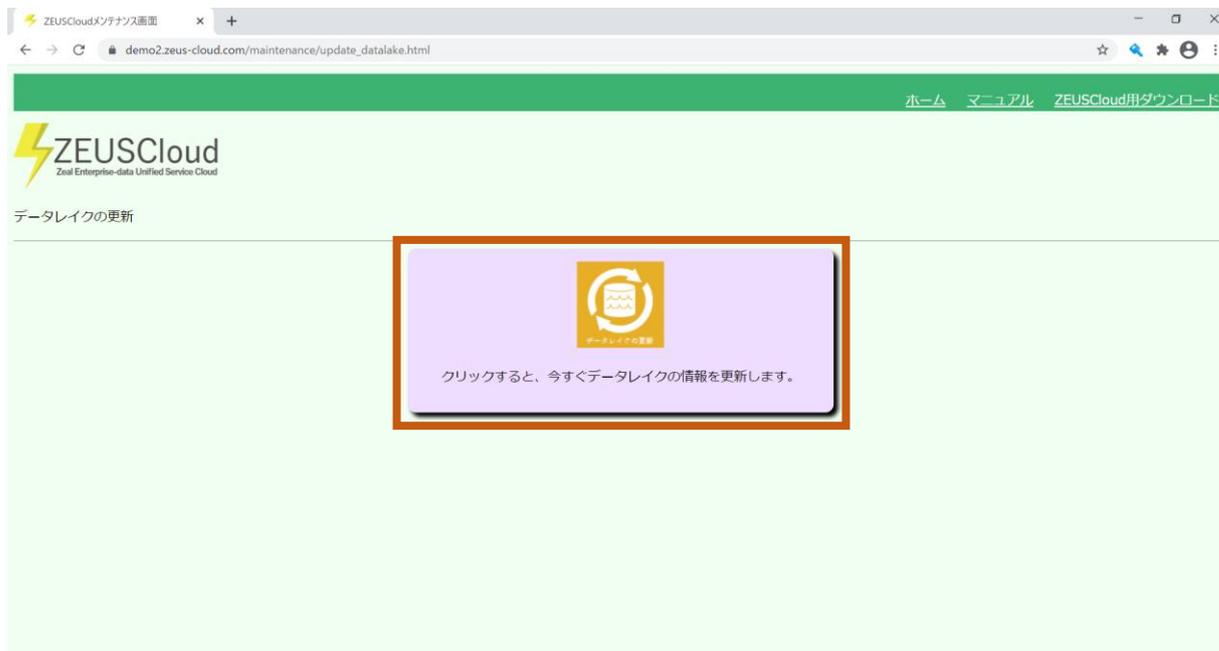
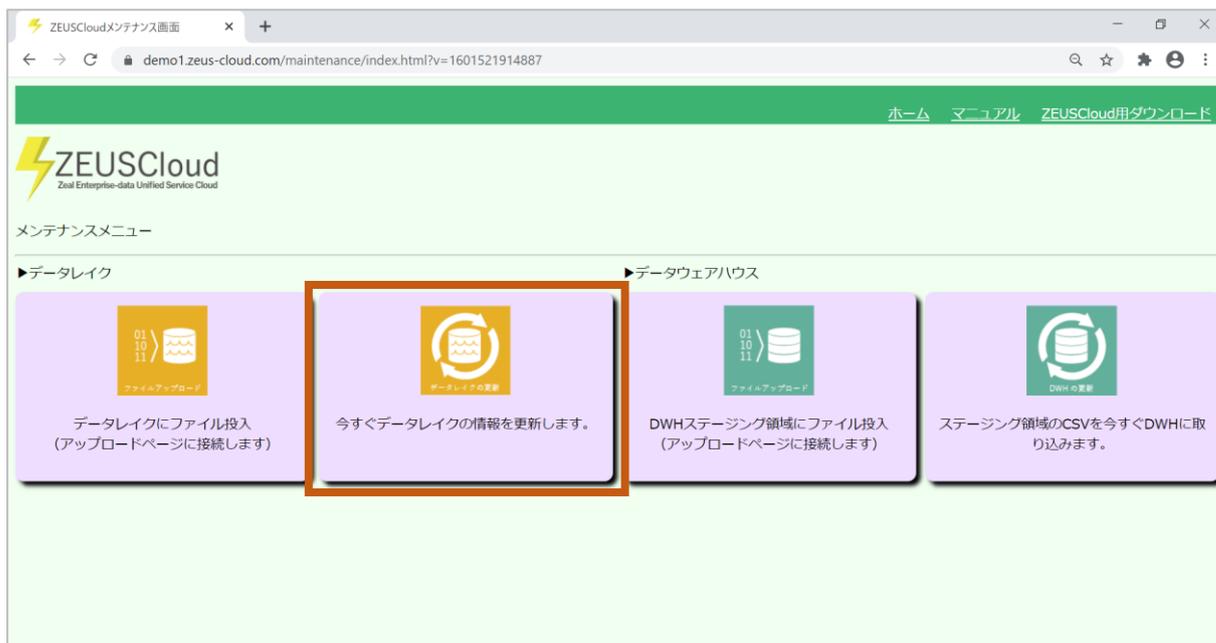


### 3.3 データレイクの情報更新

データレイクにファイルを格納後、夜間バッチにて自動的に情報を更新しますが、即時更新する場合、メンテナンス画面で実行が可能です。

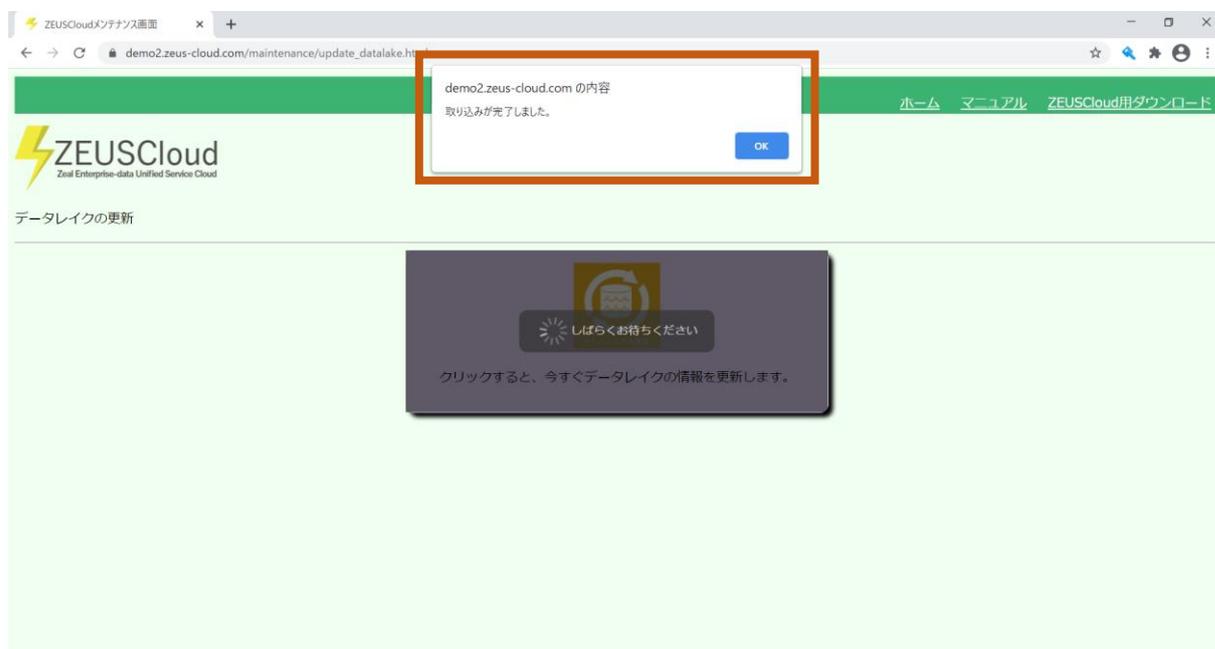
「今すぐデータレイクの情報を更新します。」をクリックします。

**※クリックは1クリックのみです。**



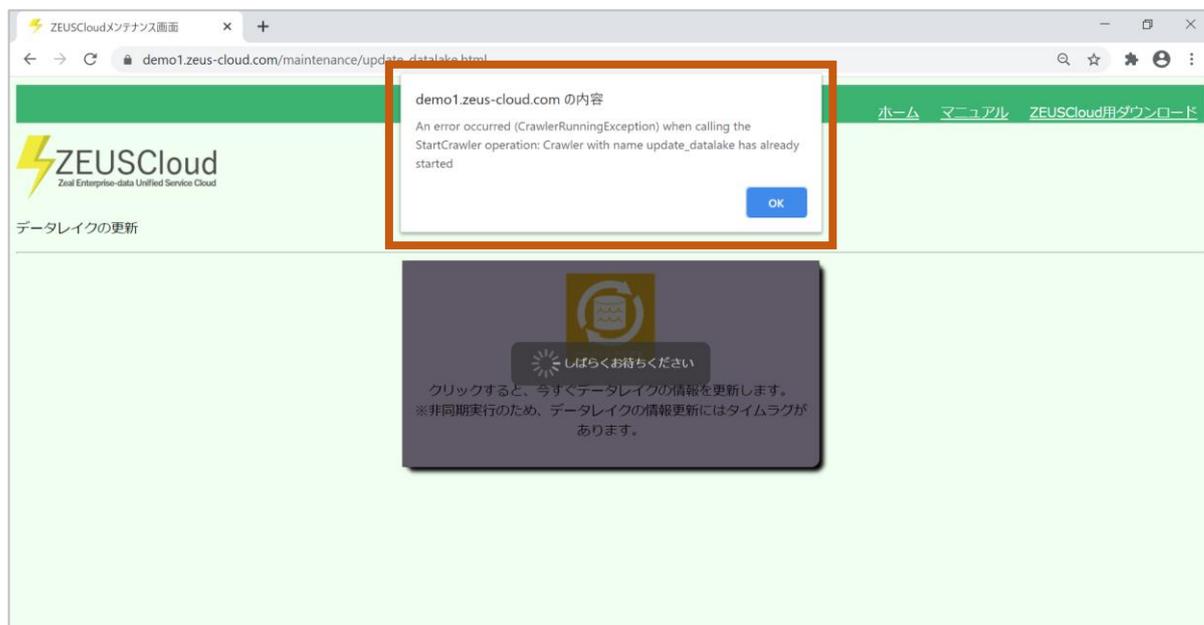
以下のようにダイアログが表示されれば、取り込みの完了です。

**※取り込み完了まで1分以上かかります（取り込むデータ量に依存）。ブラウザを閉じると完了メッセージを受け取ることは出来ませんが、取り込みは正しく完了します。**



※起動中に重複して実行すると、以下の警告ダイアログが表示されます。

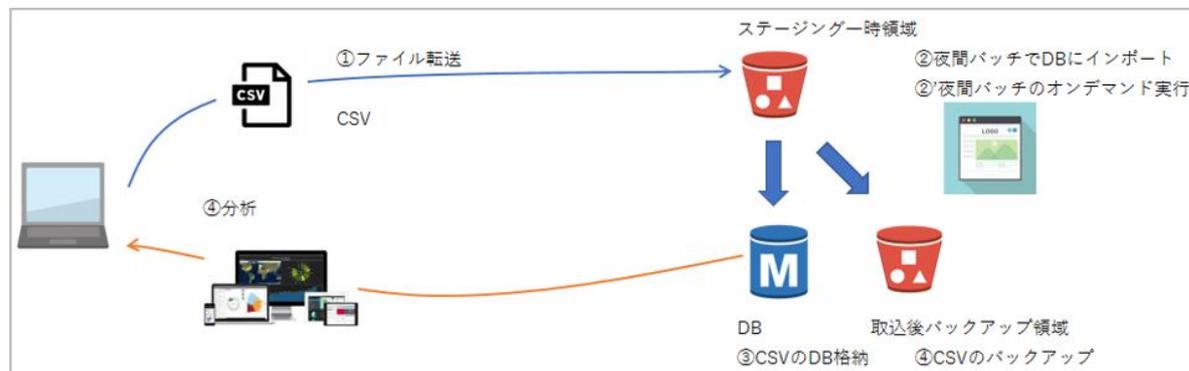
この場合は既に更新処理が行われているので、そのまましばらくお待ちください。



## 4 簡易 DWH 取込を用いた方法

DWH を一から作成する必要なく、データレイク(S3)に保存したデータファイルを利用し即座に分析をすることが可能です。

### ●簡易 DWH 取込概念図



データの保存はポータルからウェブ経由でアップロードする方法と WinSCP などのファイル転送ツールでアップロードする方法があります。本書では両者の手順を紹介させていただきます。

### ウェブ経由でのアップロード

接続情報	参照マニュアル
ユーザー名、パスワード ※管理ユーザーおよび分析ユーザーのみ可能です	利用開始マニュアル 「1.2.1 ウェブ経由ファイルアップロード」参照

### ファイル転送ツール (WinSCP) を用いたアップロード

接続情報	参照マニュアル
ファイル転送ツールのインストール方法	クライアントインストールマニュアル
S3 の URL、アカウント、アクセスキー、シークレットアクセスキー	利用開始マニュアルの 「1.2.2 ツールを用いたファイルアップロード」参照

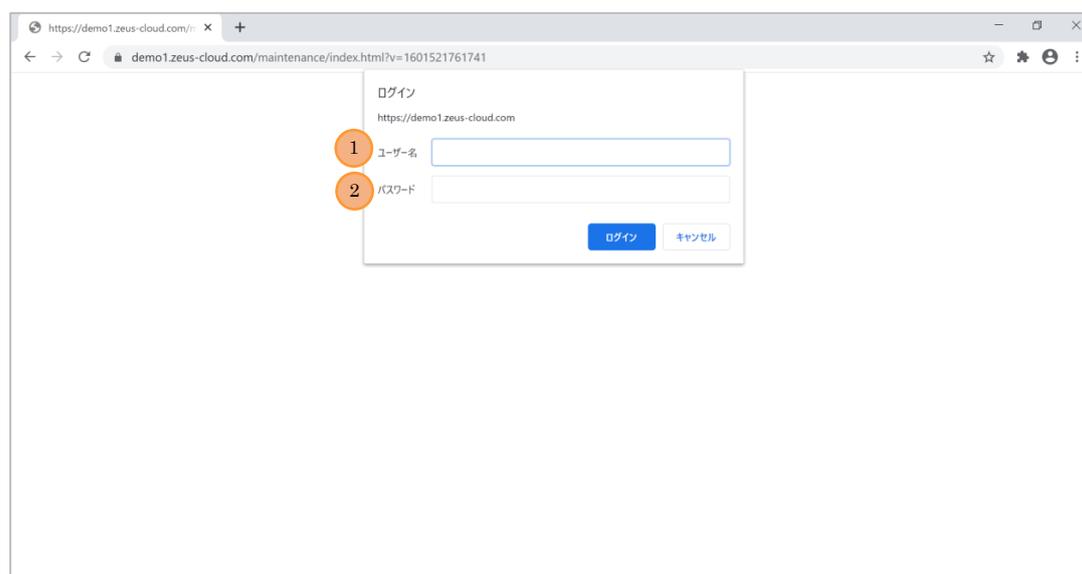
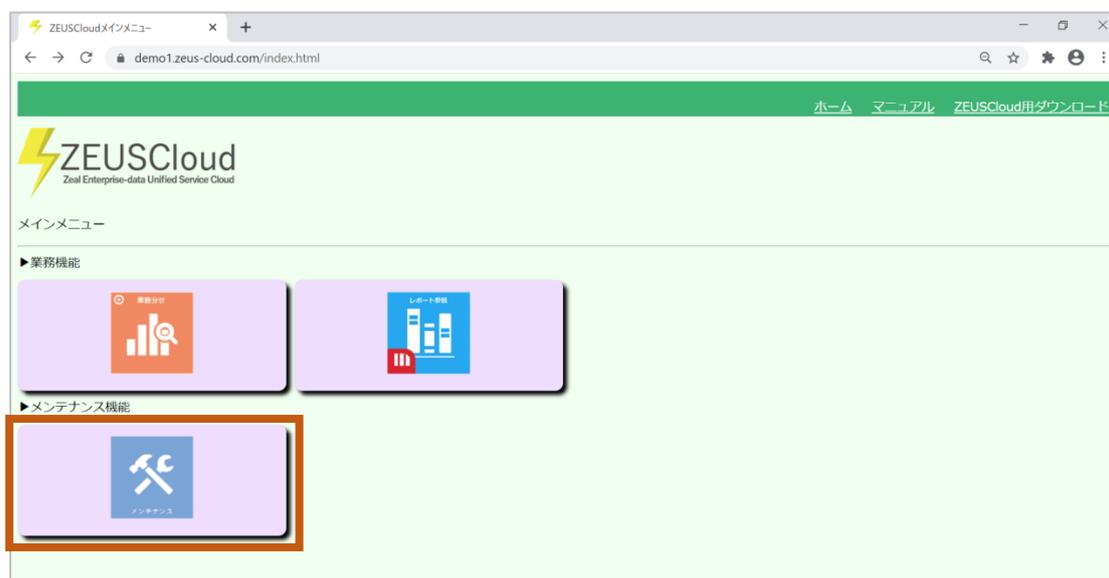
#### 4.1 DWH へのウェブ経由ファイルアップロード

メンテナンス画面よりウェブ経由で S3 にデータファイルをアップロードします。  
以下、ウェブ経由のファイルアップロードの手順を説明します。

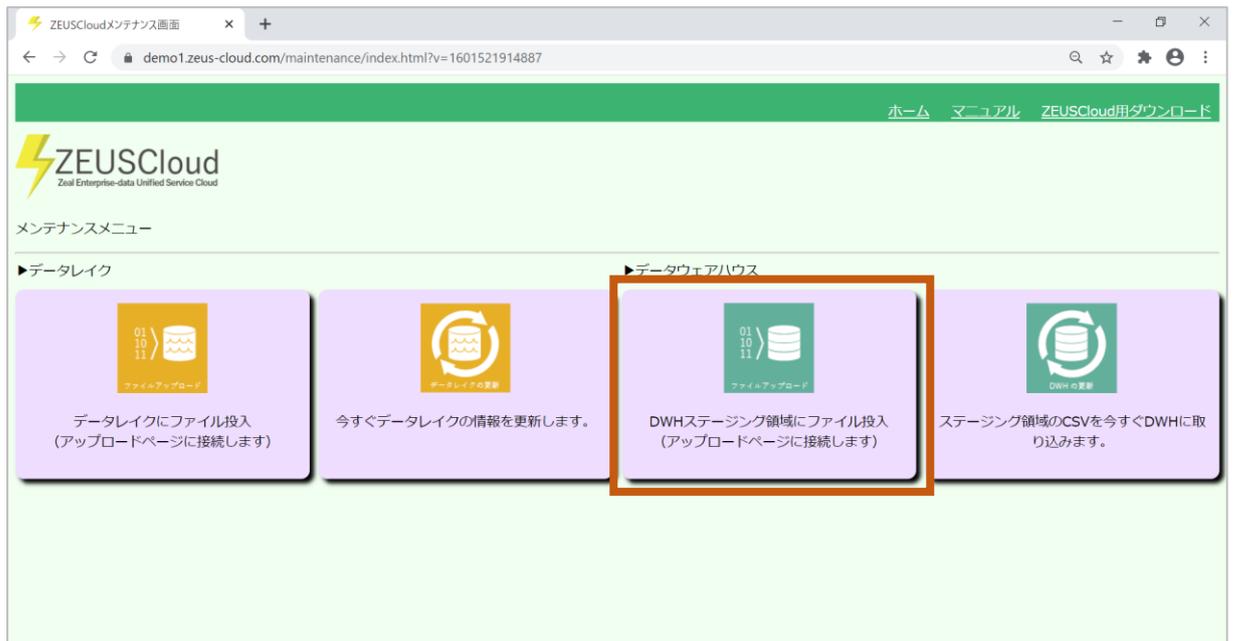
ポータルメンテナンス機能へ接続します。

※接続情報と参照マニュアルは以下の表の通りです。

項番	フィールド	参照マニュアル	参照箇所
①	ユーザー名	基本情報記載シートの 「ログインユーザー記入シート」	ユーザー名 ※役割が管理ユーザーおよび 分析ユーザーのみ使用可
②	パスワード	初回パスワード変更マニュアル	初回ログイン時に設定した パスワード



「DWH ステージング領域にファイルを投入(アップロードページに接続します)」をクリックします。



アップロードページへ遷移します。

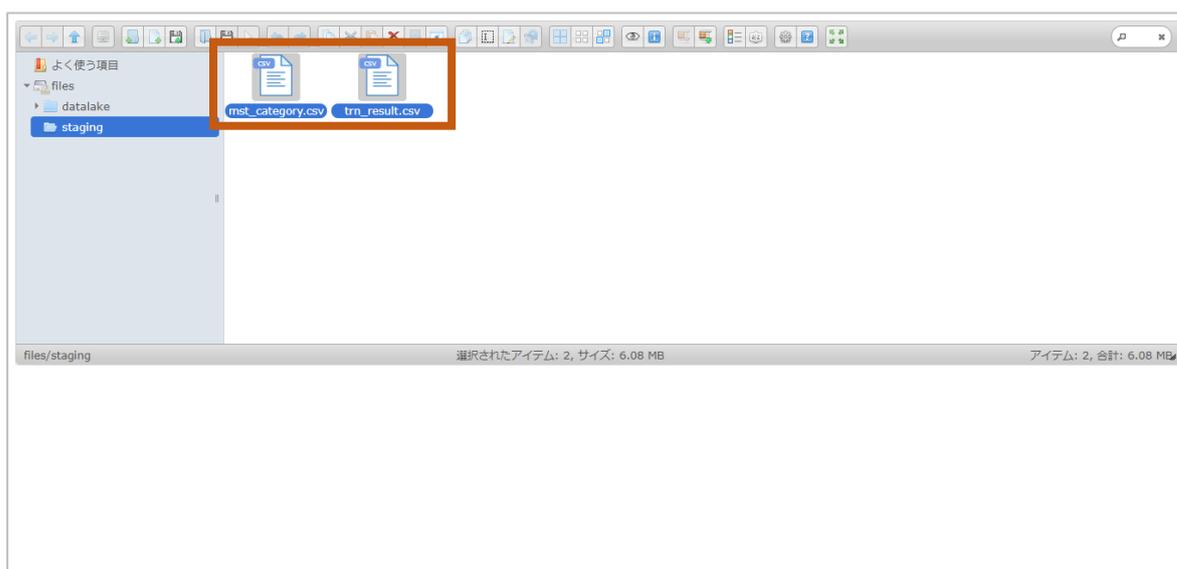
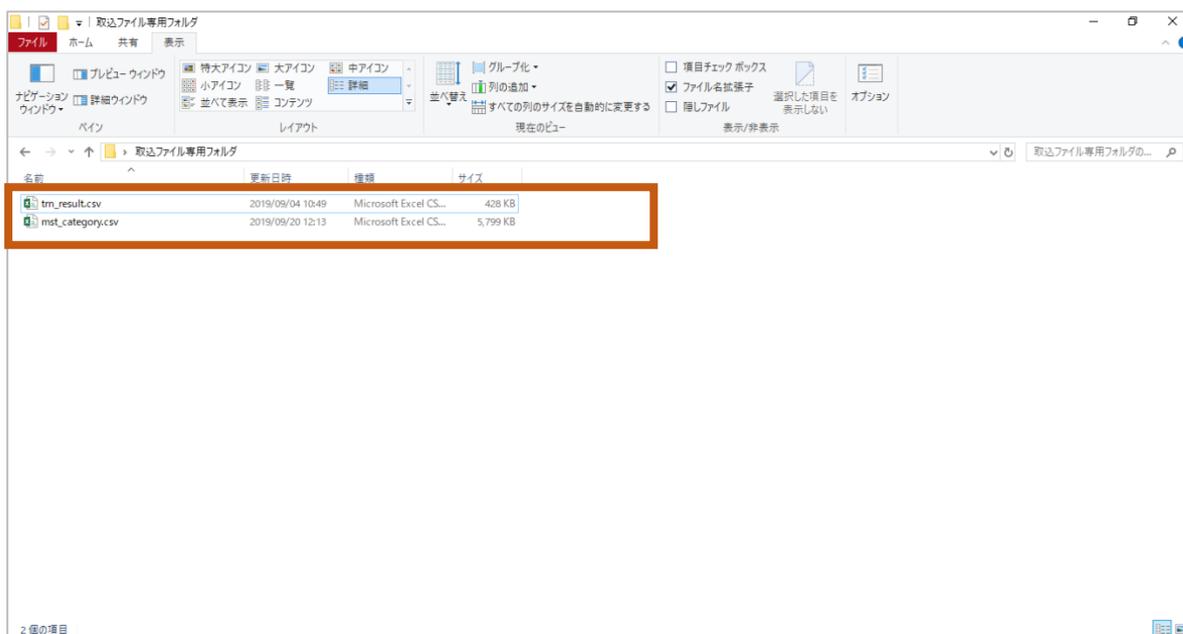


ファイルをドラッグアンドドロップすることで、ZEUSCloud 環境にデータをアップロードすることができます。

取り込み可能なファイル形式は CSV、Excel となります。

Excel をアップロードする際は下記にご注意ください。

- ・ 1 シートのみの場合、ブック名がテーブル名となります。
- ・ 複数シートの場合、シート名がテーブル名となります。
- ・ 各シートの 1 行目がテーブルの項目名とみなされます。



## 4.2 DWH へのツールを用いたファイルアップロード

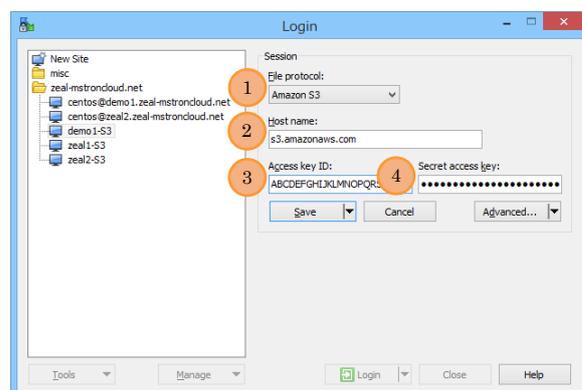
WinSCP 等の S3 へファイルアップロード可能なツールを用いてファイルをアップロードします。(例では WinSCP を利用)

以下、WinSCP を用いたファイルアップロードの手順を説明します。

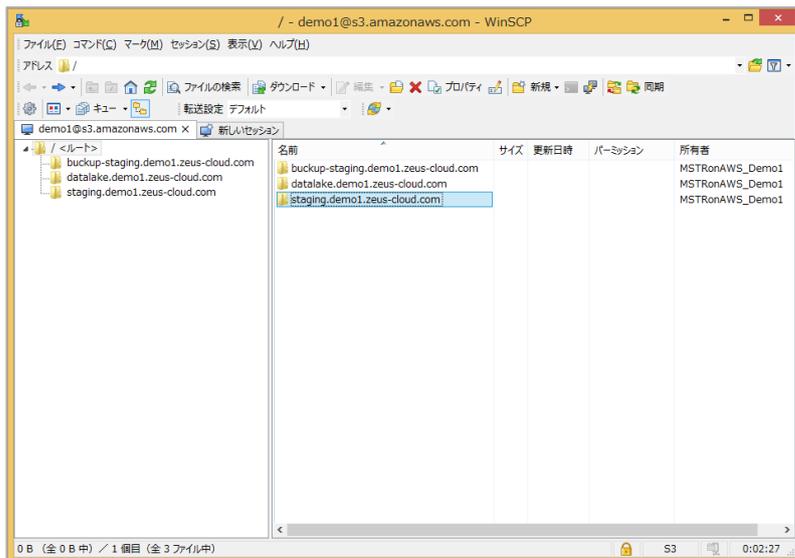
※WinSCP のインストール方法は、「クライアントインストールマニュアル」をご参照ください。

接続情報と参照マニュアルは以下の表の通りです。

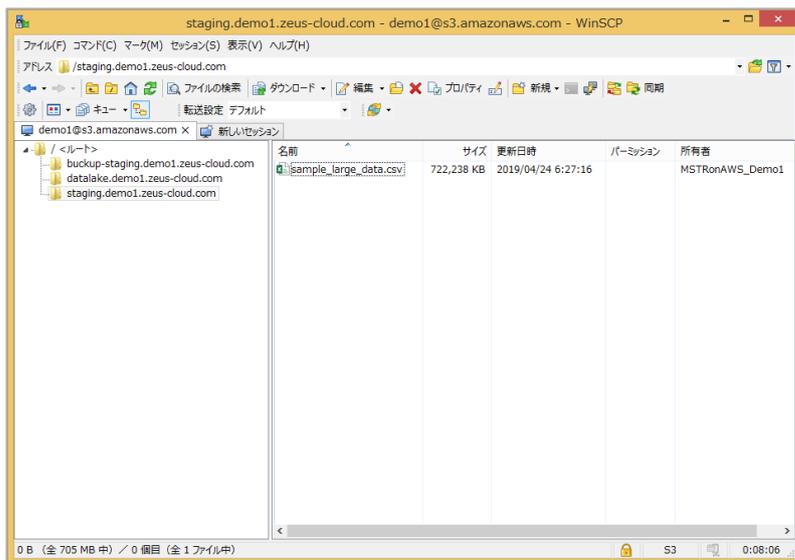
項番	フィールド	参照マニュアル	参照箇所
①	File Protocol	利用開始マニュアル 1.2.2 ツールを用いたファイルアップロード	File Protocol
②	Host name	利用開始マニュアル 1.2.2 ツールを用いたファイルアップロード	Host name
③	Access Key ID	利用開始マニュアル 1.2.2 ツールを用いたファイルアップロード	S3 Access Key ID
④	Secret access key	利用開始マニュアル 1.2.2 ツールを用いたファイルアップロード	S3 Secret access key



ログインすると S3 のフォルダが表示されるのでクリックします。



その中に、エクスプローラで選択した対象のファイルをドラッグアンドドロップでファイルをアップロードします。

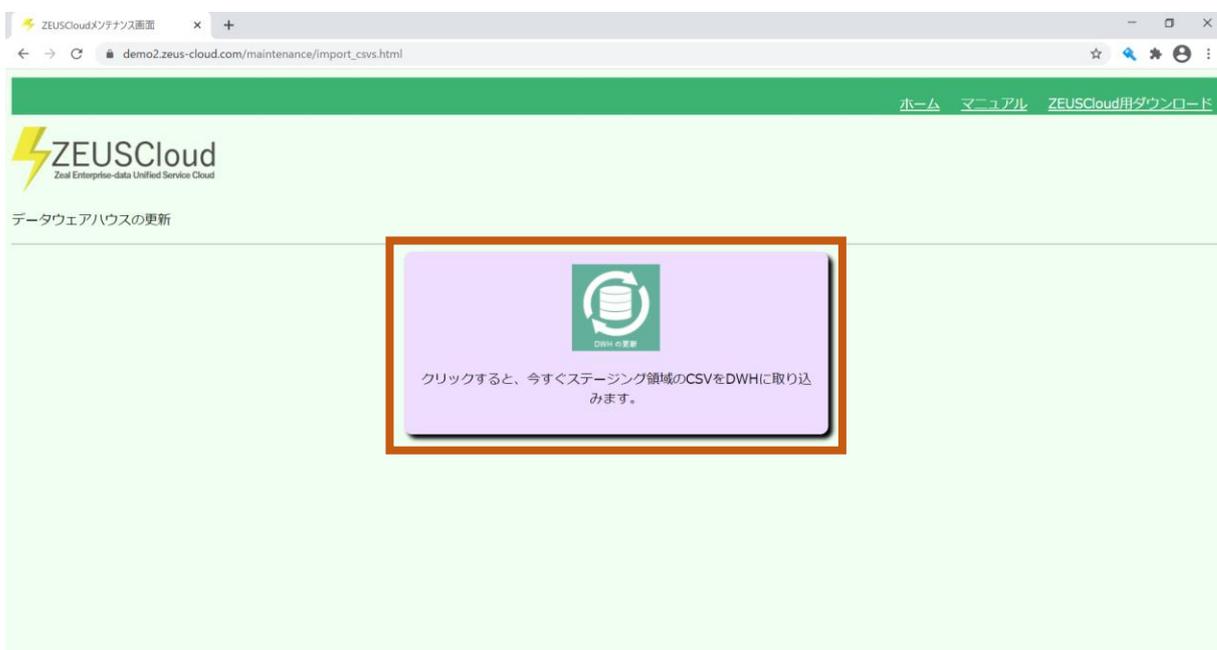
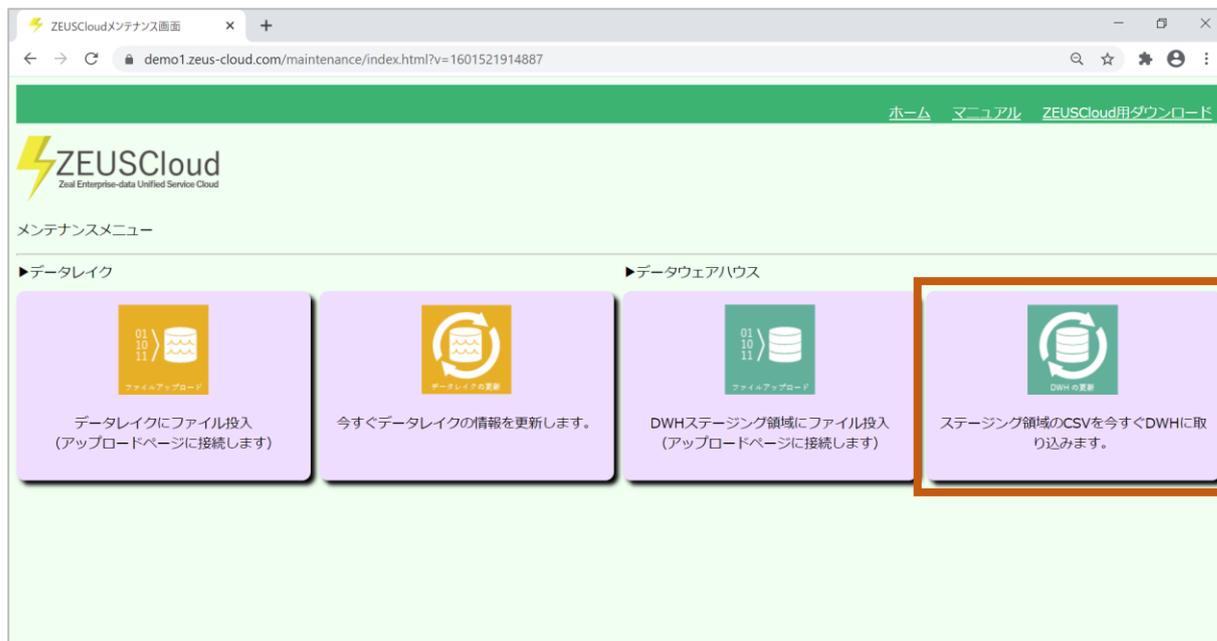


### 4.3 DWH への取り込み

DWH へアップロードしたデータを即時更新する場合、メンテナンス画面で実行が可能です。

「ステージング領域の CSV を今すぐ DWH に取り込みます。」をクリック。

**※クリックは1クリックのみです。**

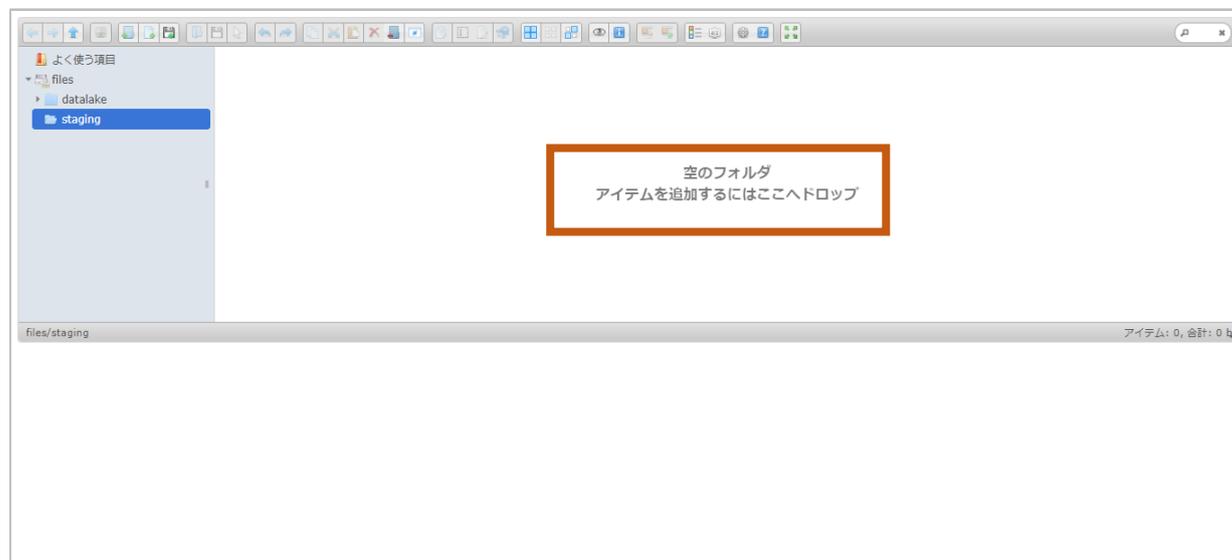


以下のようにダイアログが表示されれば、取り込みの完了です。

**※取り込み完了まで1分以上かかります（取り込むデータ量に依存）。ブラウザを閉じると完了メッセージを受け取ることは出来ませんが、取り込みは正しく完了します。**



上記ダイアログ表示後、アップロードページを更新（「F5 キー」または、ブラウザの更新ボタンを選択）し、ファイルが消えていれば取込完了になります。



---

#### 4.4 取り込み済みテーブルへのデータ追加

DWH に取り込んだテーブルに対して、CSV や Excel ファイルのデータを追加することが可能です。

データ追加用のファイルに関する注意点は以下の通りです。

- CSV の場合

- 追加するファイルと既存テーブルの項目数またはデータ型が異なる場合、エラーとなります。

- ファイル名に 2 つの「\_」(アンダースコア)を入れると追加データとして取り込みます。

- ※ 「XXX\_任意の文字列.csv」の XXX が対象テーブルとなります。

- 例 : tablename\_\_append.csv

- Excel の場合

- 追加するファイルと既存テーブルの項目数またはデータ型が異なる場合、エラーとなります。

- ブック名に 2 つの「\_」(アンダースコア)を入れると追加データとして取り込みます。

- 1 シートの場合、ブック名「XXX\_任意の文字列.xlsx」の XXX が対象テーブルとなります。

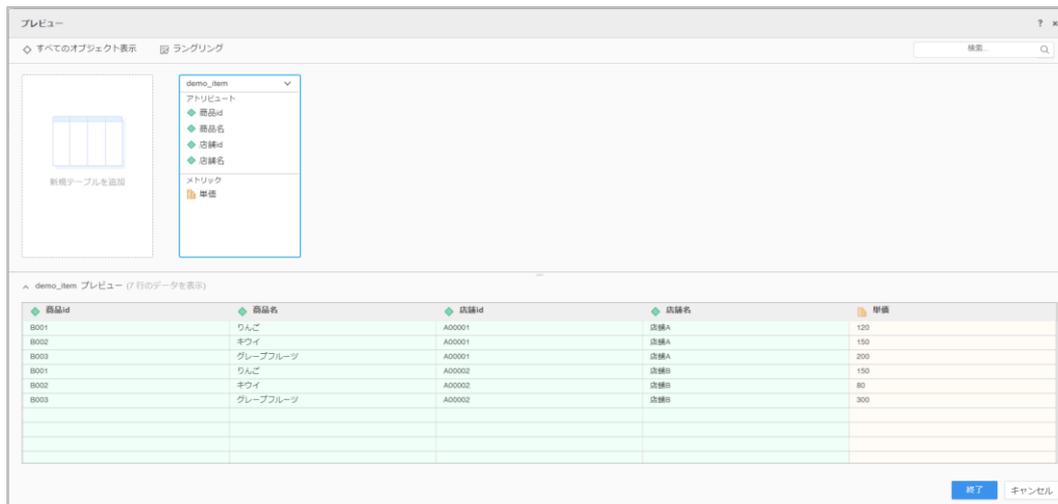
- 複数シートの場合、シート名が対象テーブルとなります。

- ブック名は「任意の文字列\_\_任意の文字列.xlsx」となります。

以下、ファイルによるデータ追加の手順を説明します。

アップロード済みテーブル「demo\_item」に対して

Excel ファイル (demo\_item\_\_append.xlsx) を使ってデータを追加します。

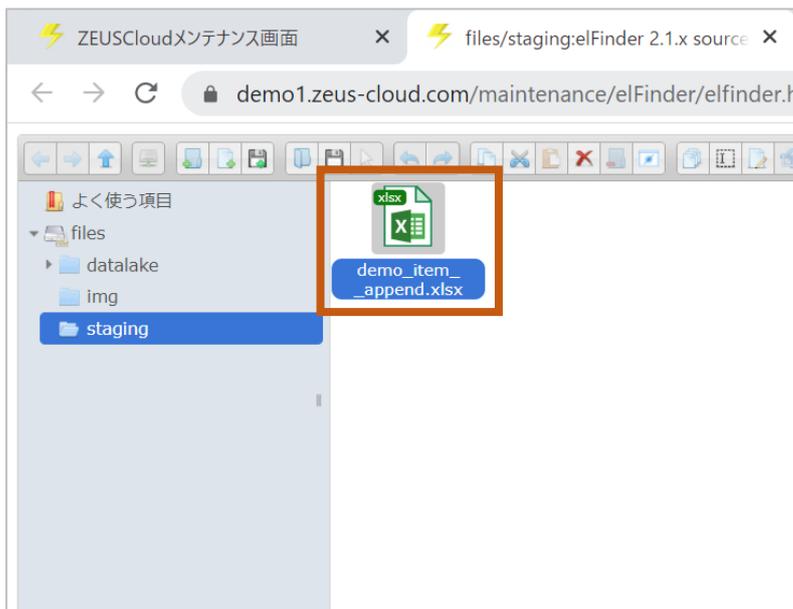
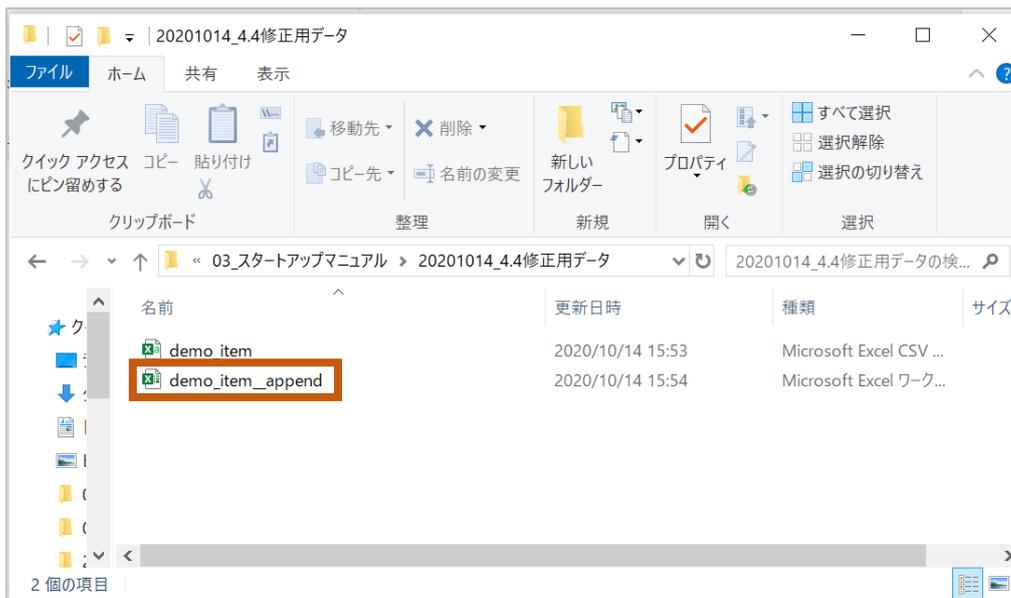


	A	B	C	D	E	F
1	店舗ID	店舗名	商品ID	商品名	単価	
2	A00003	店舗C	B001	りんご	100	
3	A00003	店舗C	B002	キウイ	200	
4						

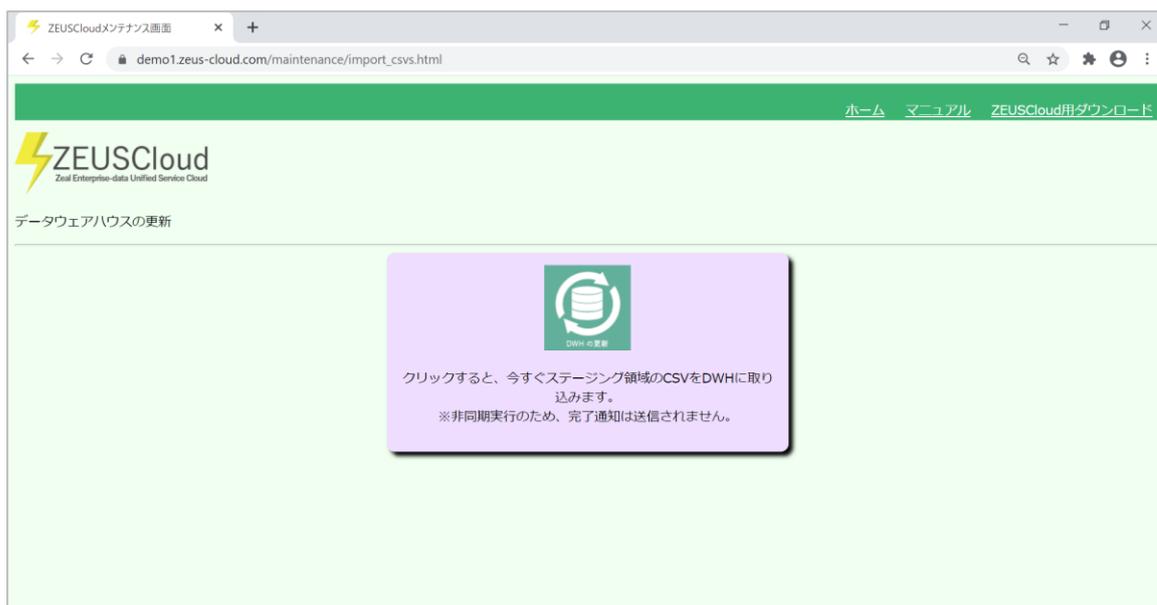
4.1 を参照し、DWH ステージング領域のアップロードページへ遷移します。



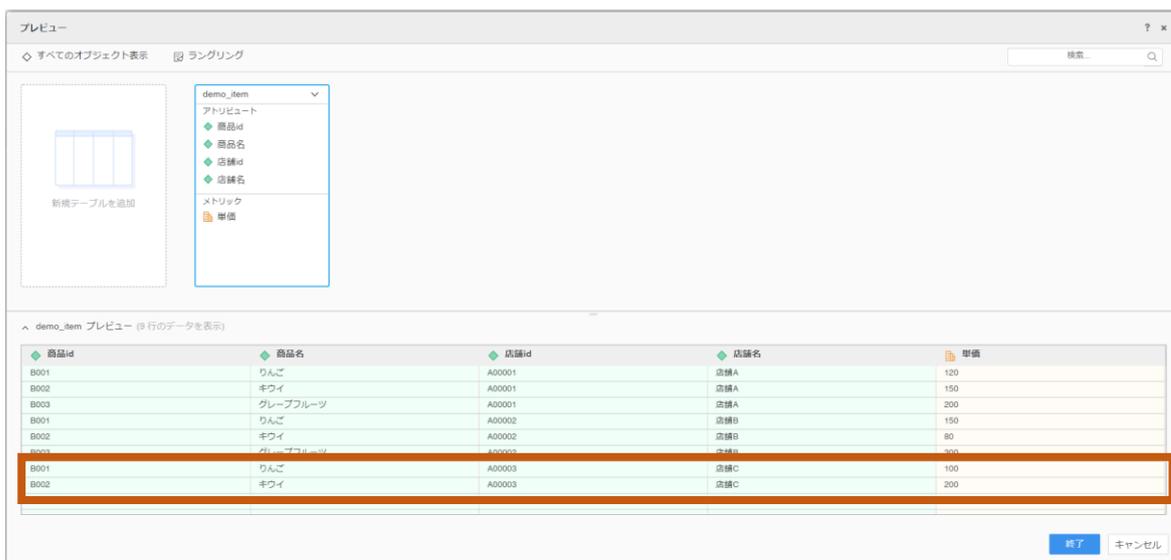
データ追加用のファイルをアップロードページへドラッグアンドドロップします。



4.3 を参照し、DWH への取り込みを実行してください。



7.1 を参照のうえ、追加データの反映を確認してください。



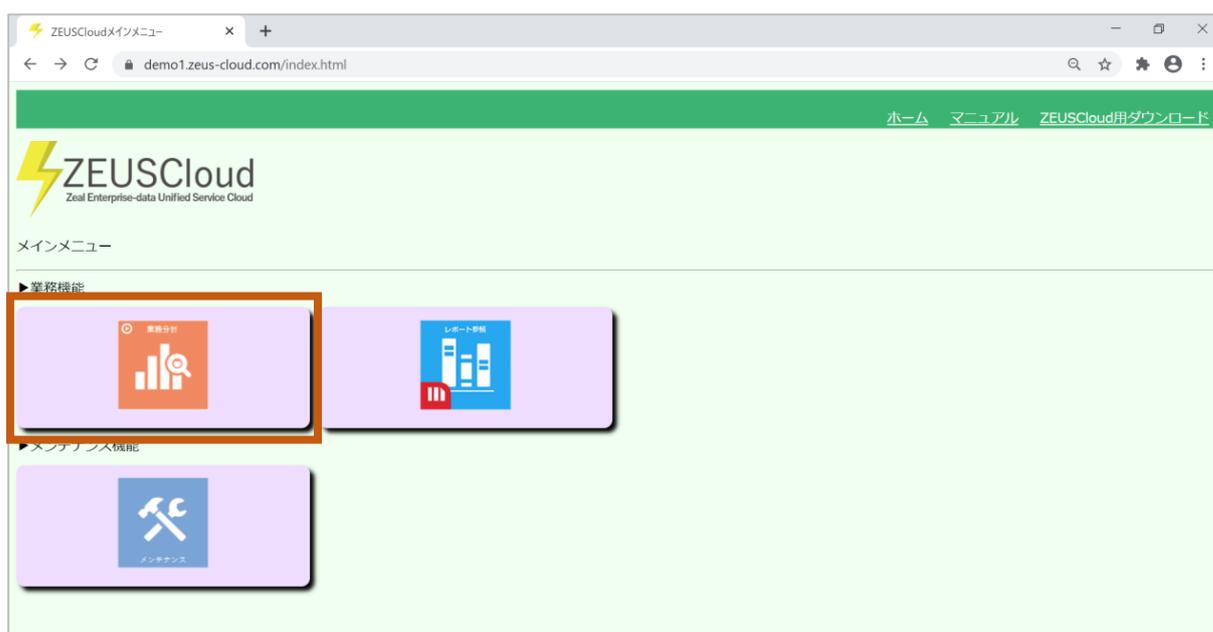
## 5 分析サービスへの接続

分析機能・参照機能へ接続します。

### 5.1 分析機能への接続

分析機能への接続方法を説明します。

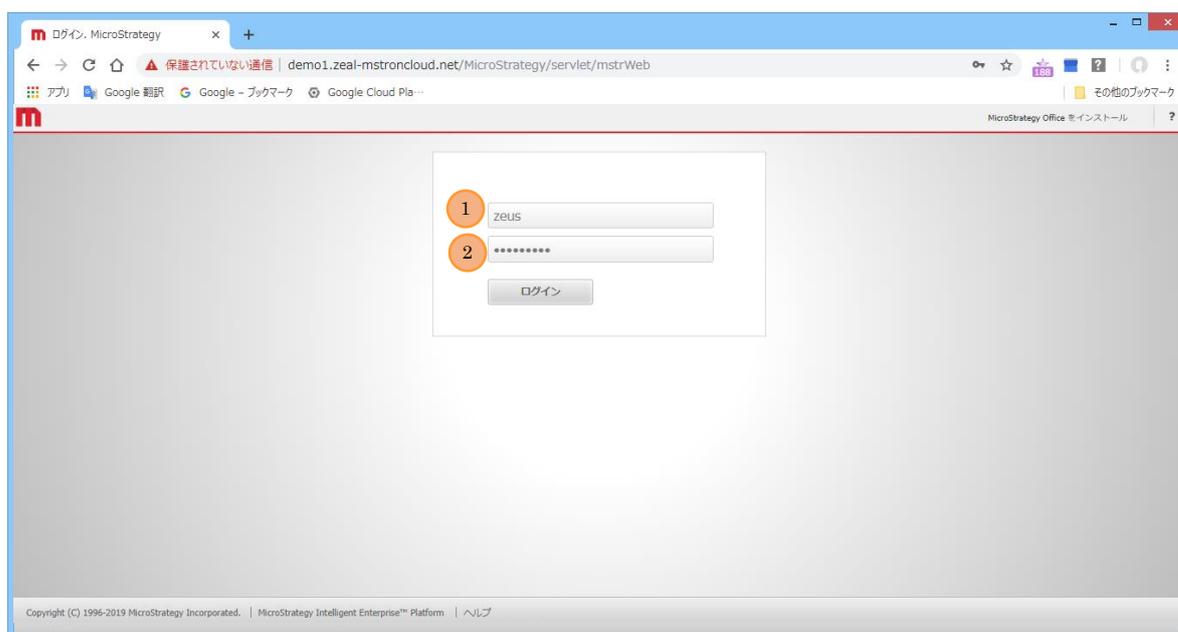
ポータルのメインメニューで業務分析をクリックします。



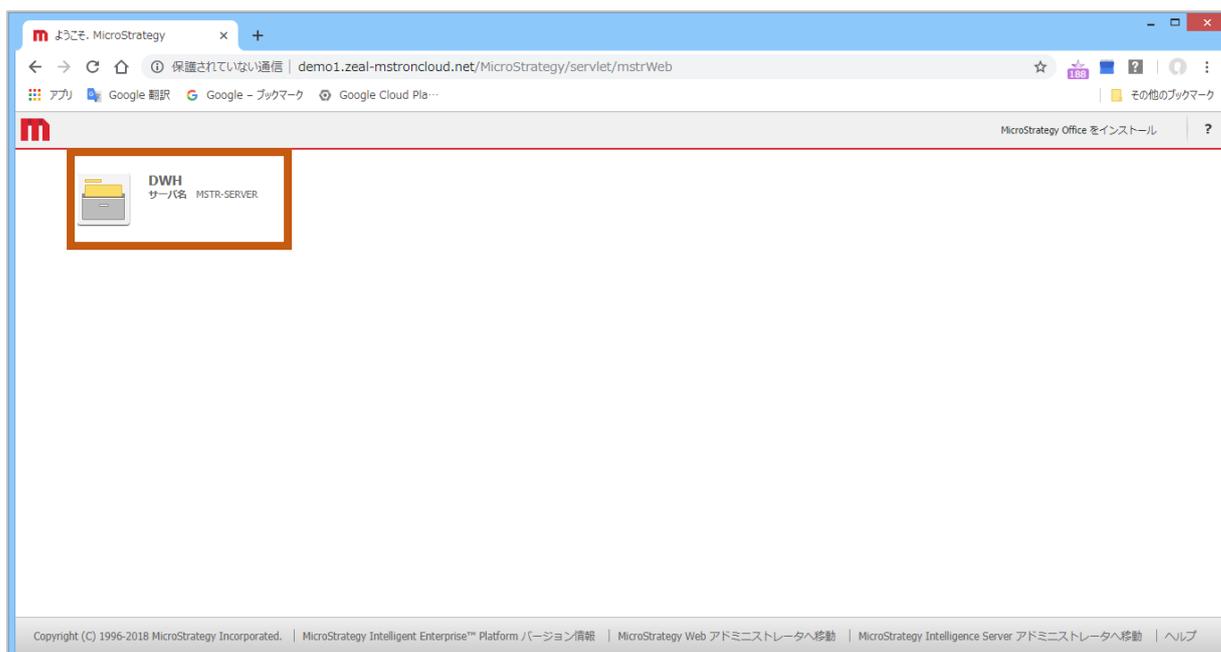
ログイン画面が表示されますので、ユーザー名とパスワードを入力してください。

※接続情報と参照マニュアルは以下の表の通りです。

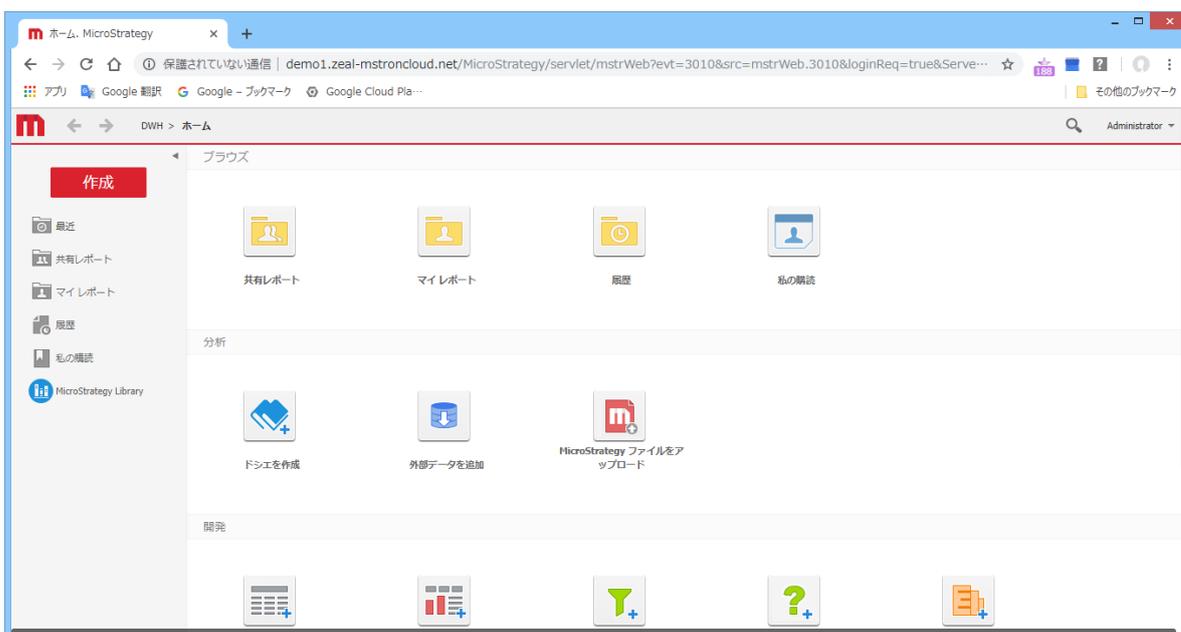
項番	フィールド	参照マニュアル	参照箇所
-	分析 URL	利用開始マニュアル 1.3 分析・参照機能接続情報	分析 URL
①	ユーザー名	基本情報記載依頼シートの 「ログインユーザー記入シート」	ユーザー名
②	パスワード	初回パスワード変更マニュアル	初回ログイン時に設定したパスワード



DWH をクリックします。



●分析機能初期画面



## 5.2 参照機能への接続

分析機能で作成したドシエを参照します。

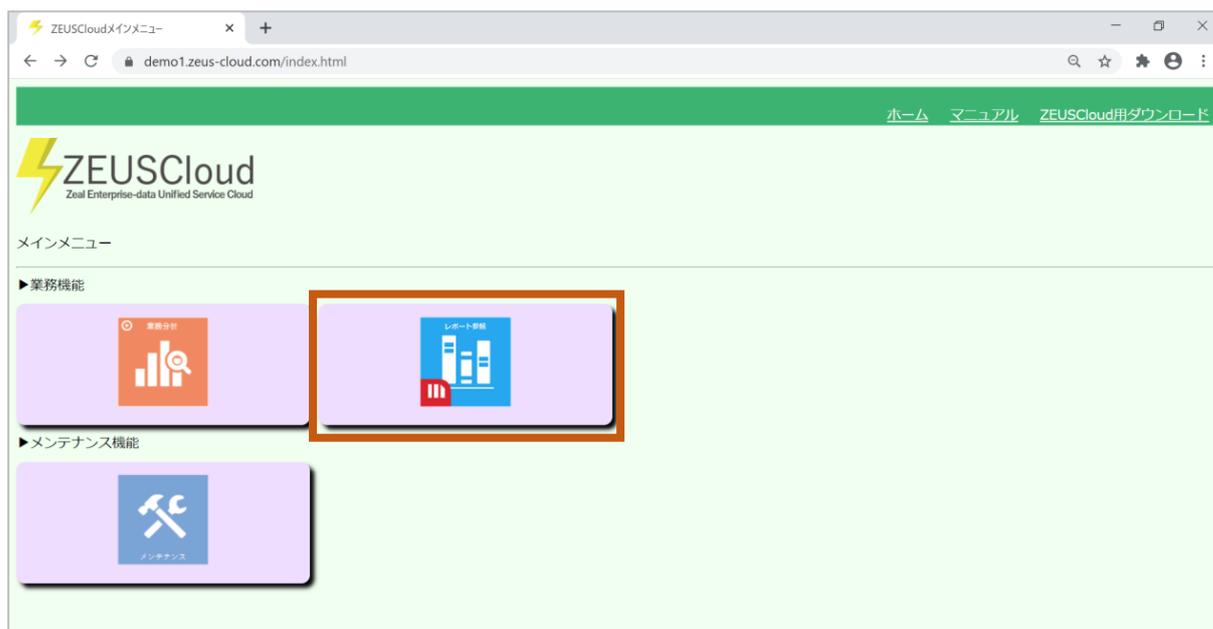
※参照機能では、ドシエのみ参照が可能で、ドシエの編集はできません。

ドシエの作成方法は、本書 7 章をご参照ください。

ドシエを参照機能へ追加する方法は、本書 8 章をご参照ください。

以下、参照機能への接続方法を説明します。

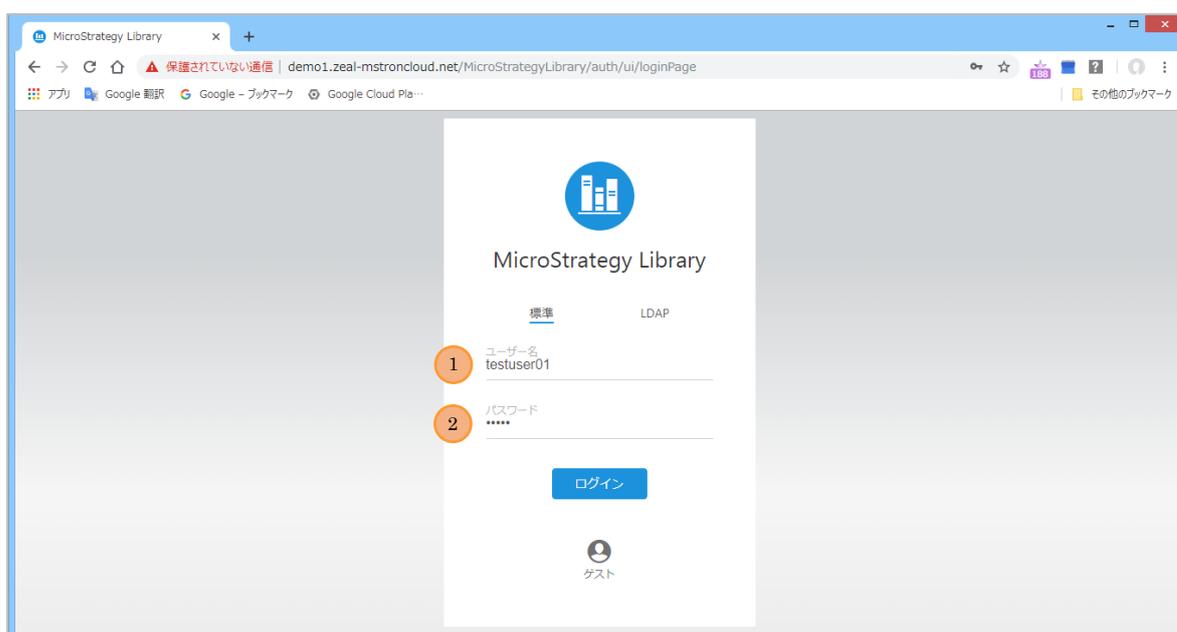
ポータルサイトのメインメニューでレポート参照をクリックします。



ユーザー名とパスワードを入力してください。

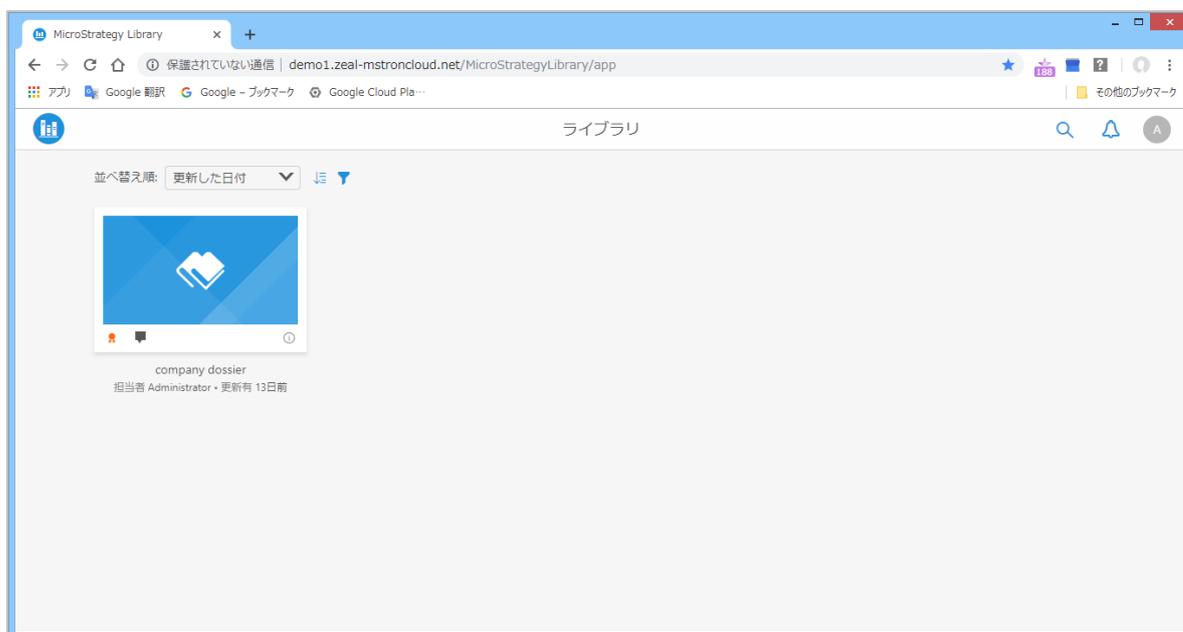
※接続情報と参照マニュアルは以下の表の通りです。

項番	フィールド	参照マニュアル	参照箇所
①	参照 URL	利用開始マニュアル 1.3 分析・参照機能接続情報	参照 URL
②	ユーザー名	基本情報記載依頼シートの 「ログインユーザー記入シート」	ユーザー名
③	パスワード	初回パスワード変更マニュアル	初回ログイン時に設定したパスワード



●分析機能初期画面

※ 1 画面追加した状態



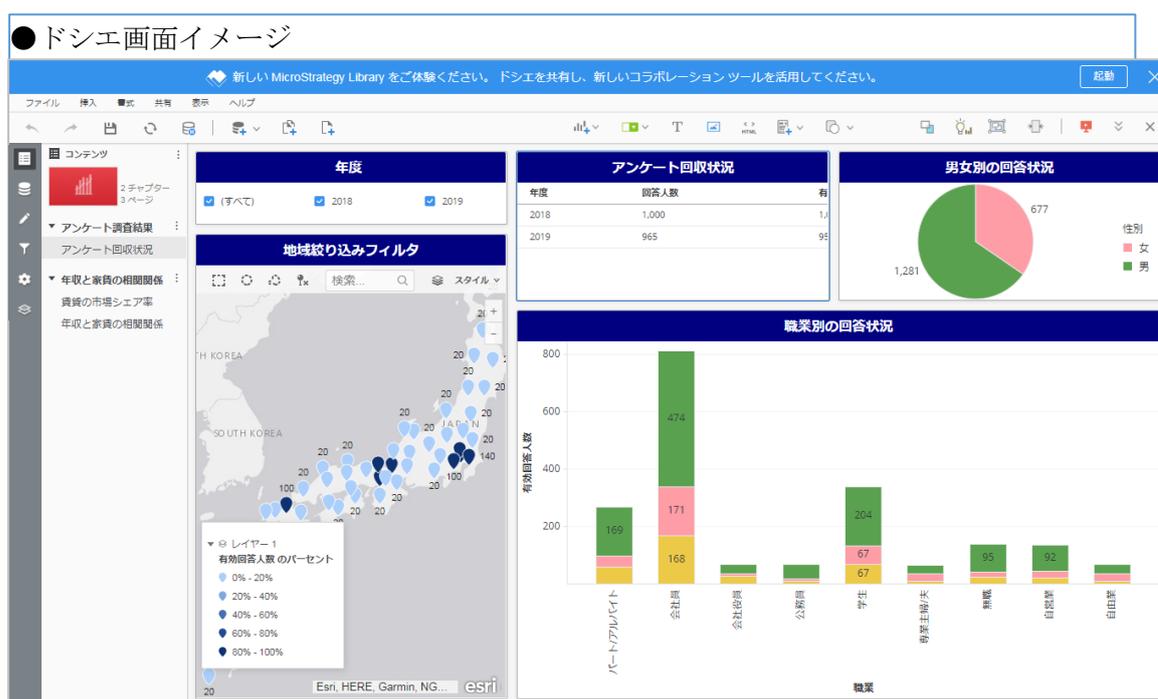
## 6 分析レポートの種類

MicroStrategy では、ドシエ、レポート、ドキュメントの3種類のレポート作成が可能です。

### 6.1 ドシエ

短時間で、手軽にデータを可視化することができます。

表形式、グラフはもちろん、データと地図を連動させて表示することも可能です。



※簡易的な作成方法は 7.1 をご参照ください。

また、詳細な作成方法については、別紙「分析利用マニュアル」をご参照ください。

## 6.2 レポート

レポートは、表形式でのデータ可視化に向いています。  
また、ドシエやドキュメントのデータセットとして使用可能です。

### ● レポート画面イメージ

The screenshot shows a web-based report interface. The main content area displays a table with the following data:

性別	年代	利用エージェント	家賃	年収	
女	20	アバスタンド	116,000	5,270,000	
	30	アバスタンド	150,000	14,590,000	
	50	アバスタンド	80,000	7,470,000	
	60	アオノモリ	30,000	610,000	
	70	アバスタンド	60,000	6,030,000	
		イエバス	80,000	4,890,000	
	80	スーモ	90,000	9,870,000	
		アオノモリ	70,000	1,960,000	
	男	50	アバスタンド	130,000	12,170,000
			アバスタンド	140,000	7,890,000
70		イエバス	30,000	4,120,000	
総計平均			81,934	3,883,693	

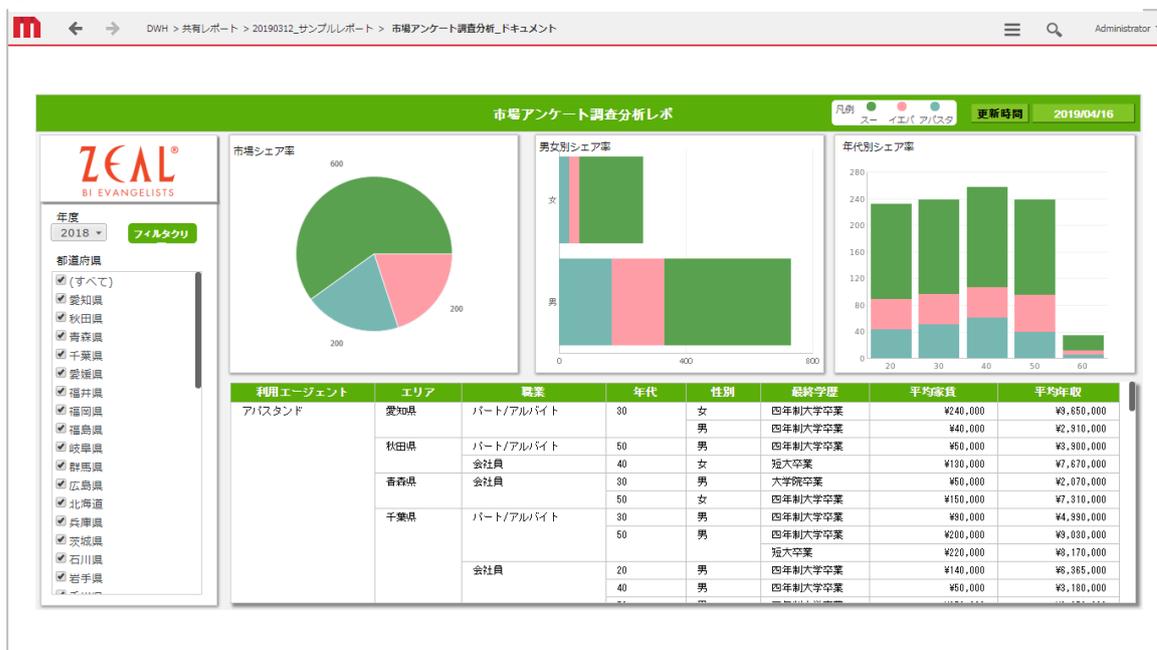
The interface also includes a sidebar with navigation options, a top navigation bar with the breadcrumb 'DWH > 共有レポート > 20190312\_サンプルレポート > 市場アンケート調査分析\_レポート', and a search bar. The report filter is set to '(EJUP) = 東京都'. The page shows 13 data rows and 2 data pages.

※詳細な作成方法については、別紙「分析利用マニュアル」をご参照ください。

### 6.3 ドキュメント

自由度が高く、複雑なレポートを作成することができます。  
また、印刷してレポートを見ることに適しています。

#### ●ドキュメント画面イメージ



※詳細な作成方法については、別紙「分析利用マニュアル」をご参照ください。

### 6.4 分析レポートの使い分け

ドシエ、レポート、ドキュメントの使い分けの目安は下図の通りです。

レポート種類	特徴
ドシエ	画面デザインに特化した画面 ドラッグ&ドロップを使用した容易なビジュアル化が可能 地図データとの連携等により、視覚的な分析が可能
レポート	画面上の操作で作成可能な、OLAP分析の基本となる表形式レポート画面 ドリルダウンやスライス分析等が可能
ドキュメント	印刷に適した画面 細かい部品配置が可能

## 7 分析

本章では、ドシエの基本的な作成方法を説明します。

※ドシエの詳細な作成方法やレポート、ドキュメントの作成方法については、別紙「分析利用マニュアル」をご参照ください。

### 7.1 データ取り込み

ドシエの作成前に、データの取り込みを行います。

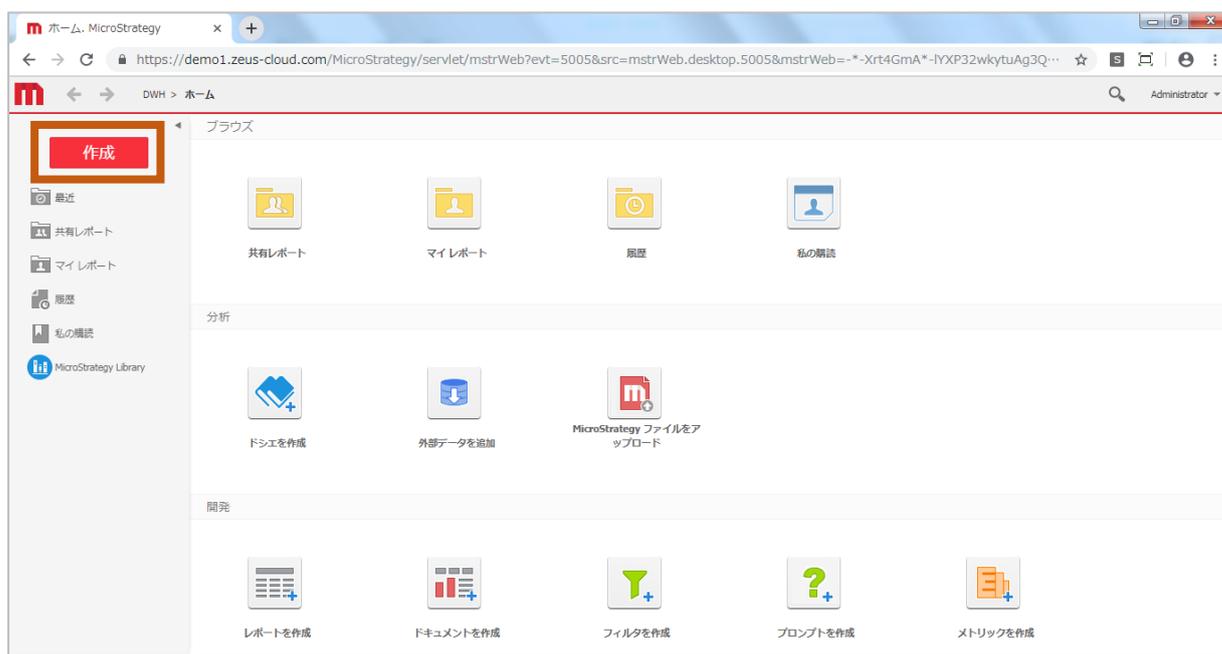
以下、データ取り込み方法を説明します。

※先述の通りデータ取込には2種類の方法があり、用途により使い分けていただく必要があります。それぞれの機能は下記の通りです。

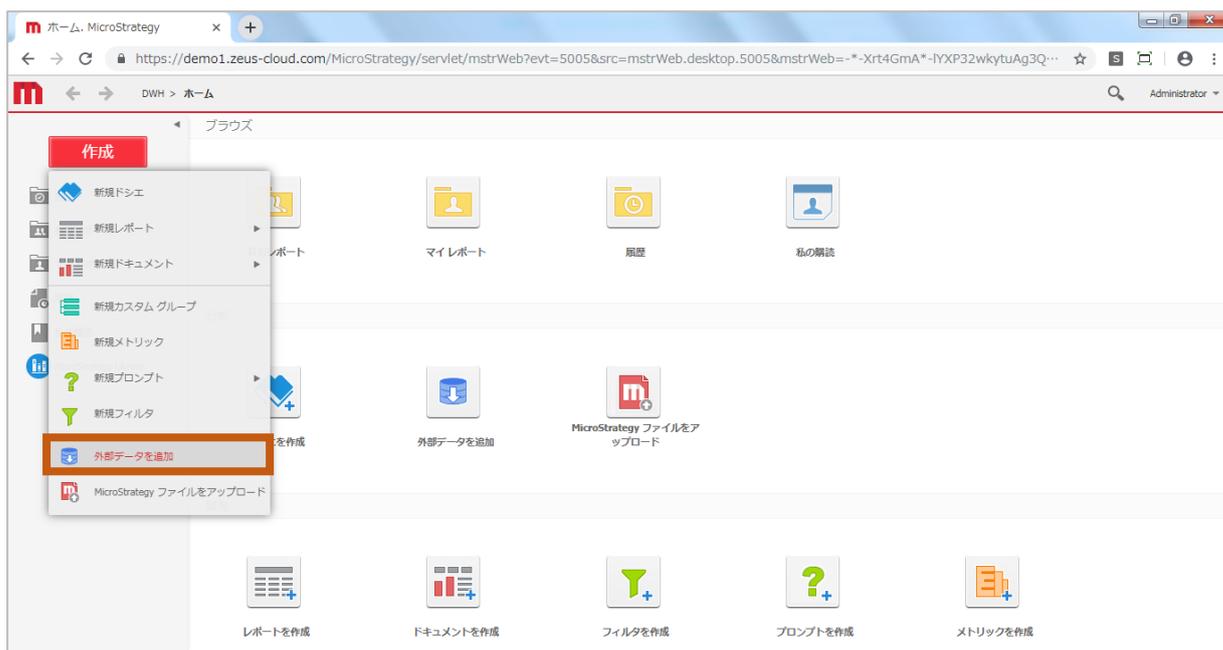
- ・データレイク：多数のソースから様々なデータを、元のままの形式で蓄積する機能
- ・DWH：取り込んだデータを時系列で恒久的に蓄積して分析に使用する機能

以降は、データレイクでの取込手順について紹介いたします。

作成をクリックします。

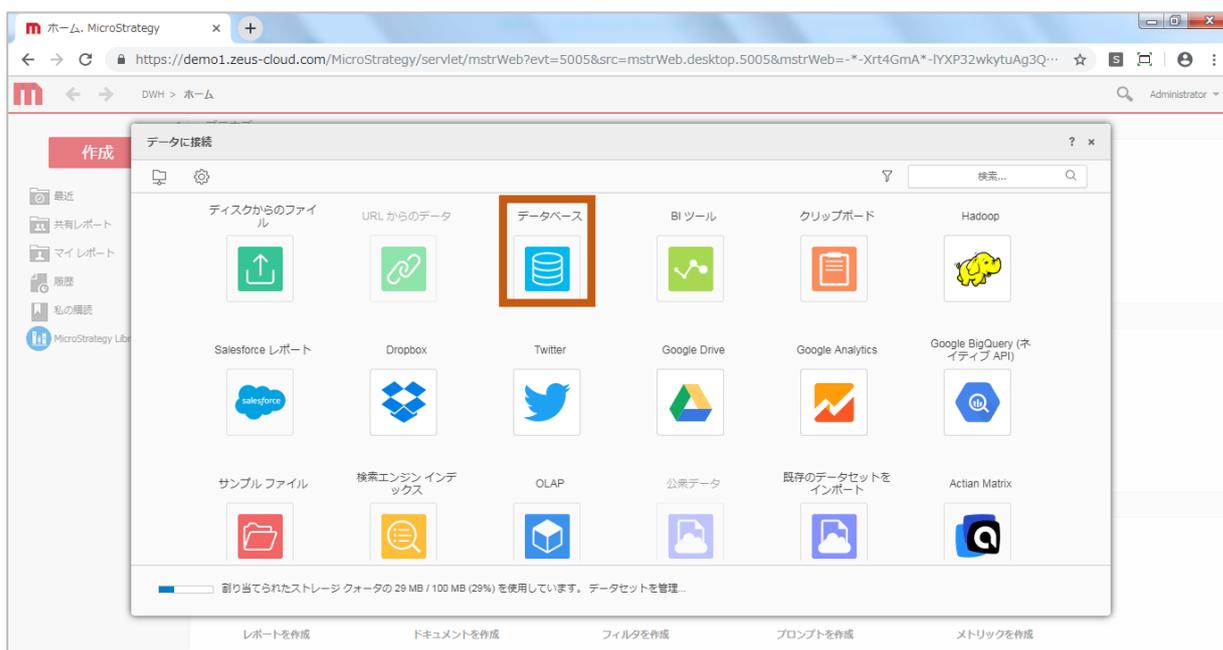


「外部データを追加」をクリックします。

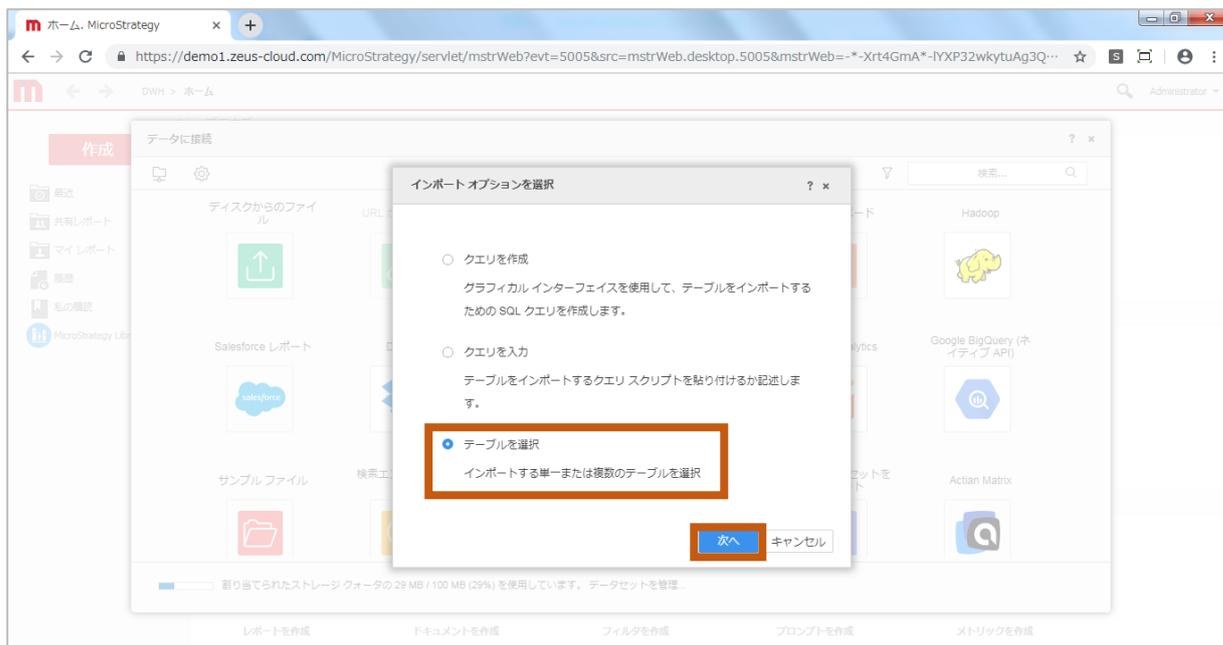


データへの接続方法を選択します。

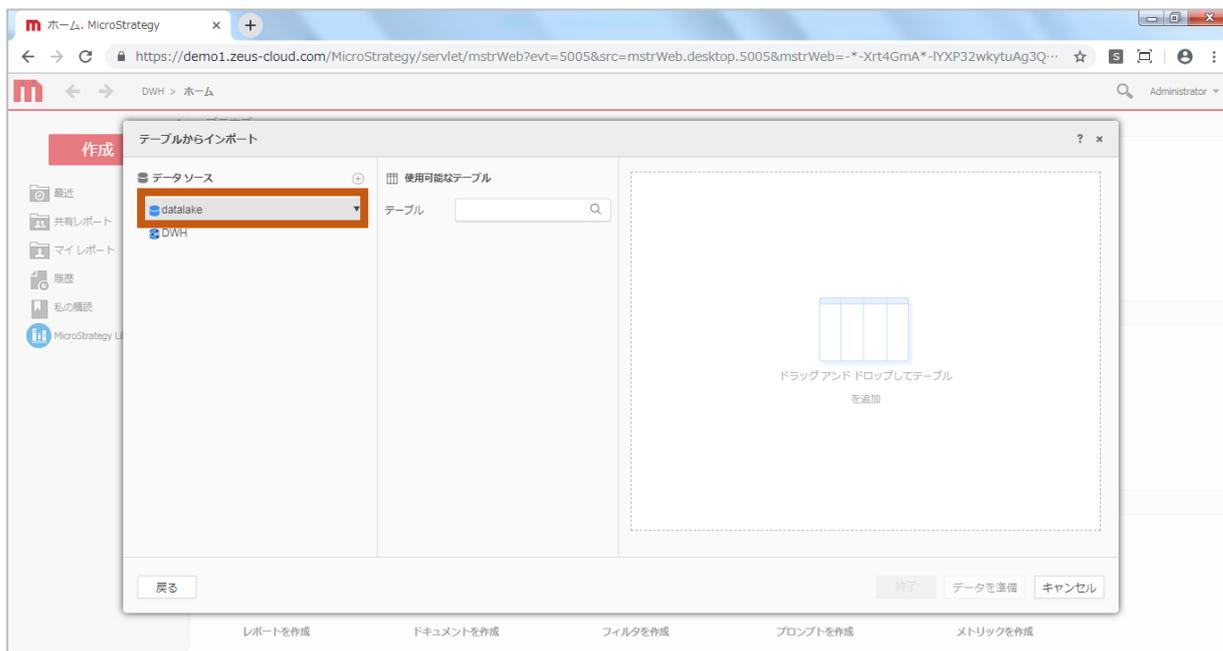
ここでは、「データベース」をクリックします。



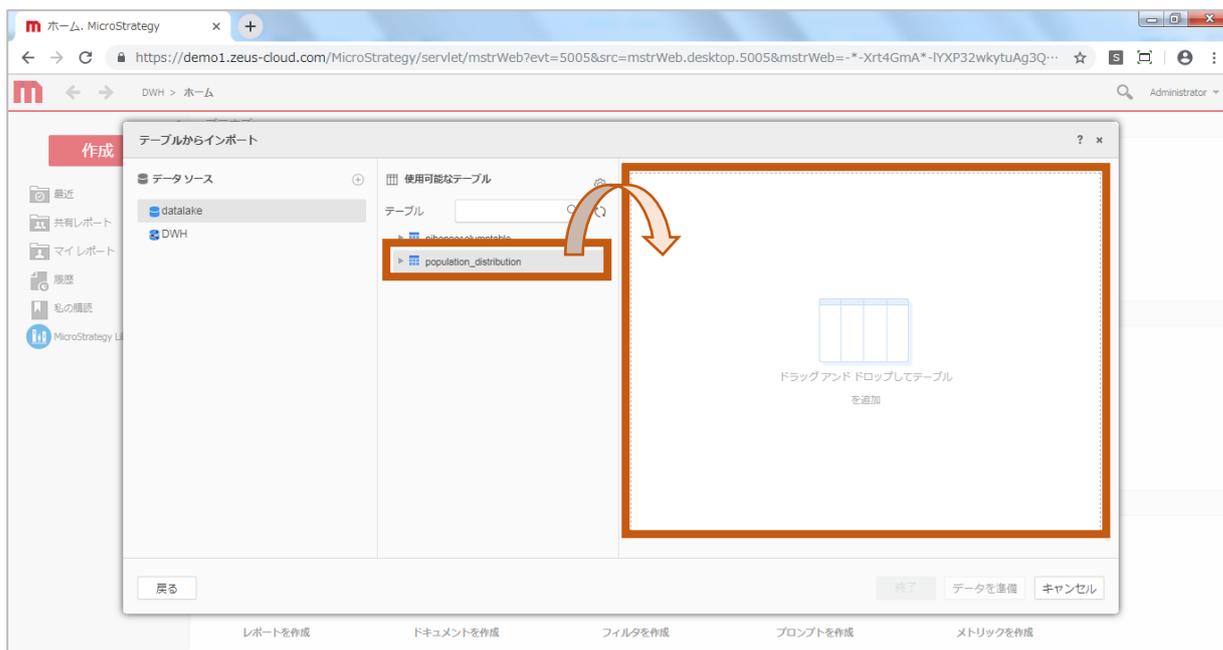
「インポートオプションを選択」画面では、  
「テーブルを選択」にチェックを入れた後、「次へ」をクリックします。



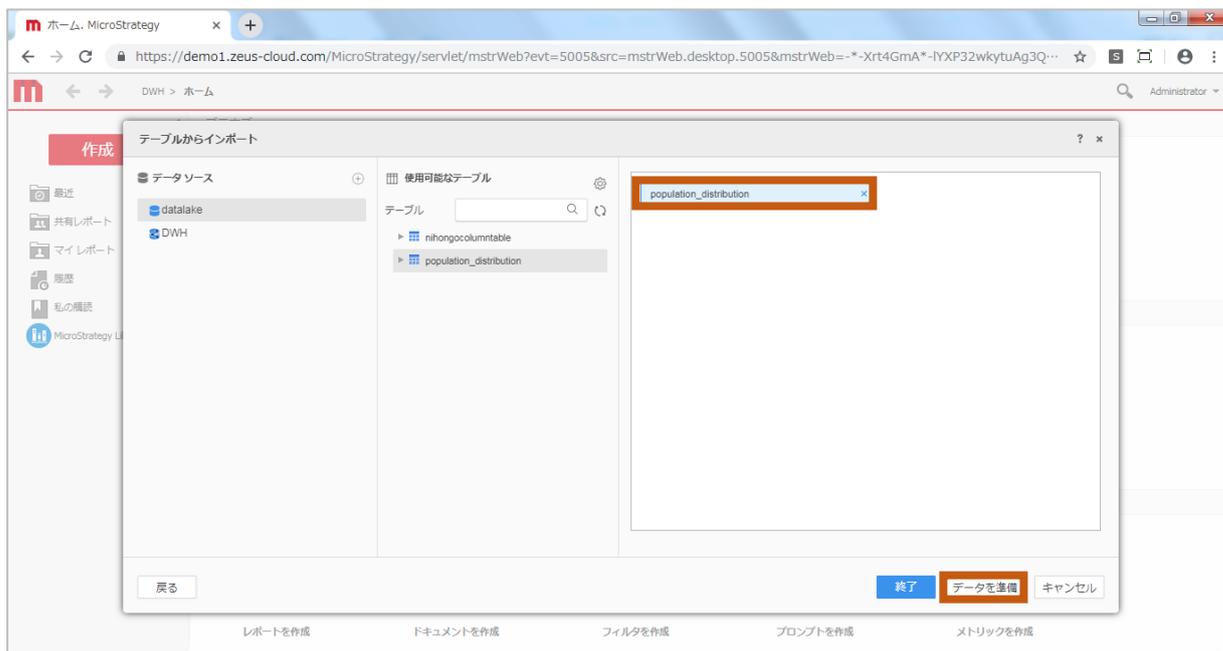
「データソース」は「datalake」をクリックします。



「使用可能なテーブル」から「population\_distribution」を  
「ドラッグアンドドロップしてテーブルを追加」にドラッグアンドドロップして配置します。



「population\_distribution」を配置したら、「データを準備」をクリックします。

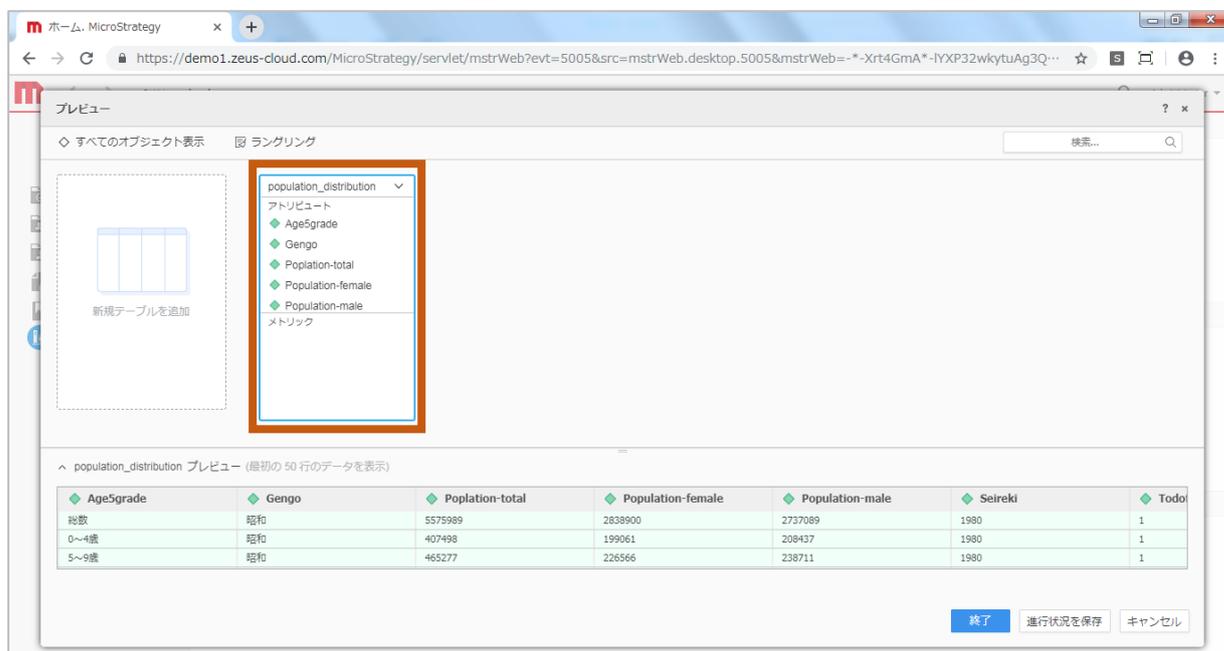


データの準備を行います。

テーブルの項目をアトリビュートやメトリックに分けます。

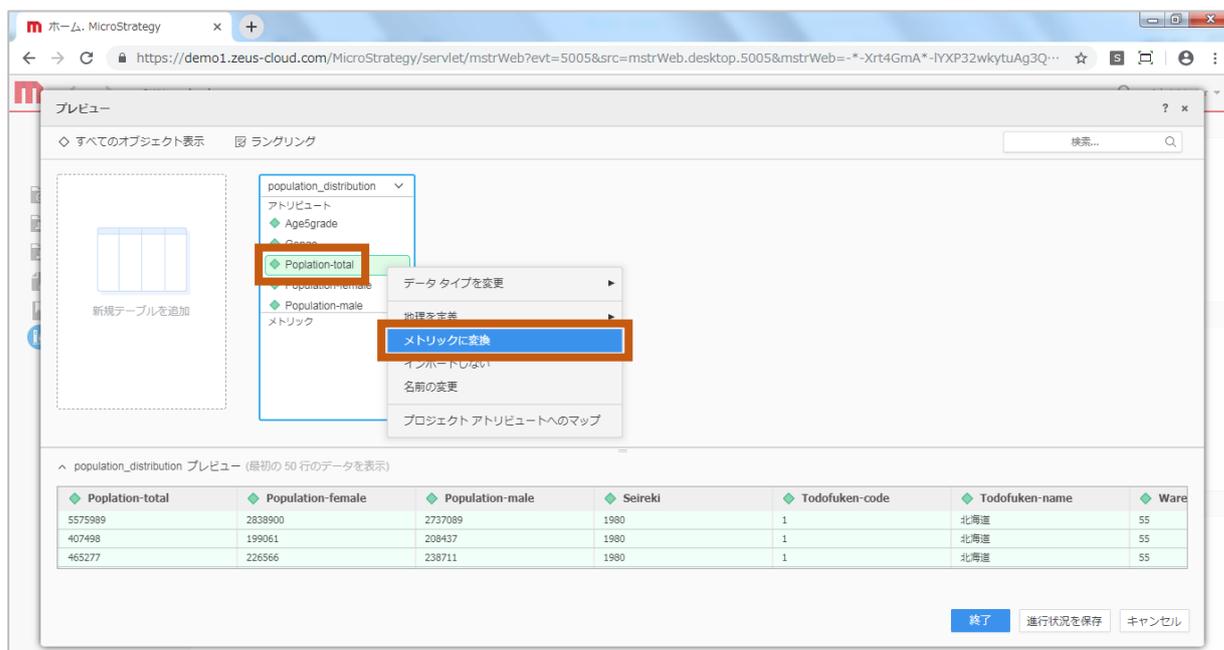
※アトリビュートは、「年月」や「部署」など、分析軸となるものです。

※メトリックは、「売上」や「予算」など、数値データとなるものです。

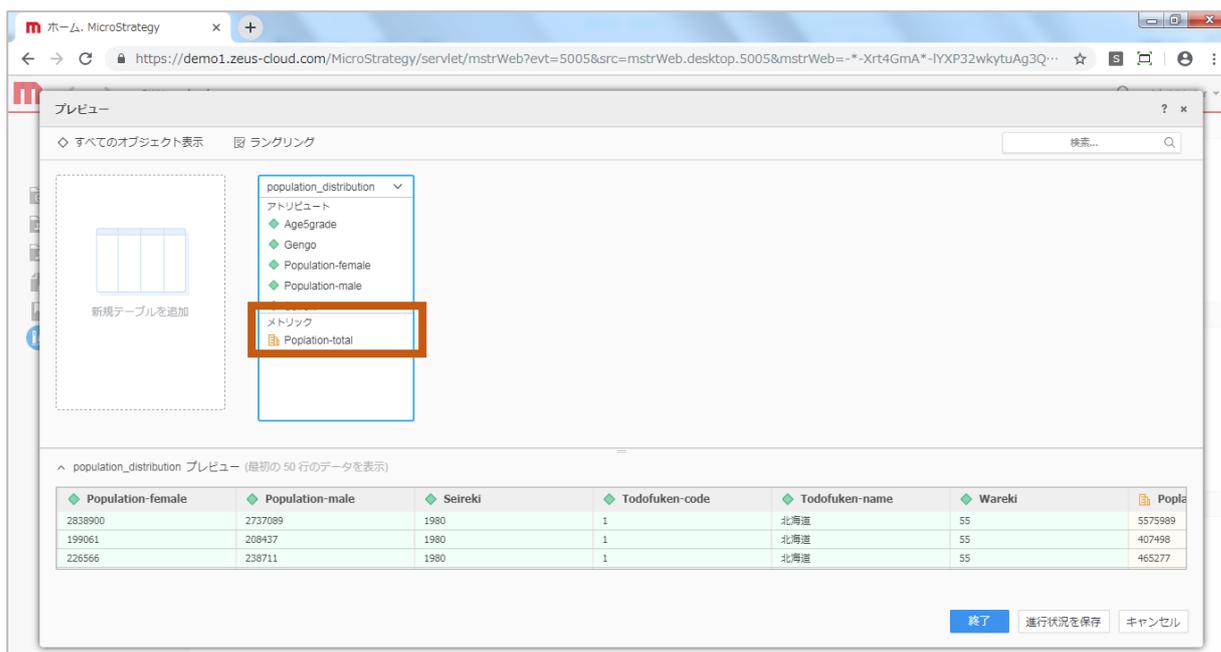


メトリック項目がアトリビュートになっている場合は、メトリックに変更します。

「Population-total」アトリビュートを右クリックし、「メトリックに変換」をクリックします。

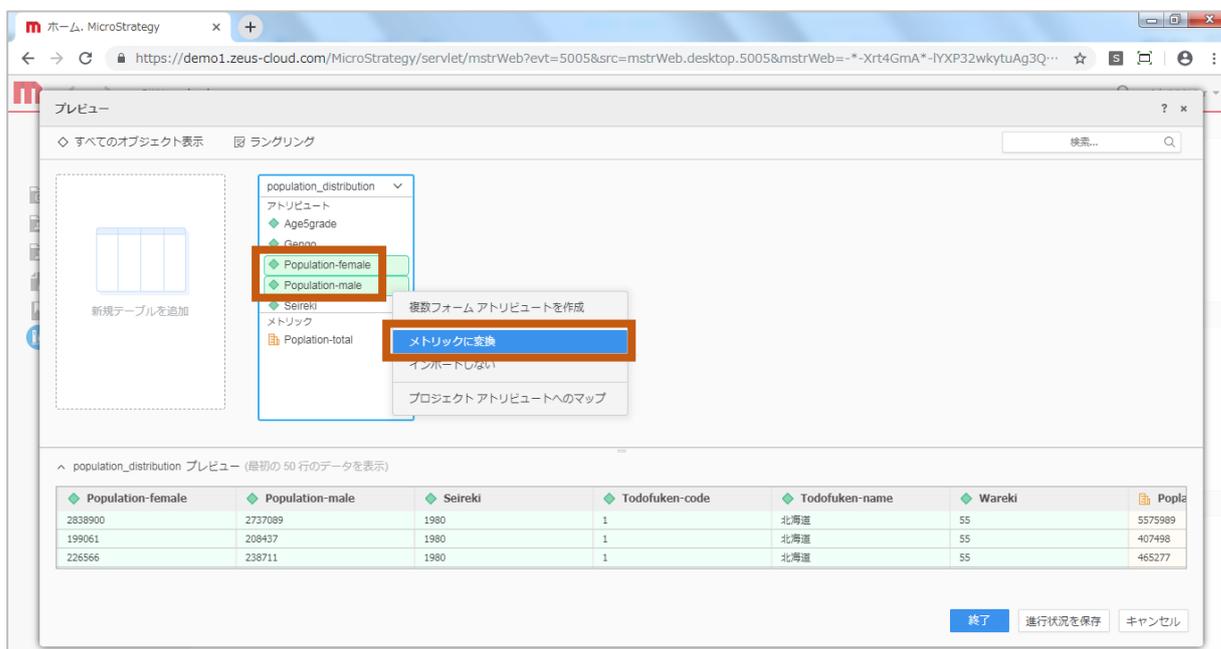


メトリックに変換された後の画面です。

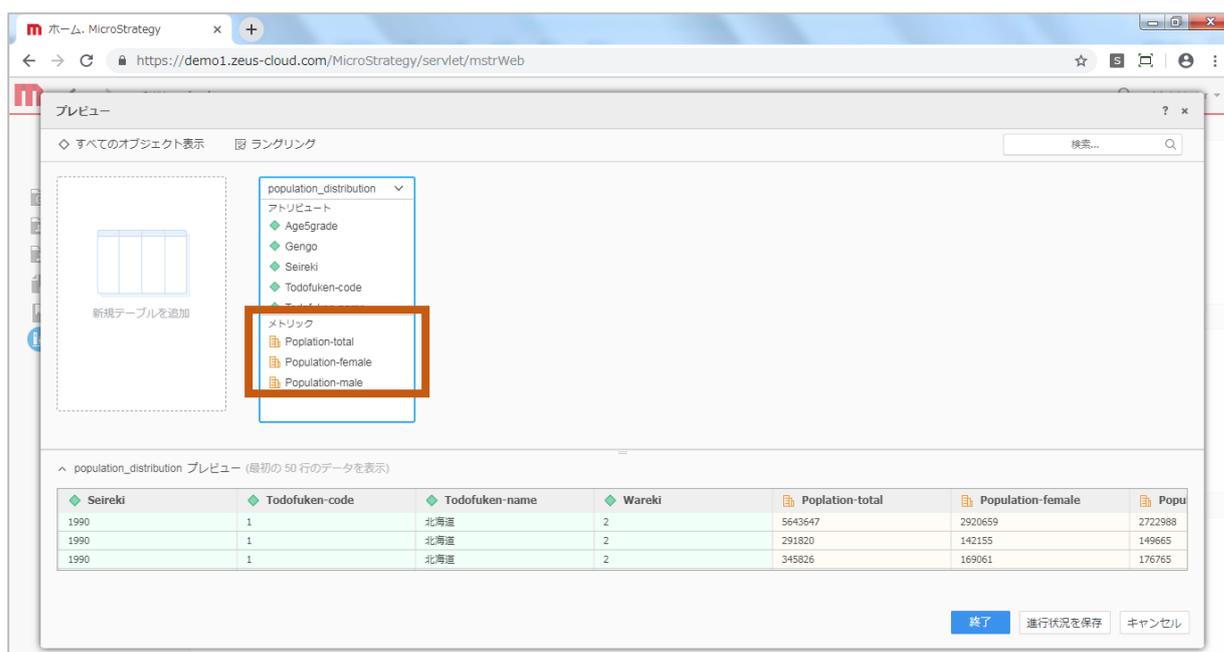


メトリックに変換したいアトリビュートが複数ある場合は、一括でメトリックに変換することもできます。

Ctrl キーを押下しながら「Population-female」「Population-male」アトリビュートをクリックした後、右クリックし、「メトリックに変換」をクリックします。



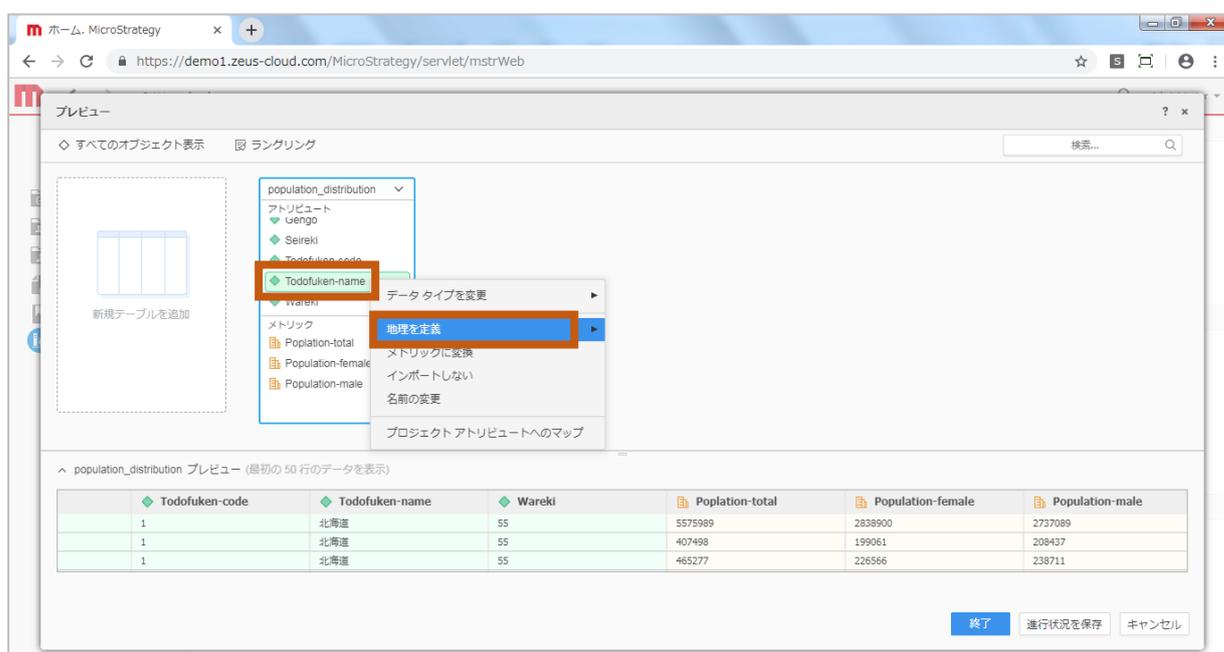
メトリックに変換された後の画面です。



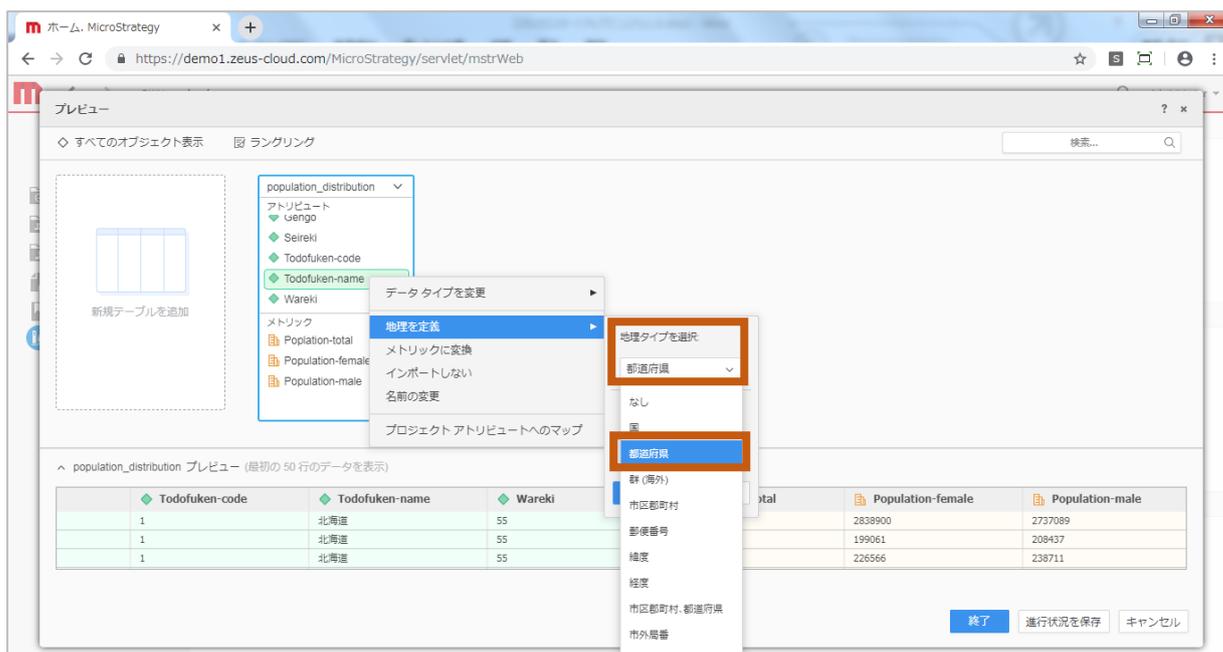
都道府県や市区町村といった地理を、あらかじめ定義しておくことによって、ドシェでデータと地図を連動させることができます。

「Todofuken-name」アトリビュートを右クリックします。

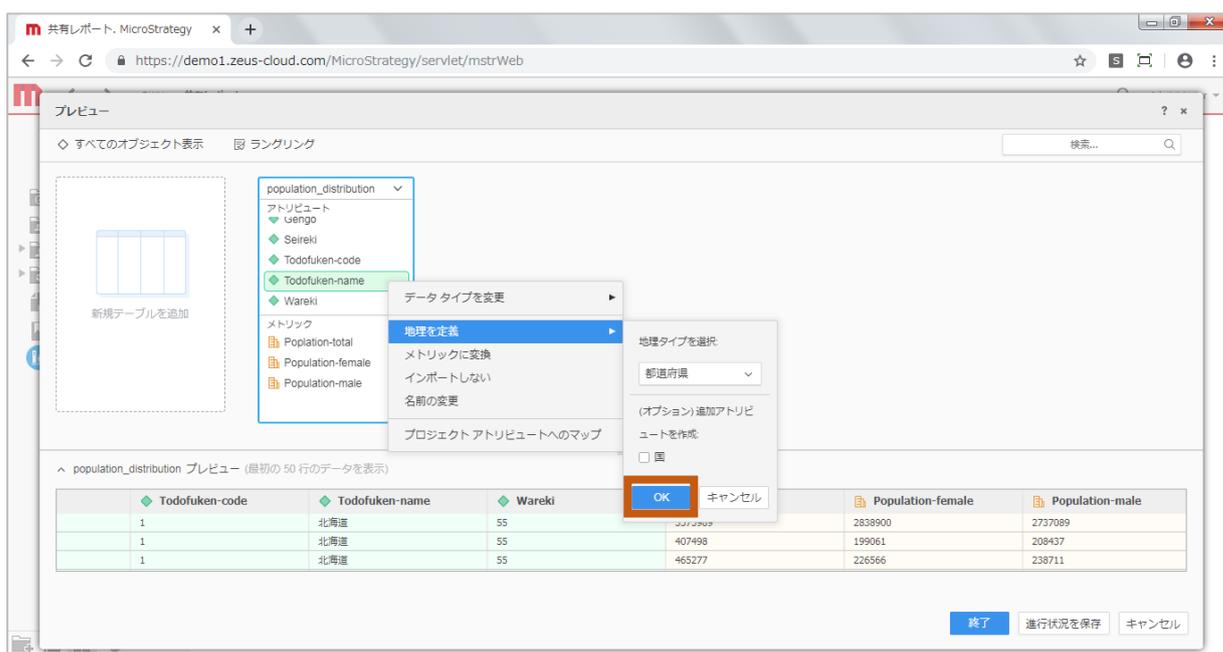
コンテキストメニューが表示されたら、「地理を定義」をマウスオーバーします。



「地理タイプを選択」のドロップダウンリストから「都道府県」を選択します。

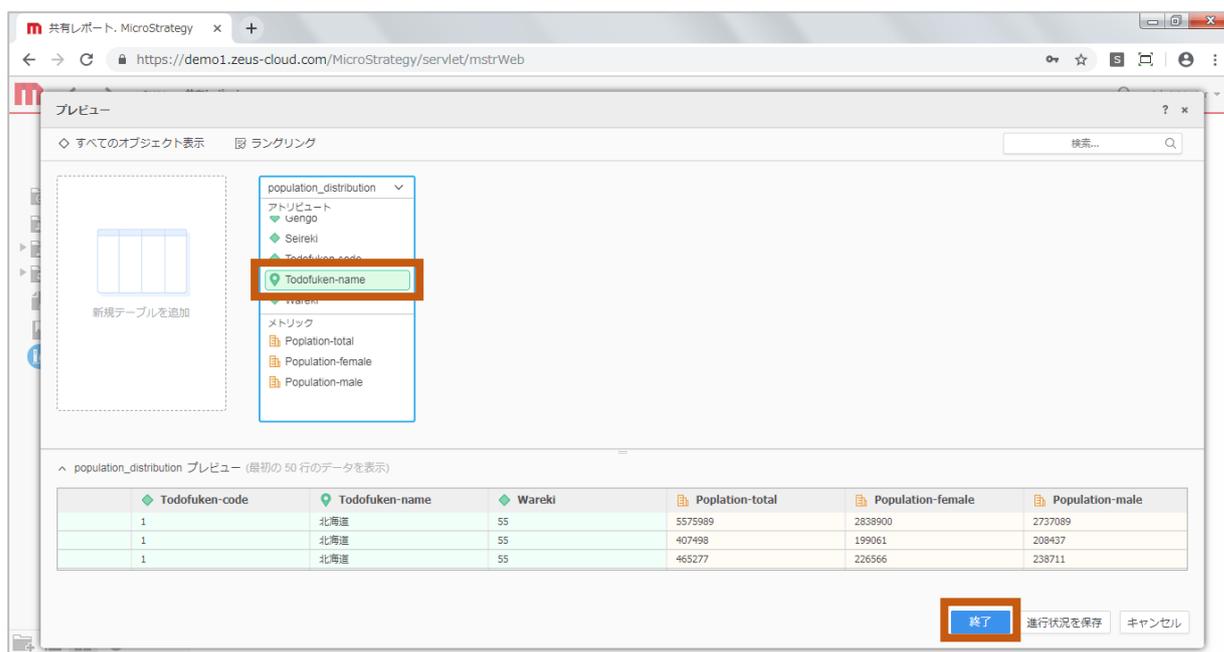


「OK」をクリックします。



地理を定義した後の画面です。

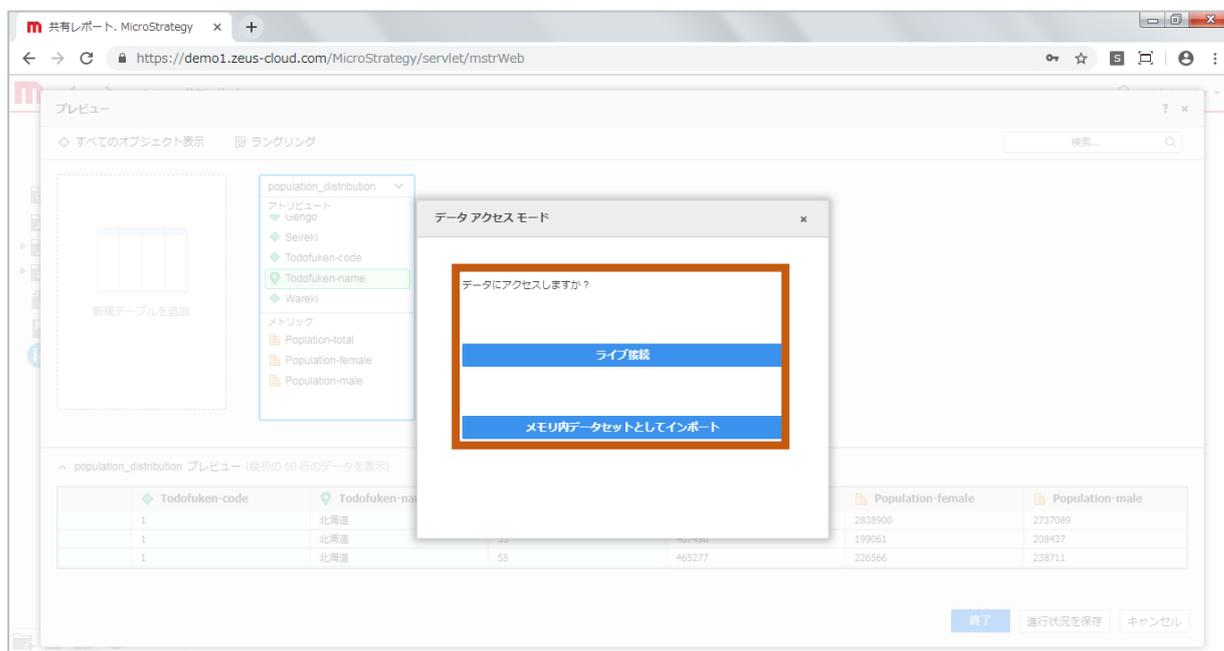
「終了」をクリックします。



「データアクセスモード」は、「ライブ接続」もしくは

「メモリ内データセットとしてインポート」をクリックします。

※ここでは「メモリ内データセットとしてインポート」を選択します。



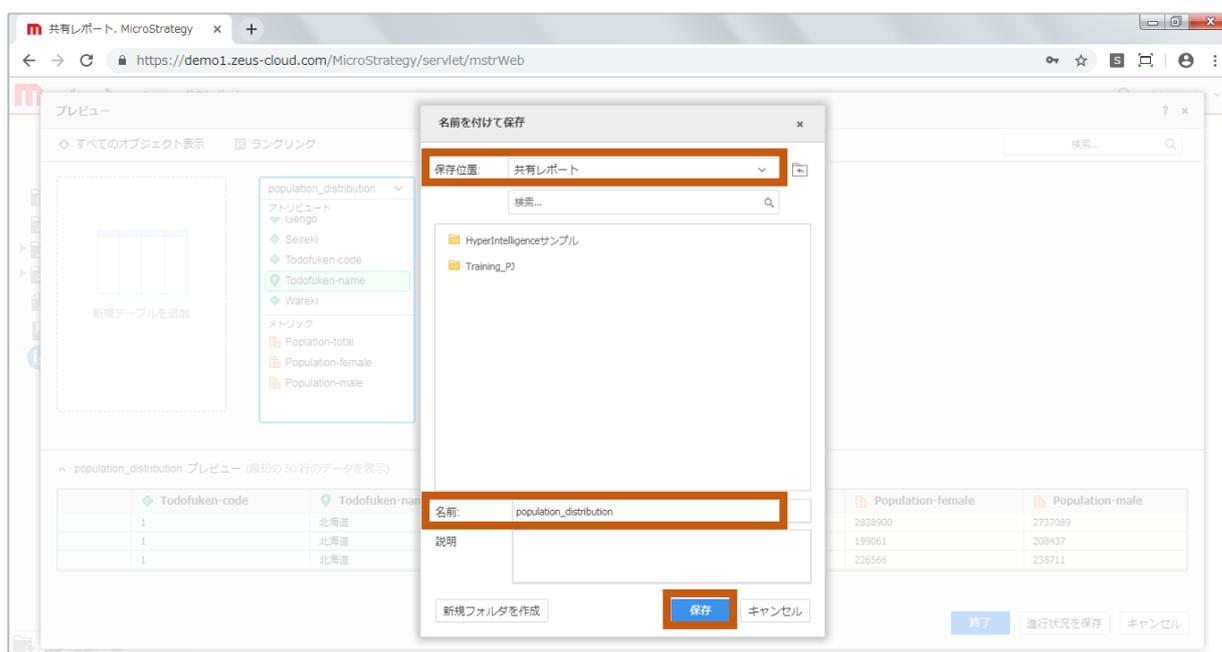
データアクセスモードの特徴については下記の通りです。

モード	特徴
ライブ接続	レポート実行時に、都度データベースにアクセスするため、最新のデータを取得することが出来ます。 データ量が多い場合はパフォーマンスに影響があります。
メモリ内 データセット	メモリ上にキャッシュを保持し、高速に分析することが可能です。 データ投入後、メモリ上のキャッシュの更新が必要になります。

データアクセスモードを選択した後、データを保存します。

保存位置は、ドロップダウンリストから「共有レポート」を選択します。

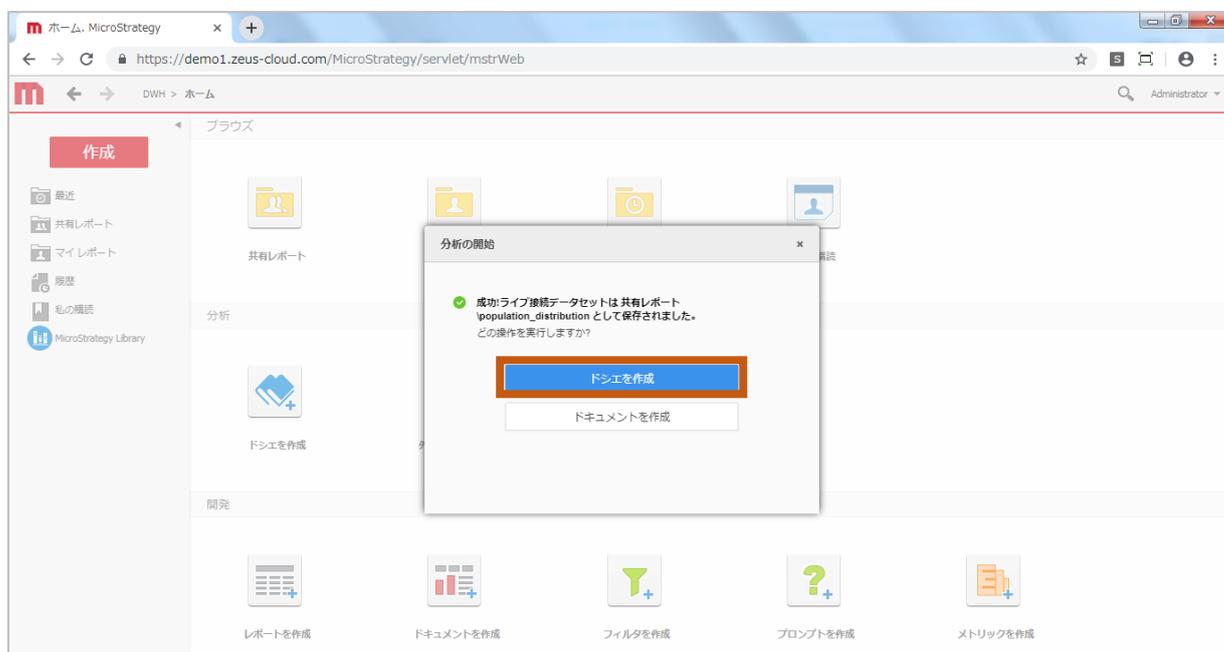
名前は「population\_distribution」と入力し、「保存」をクリックします。



## 7.2 分析

ドシエを作成し、分析を行います。  
以下、ドシエの基本的な作成方法を説明します。

「ドシエを作成」をクリックします。

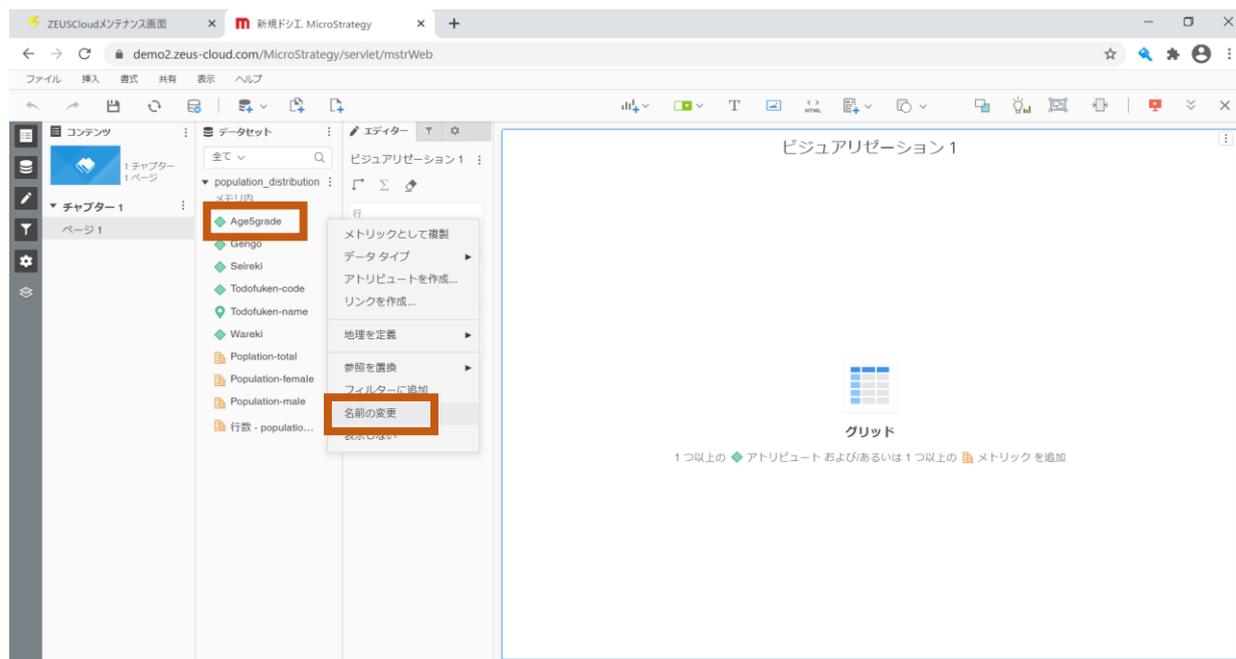


ドシエ作成の初期画面です。

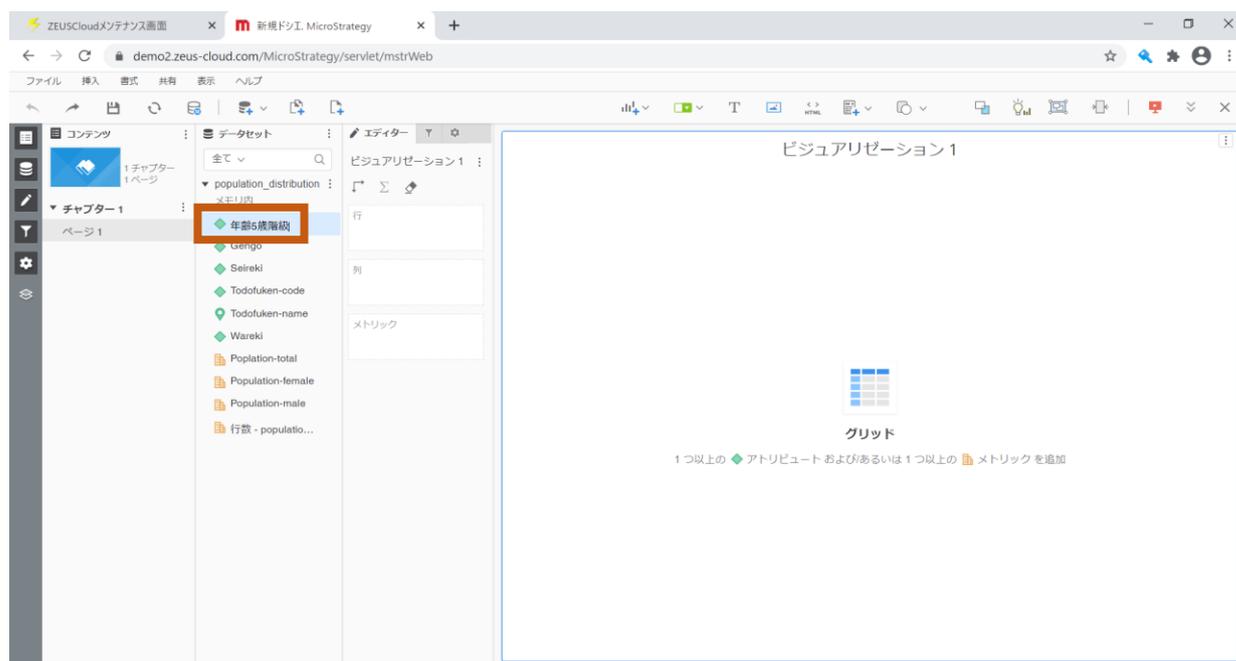


アトリビュート、メトリックの名前を変更します。

「Age5grade」アトリビュートを右クリックし、「名前の変更」をクリックします。



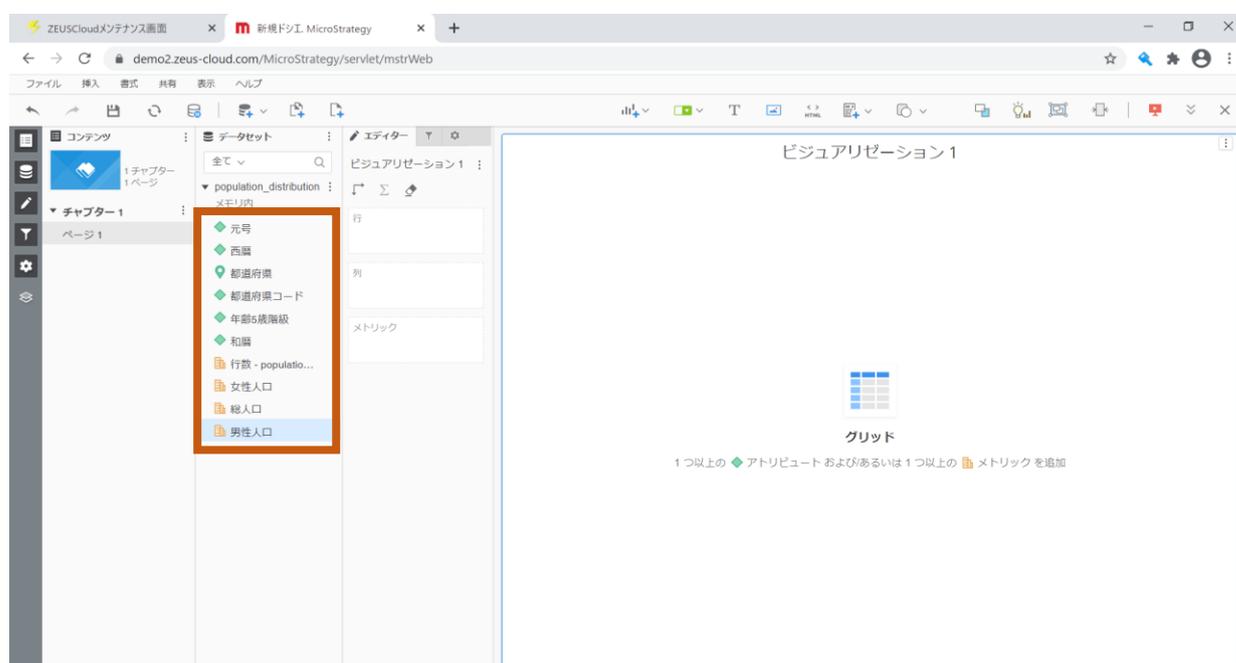
「年齢 5 歳階級」と入力します。



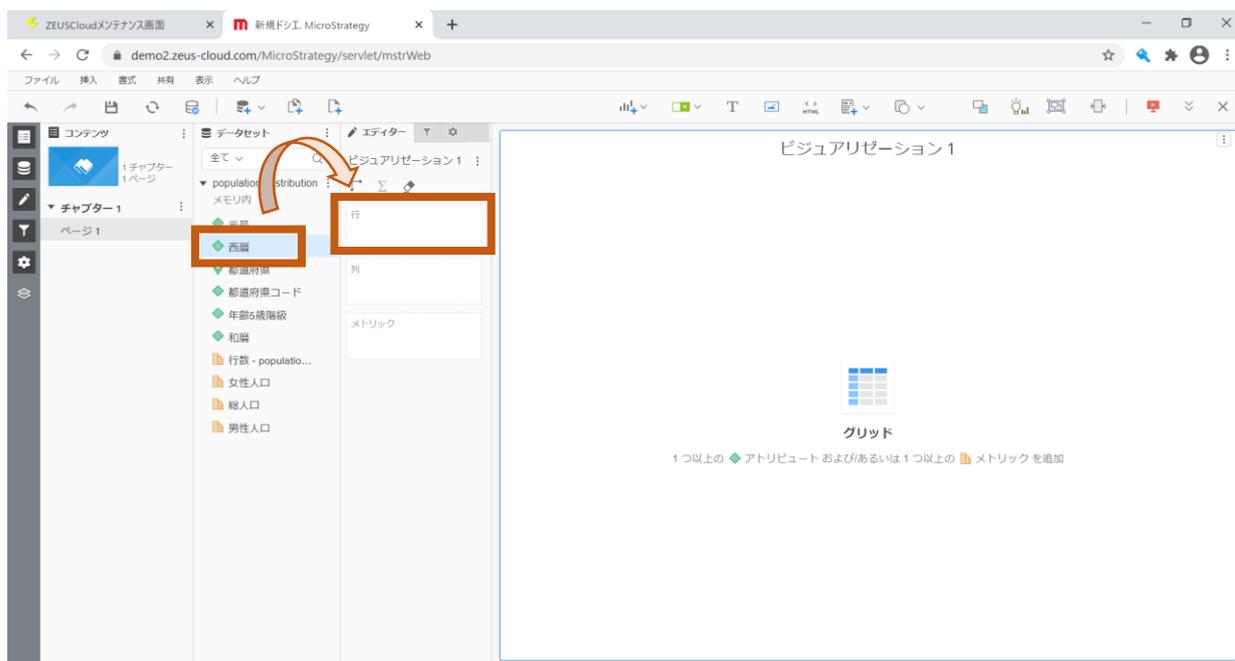
続けて、他のアトリビュートとメトリックの名前を下表の通り、変更します。

変更前	変更後
Gengo	元号
Seireki	西暦
Todofuken-code	都道府県コード
Todofuken-name	都道府県
Wareki	和暦
Population-total	総人口
Population-female	女性人口
Population-male	男性人口

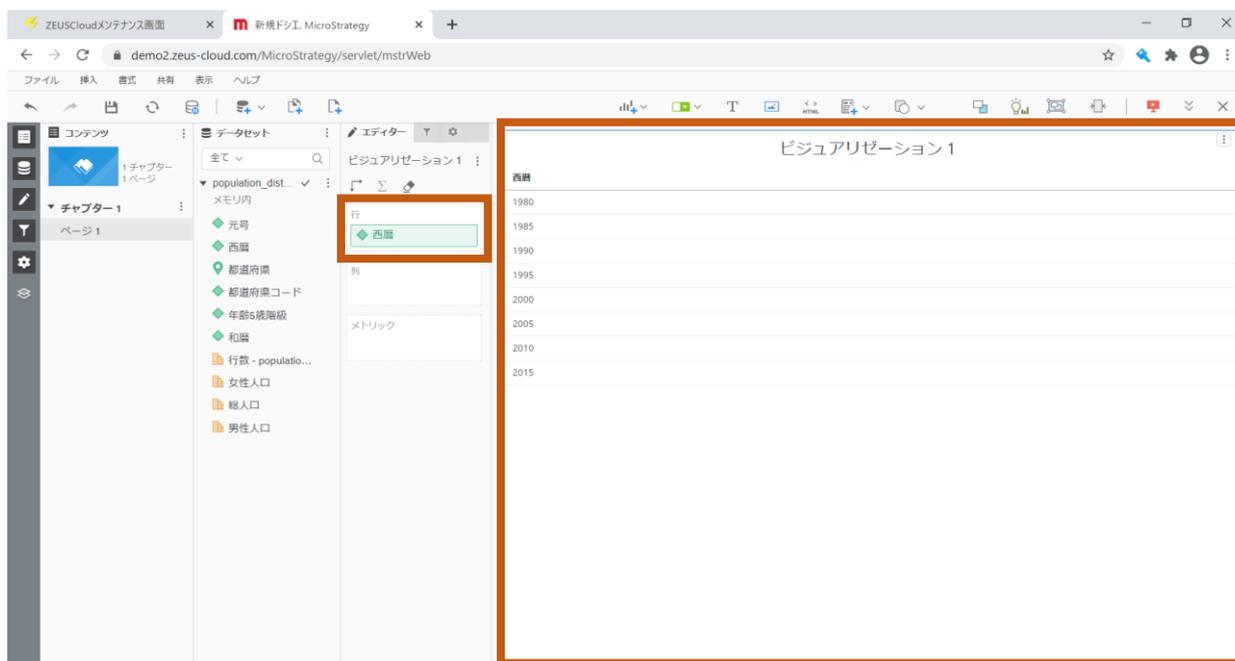
名前変更後の画面です。



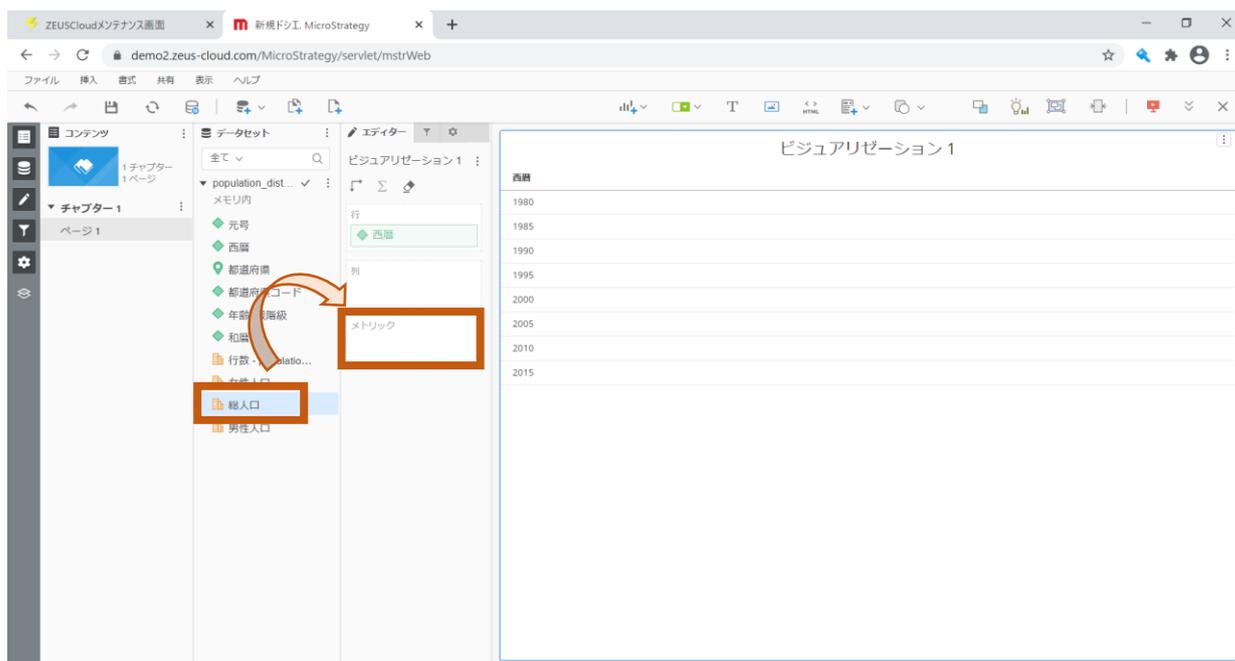
「西暦」アトリビュートを「行」にドラッグアンドドロップし、配置します。



「西暦」アトリビュートを「行」に配置した画面です。

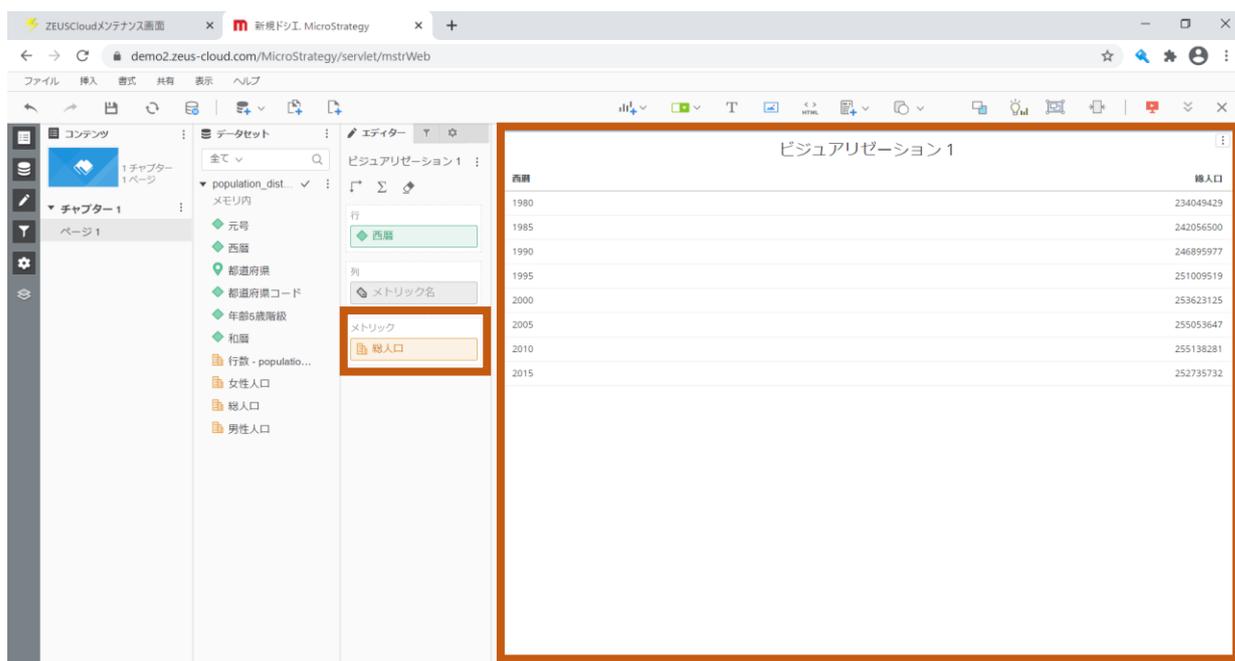


「総人口」メトリックを「メトリック」にドラッグアンドドロップし、配置します。



「総人口」メトリックを「メトリック」に配置した画面です。

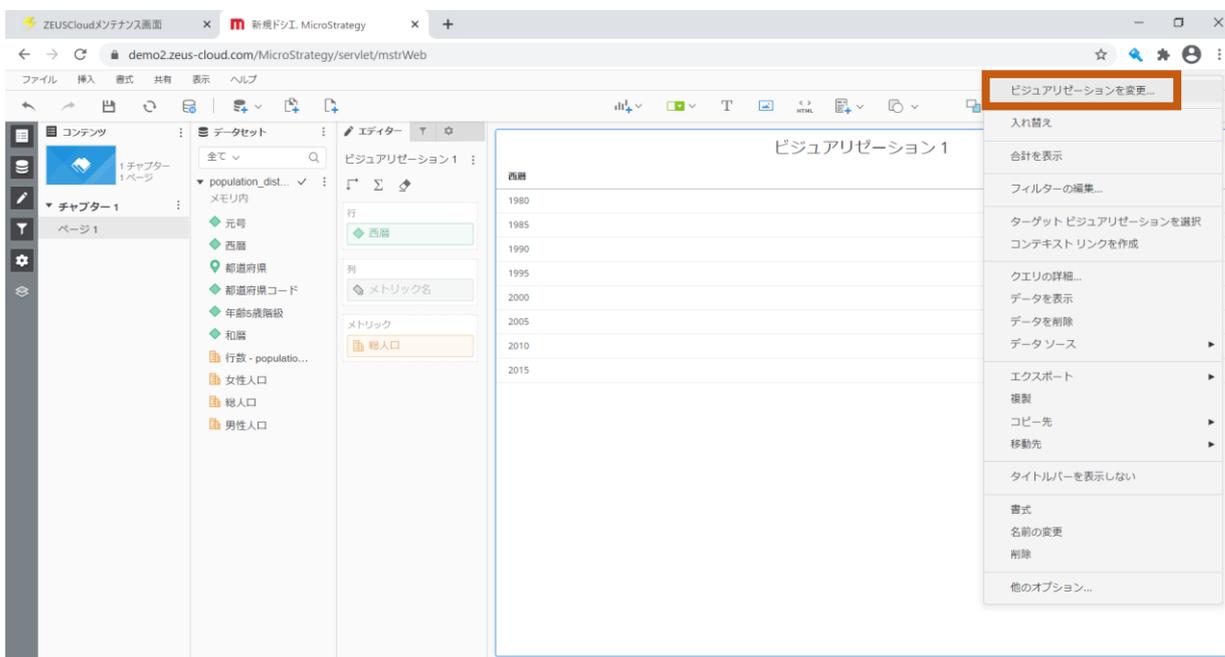
※アトリビュートより左にメトリックを配置することはできません



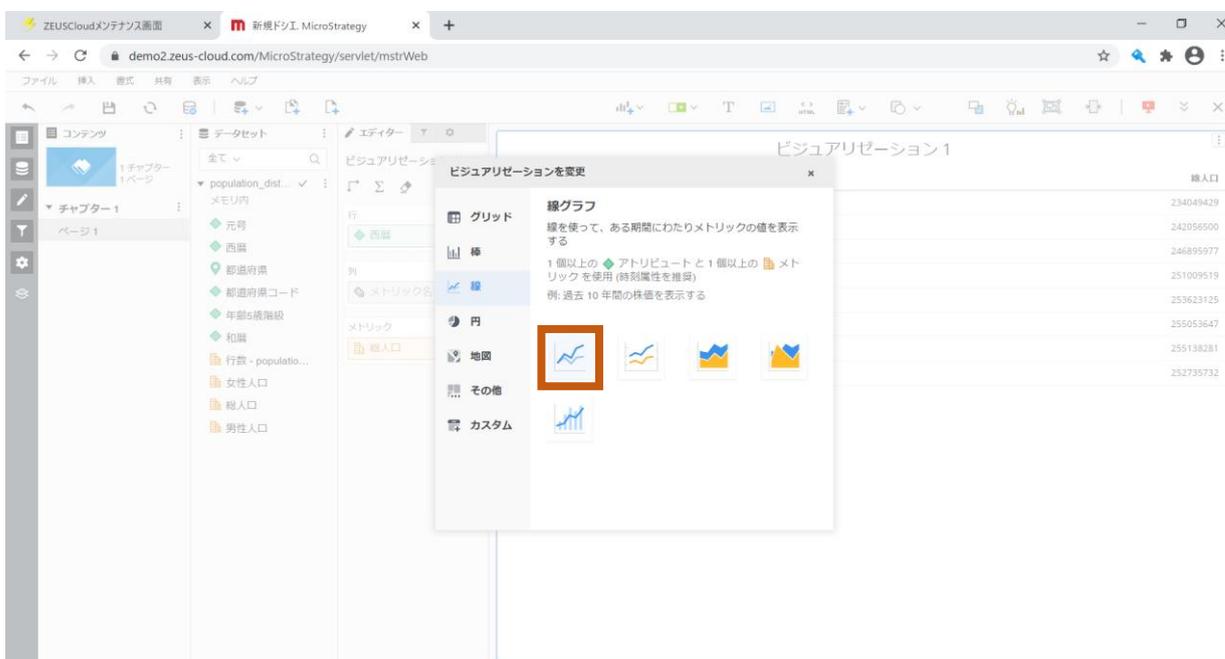
ビジュアライゼーション（データの表示方法）を変更します。

ビジュアライゼーションの右上の「…」をクリックしてメニューを表示します。

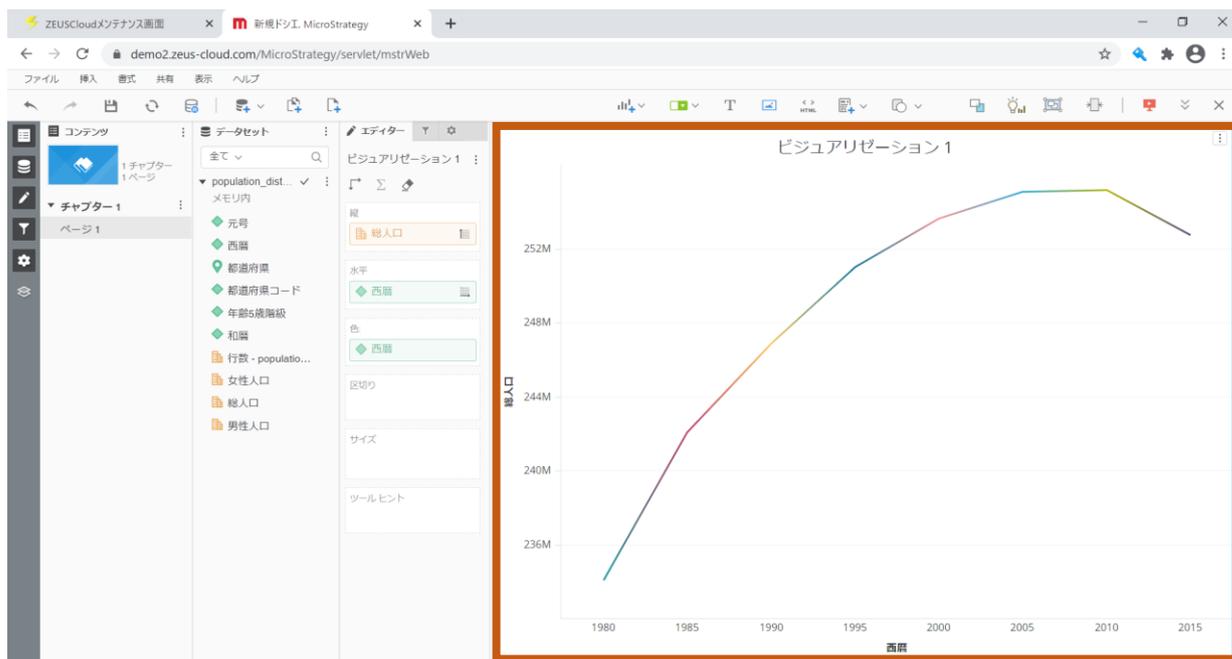
メニューから「ビジュアライゼーションを変更...」をクリックします。



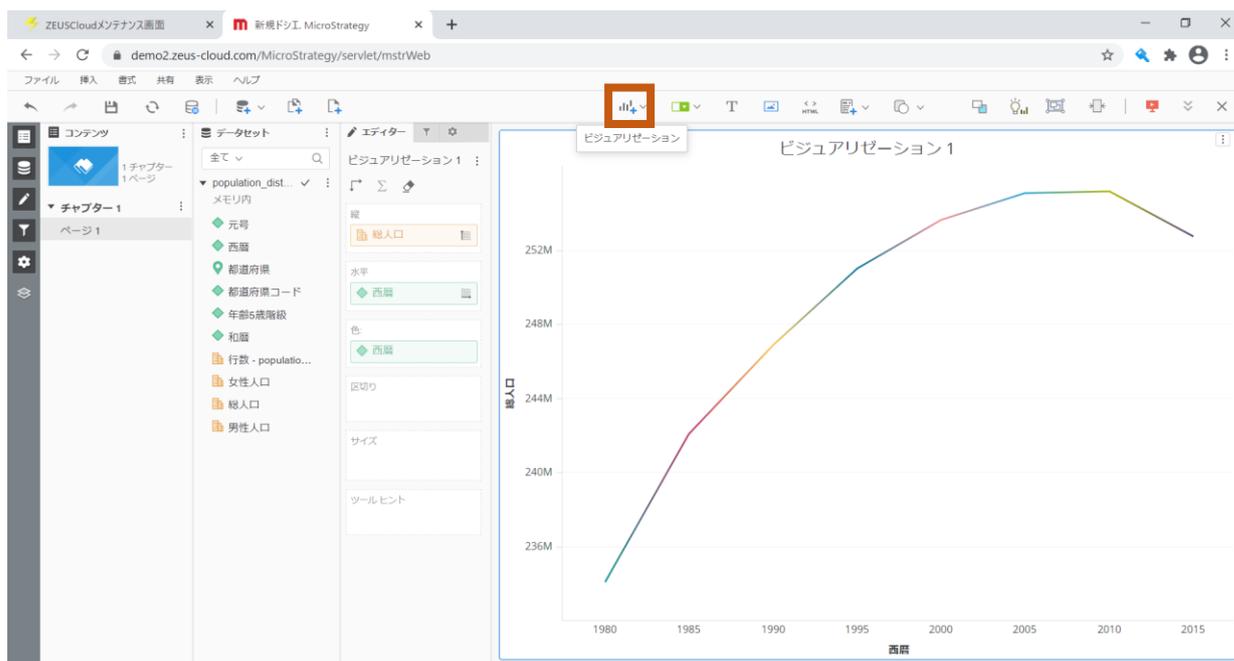
「線グラフ」を選択します。



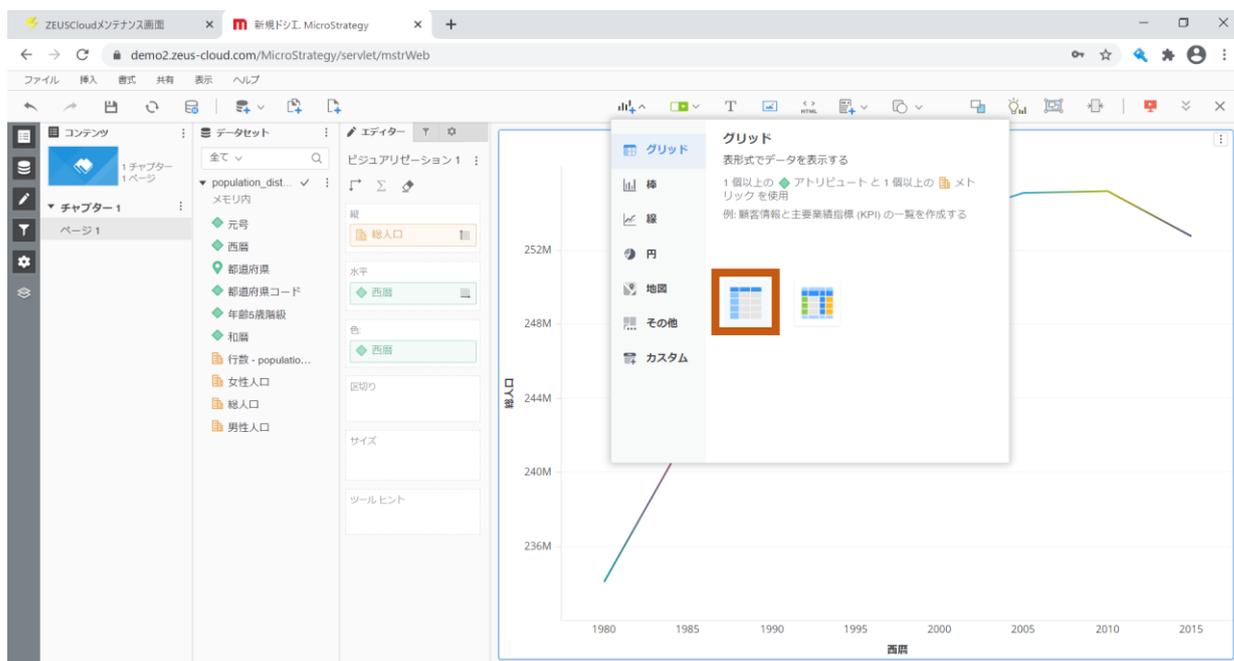
ビジュアリゼーションを「線グラフ」に変更した画面です。



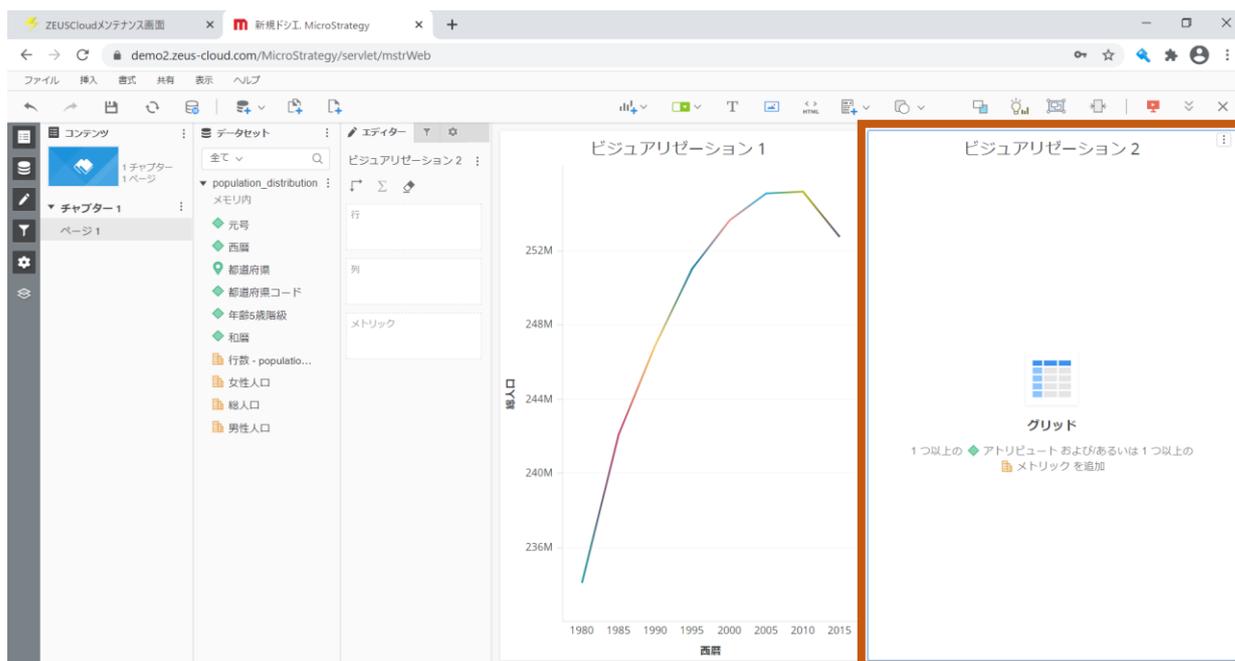
枠線部分の「ビジュアライゼーション」をクリックして、ビジュアライゼーションを追加します。



ビジュアライゼーションの種類を選択できるポップアップが表示されるので、「グリッド」を選択します。

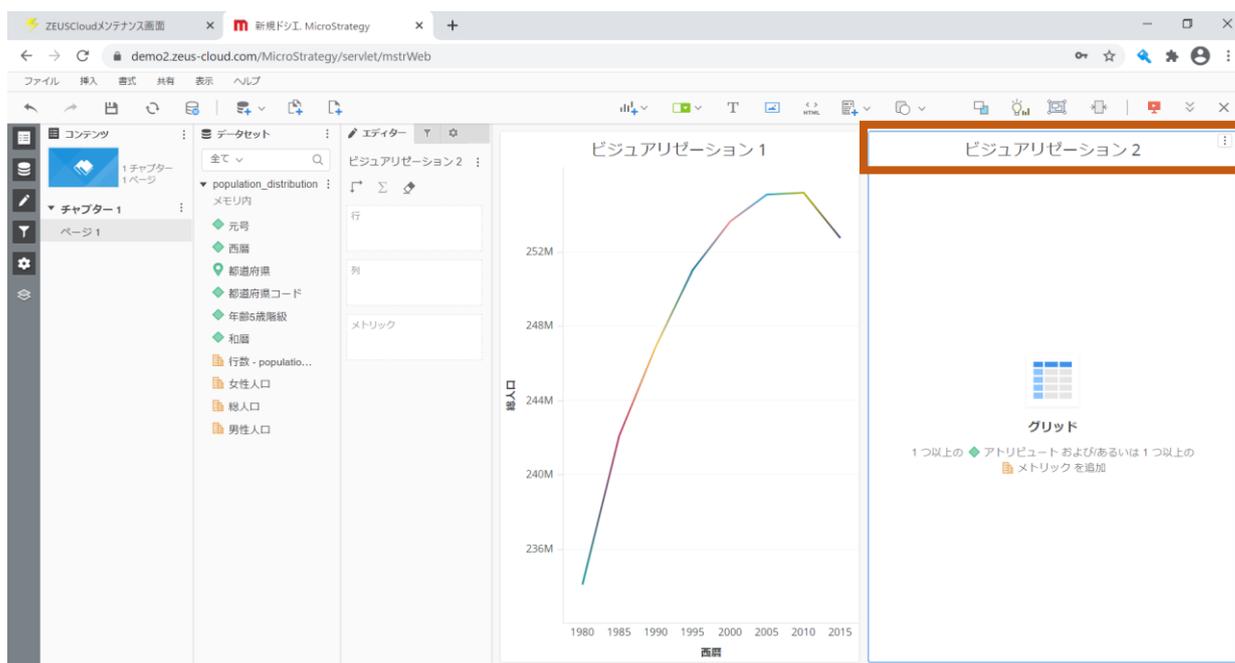


ビジュアリゼーションが追加された画面です。



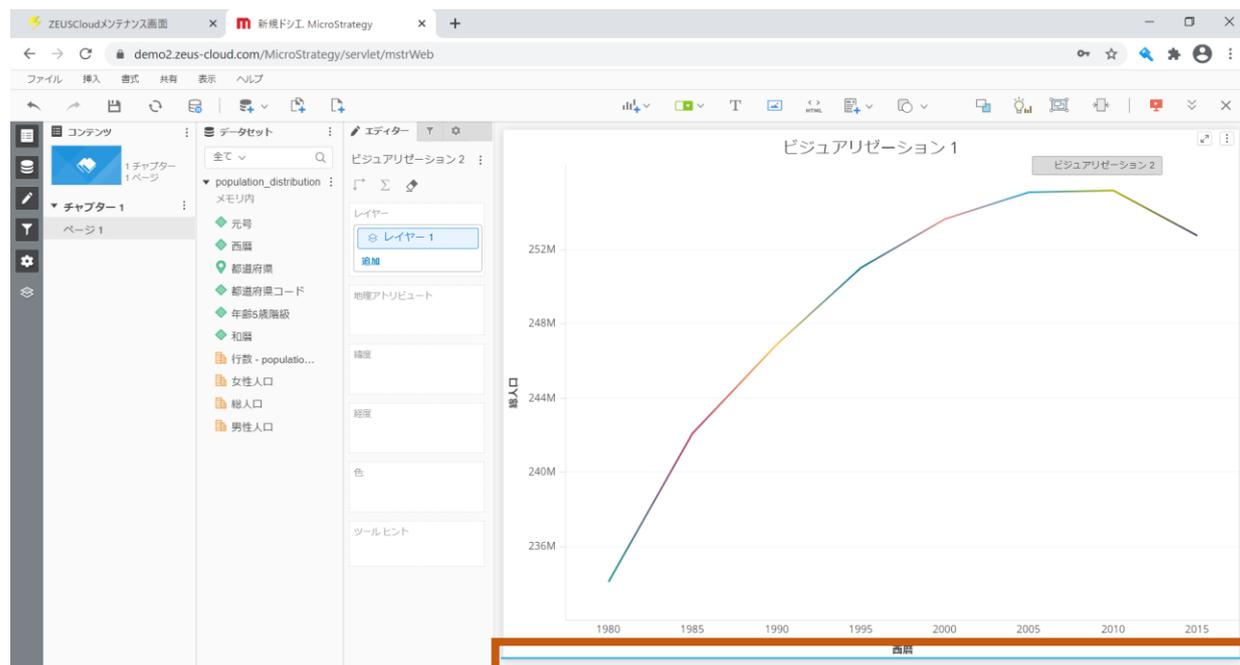
ビジュアリゼーションは移動することができます。

まず、ビジュアリゼーションの上枠部分をドラッグします。

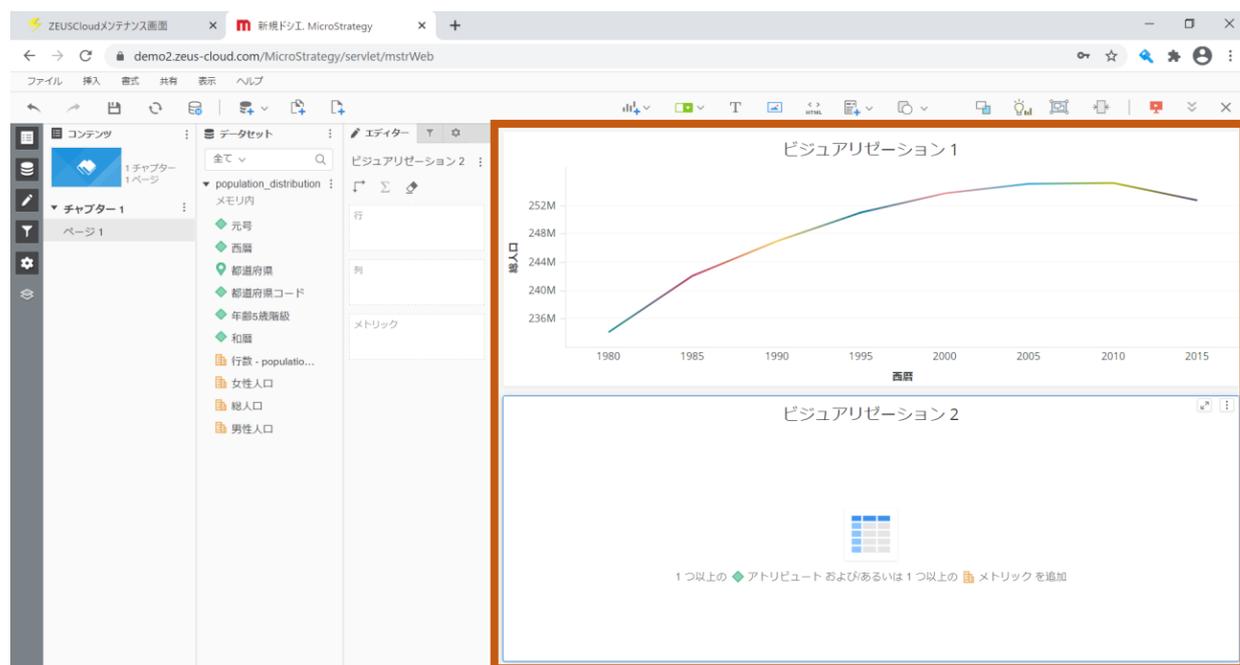


移動したい部分まで持って行き、青線が表示されたところで、ドロップします。

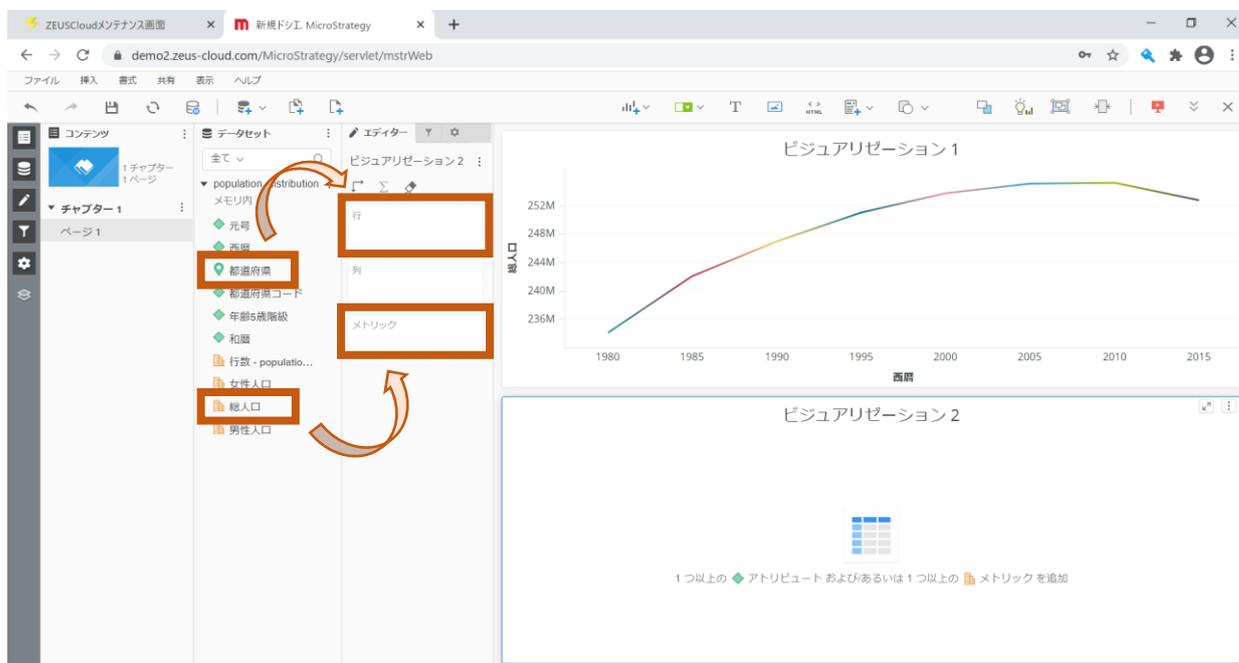
※今回は「ビジュアライゼーション 1」の下に配置します。



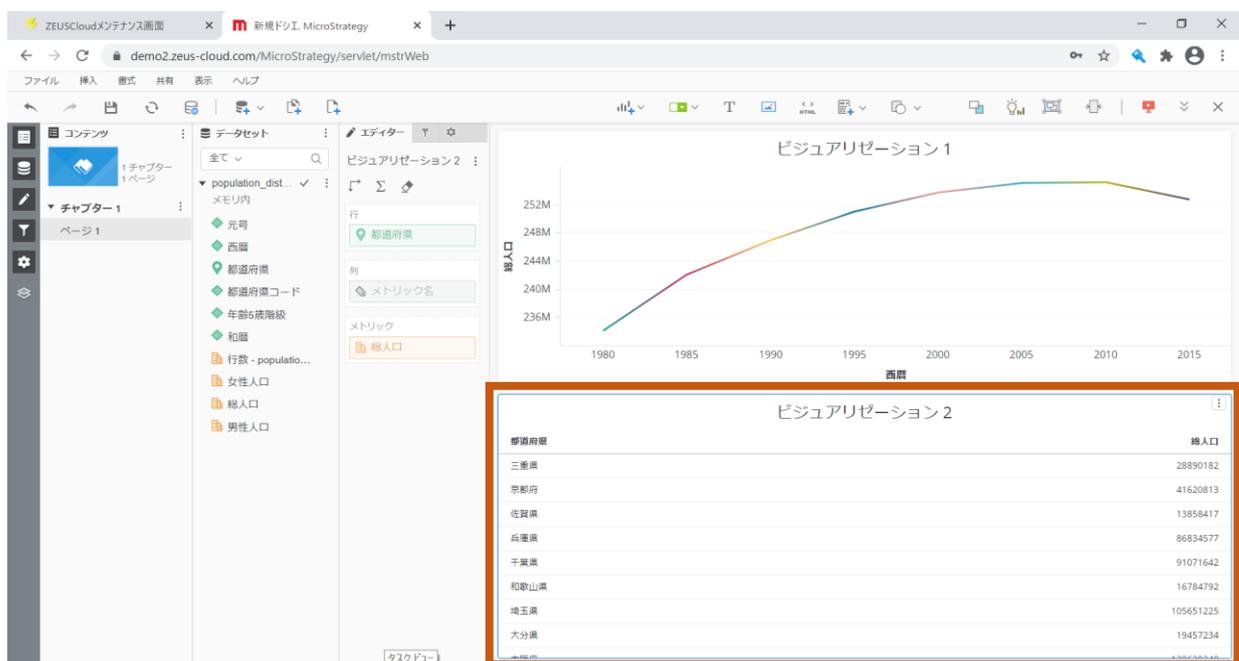
ビジュアライゼーションを移動した後の画面です。



「都道府県」アトリビュートを「行」に、「総人口」メトリックを「メトリック」に、ドラッグアンドドロップして配置します。



アトリビュート、メトリックを配置した画面です。



「ビジュアリゼーション 2」のビジュアリゼーションを変更します。

「…」をクリックして「ビジュアリゼーションを変更…」をクリックします。

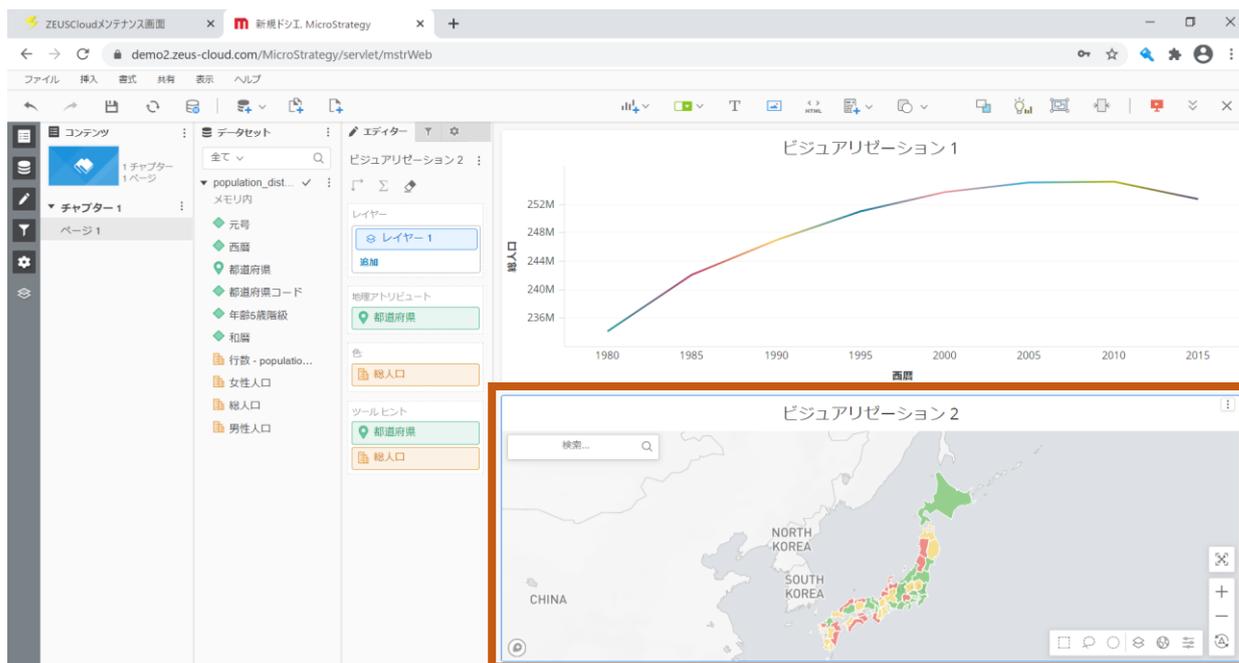
The screenshot shows the MicroStrategy web interface. On the left, there is a navigation pane with 'コンテンツ' and 'チャプター 1'. The main area displays two visualizations: 'ビジュアリゼーション 1' (a line chart showing population from 1980 to 2000) and 'ビジュアリゼーション 2' (a table of population data by prefecture). A context menu is open over the chart, with the option 'ビジュアリゼーションを変更...' highlighted in orange.

都道府県	総人口
三重県	105651225
京都府	19457234
佐賀県	
兵庫県	
千葉県	
和歌山県	
埼玉県	
大分県	

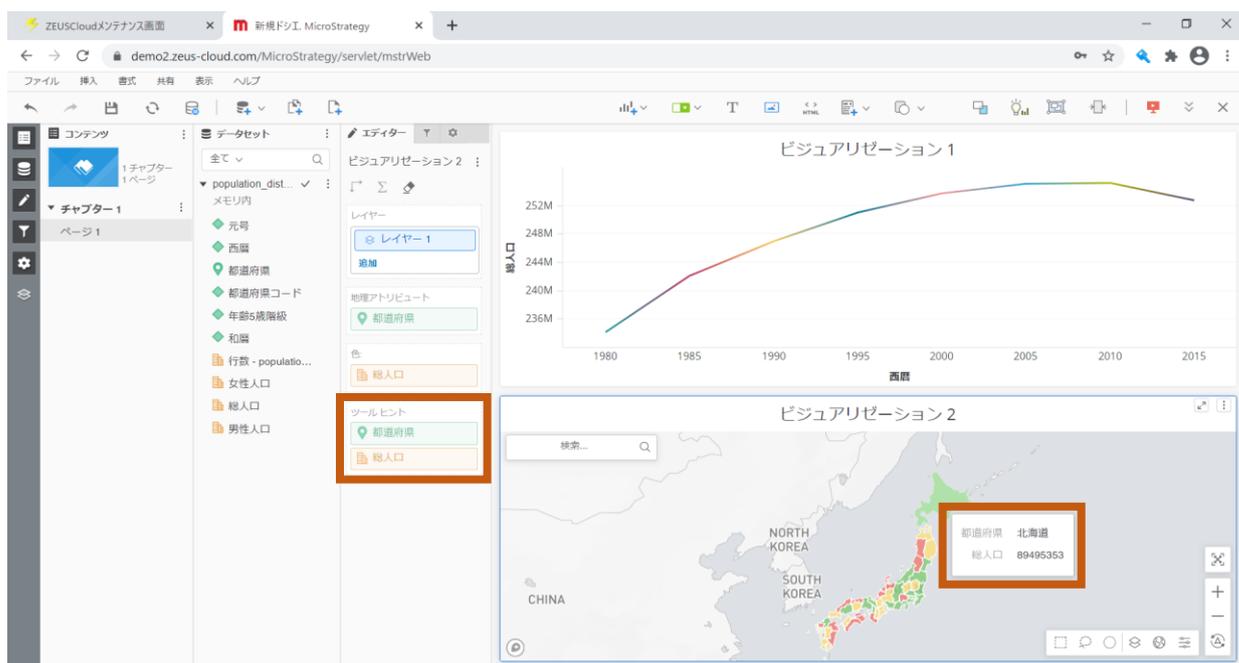
「地図」から「地理情報サービス」を選択します。

The screenshot shows the same MicroStrategy interface as above. A context menu is open over the chart, and the option '地理情報サービス' is selected and highlighted with a red box. The menu also includes options for 'グリッド', '線', '円', 'その他', and 'カスタム'.

「地理情報サービス」をクリックした後の画面です。

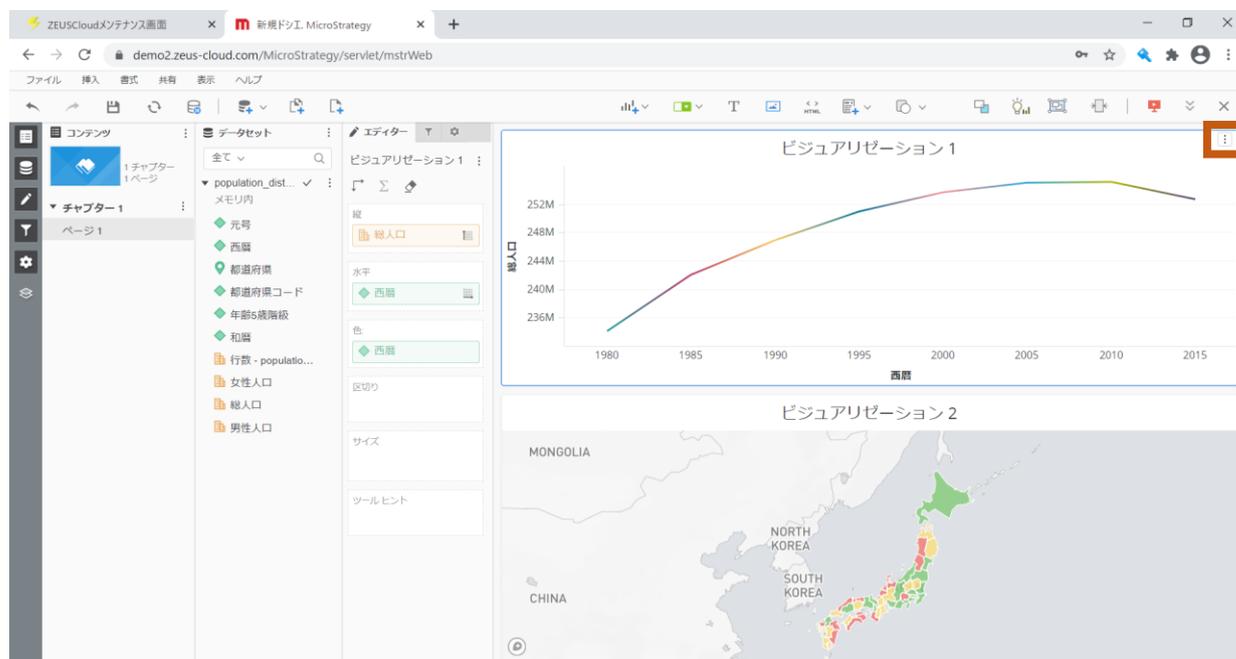


任意の都道府県（ここでは北海道）をマウスオーバーすると、「ツールヒント」に配置されているアトリビュート、メトリックのデータを見ることができます。

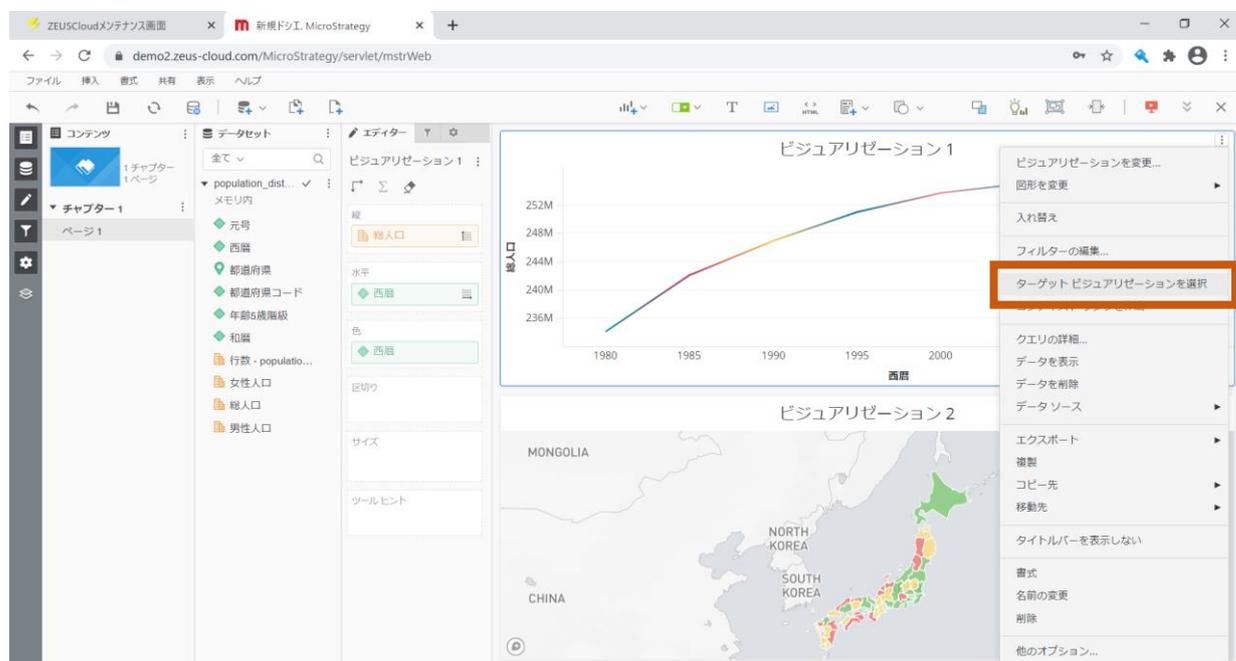


「ビジュアリゼーション1」で西暦をクリックした際に、「ビジュアリゼーション2」のデータが、指定した西暦の都道府県別人口数が表示されるようにします。

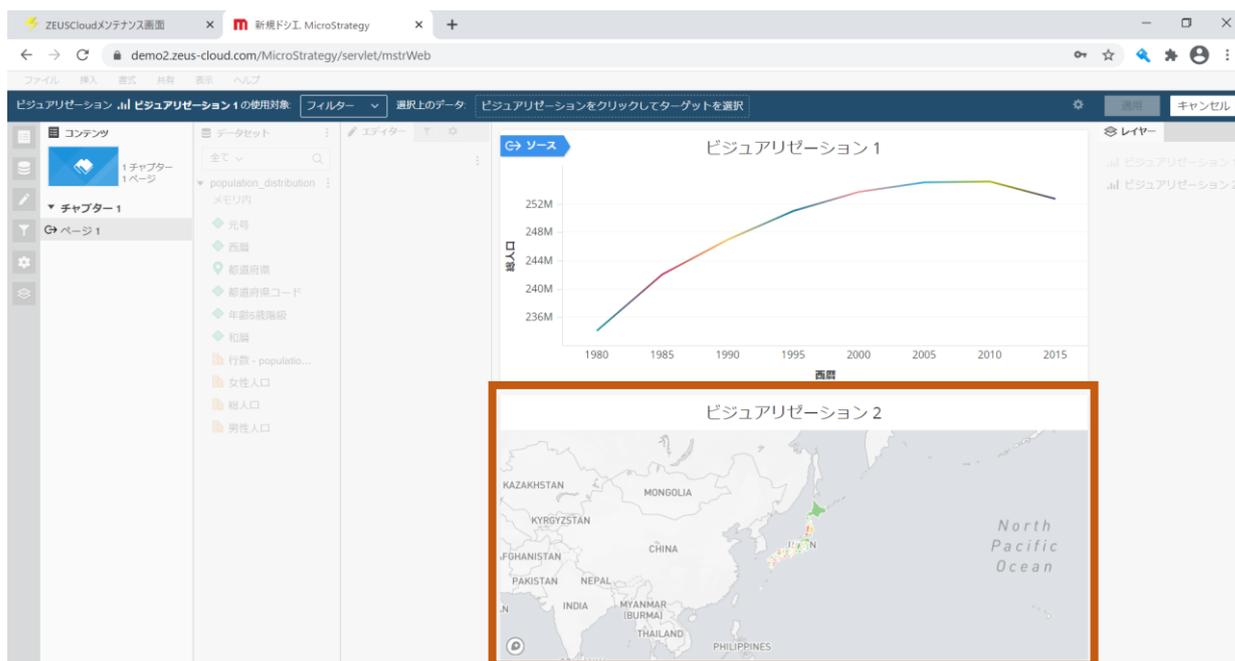
まず、「ビジュアリゼーション1」をクリックした後、右上メニューをクリックします。



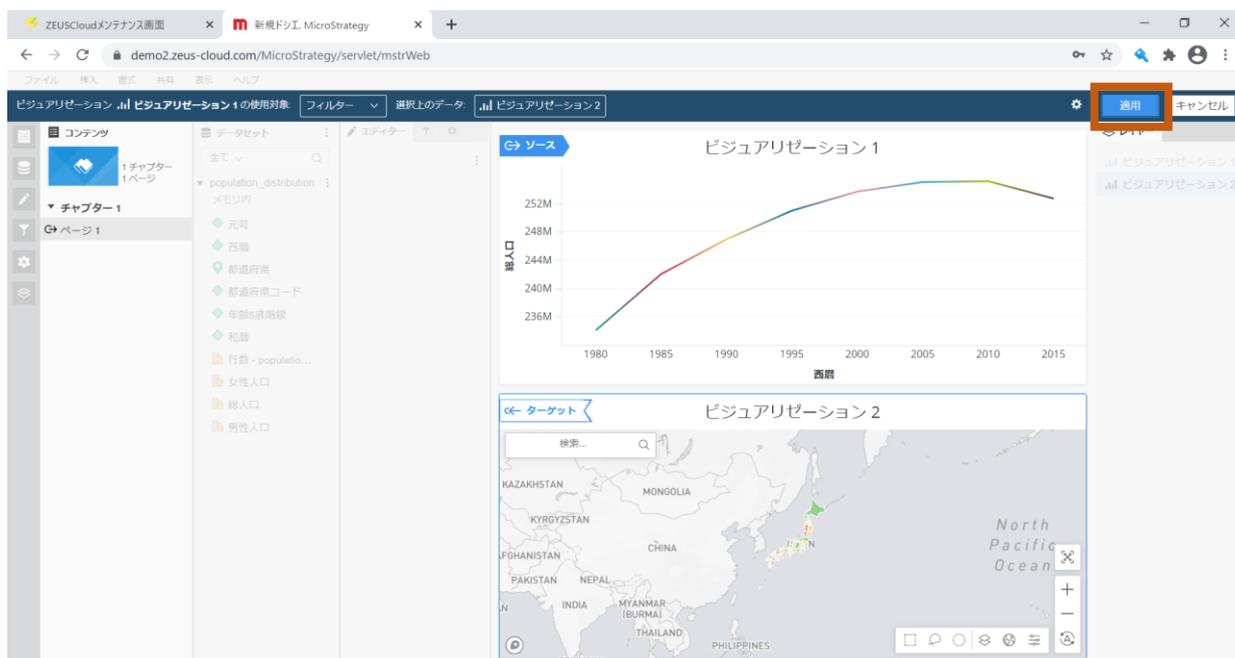
「ターゲット ビジュアリゼーションを選択」をクリックします。



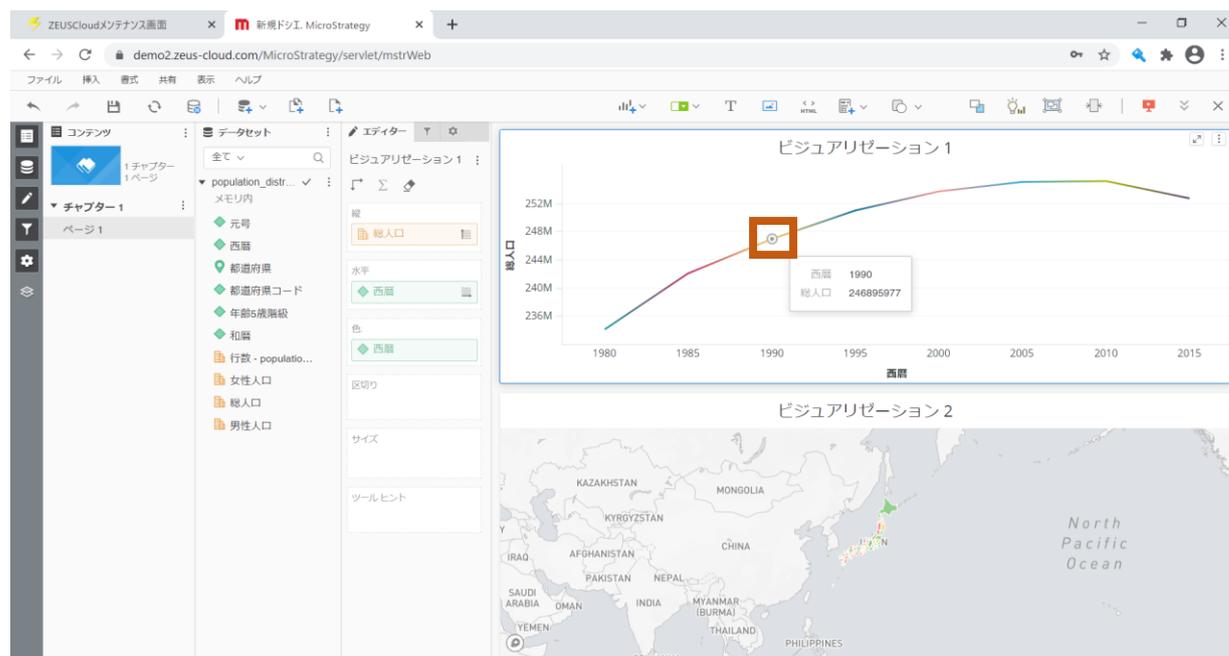
「ビジュアリゼーション 2」をクリックします。



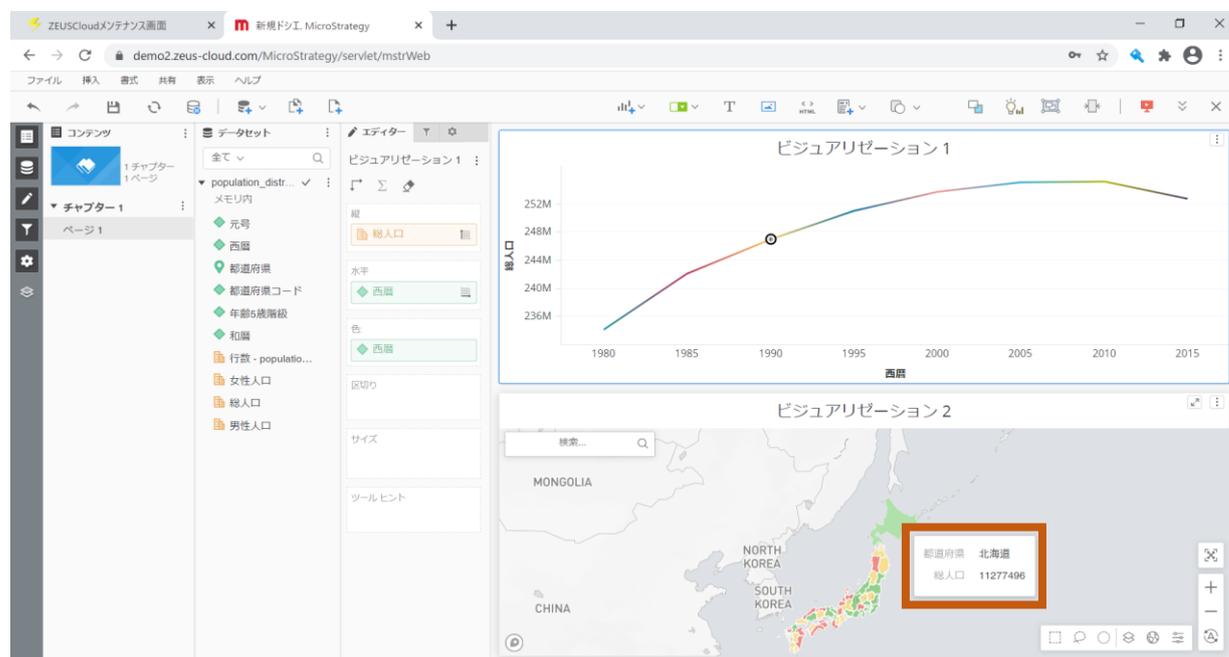
「適用」をクリックします。



適用後、「ビジュアリゼーション1」の1990年のデータをクリックします。

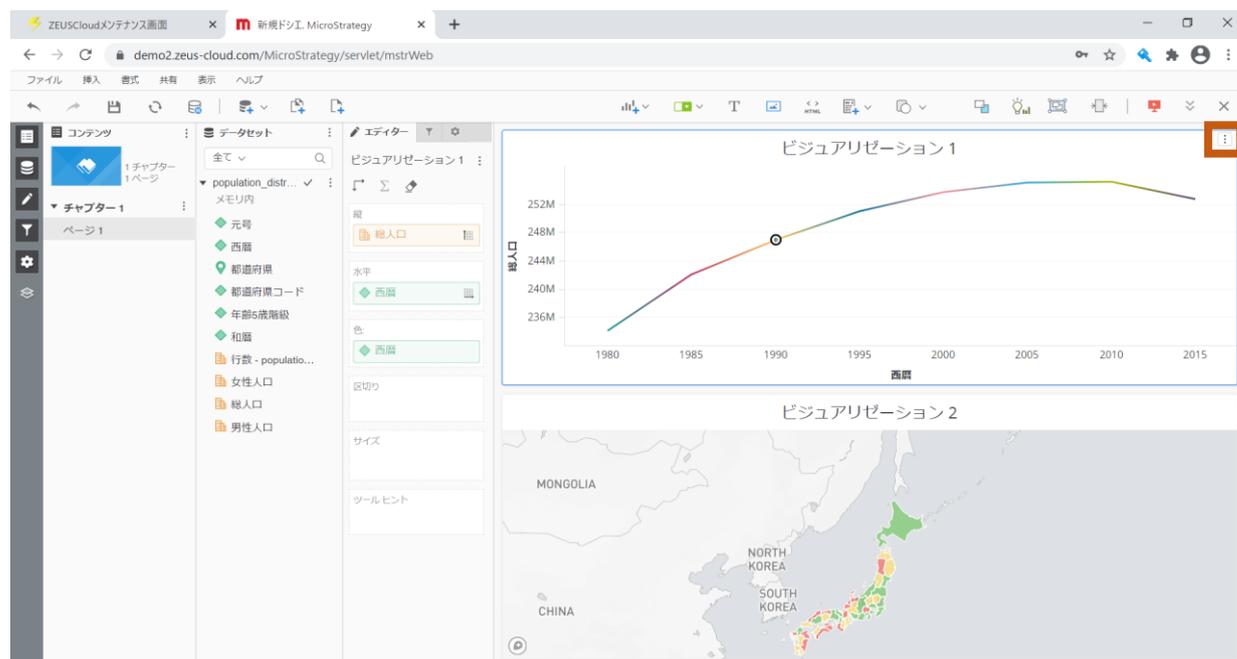


「ビジュアリゼーション1」の1990年のデータをクリックした後、「ビジュアリゼーション2」の北海道にマウスオーバーすると、1990年の人口を見ることができます。

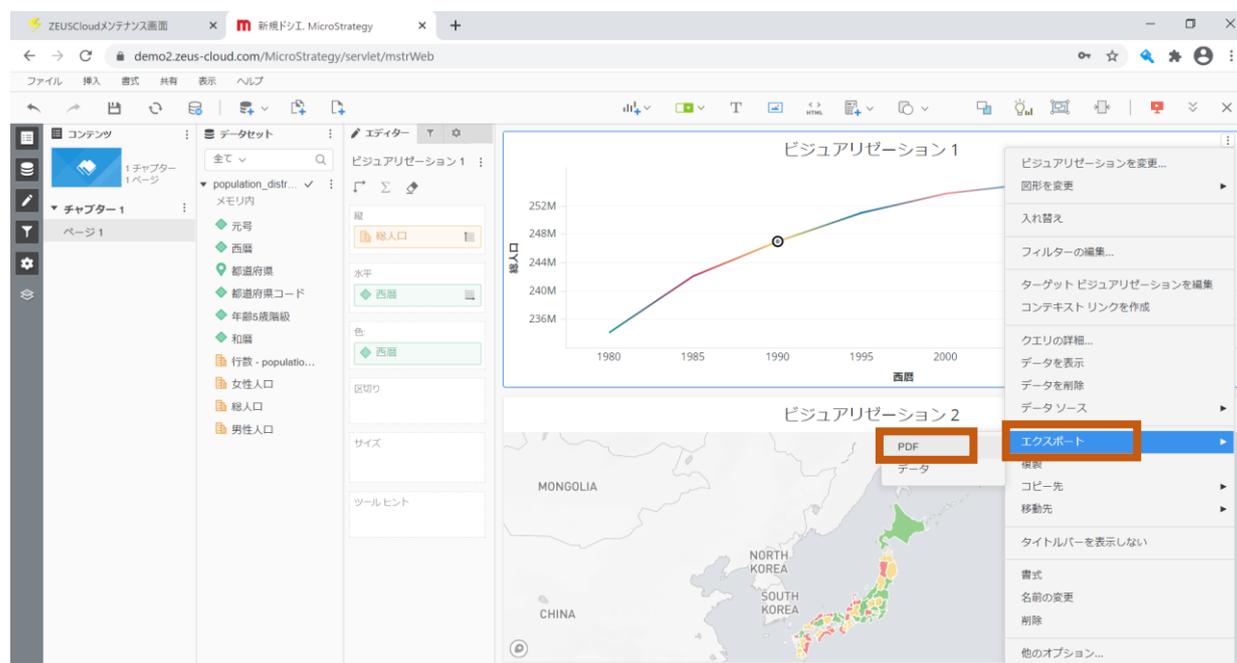


作成したビジュアライゼーションはエクスポートすることが可能です。

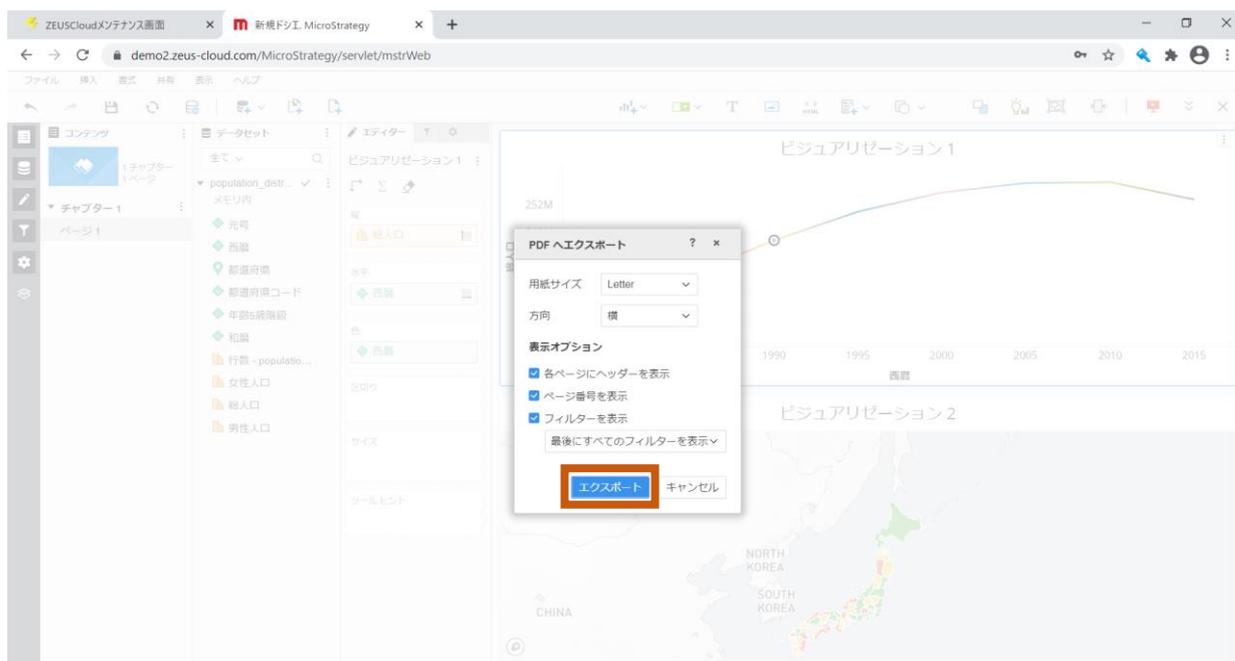
「ビジュアライゼーション1」の右上メニューをクリックします。



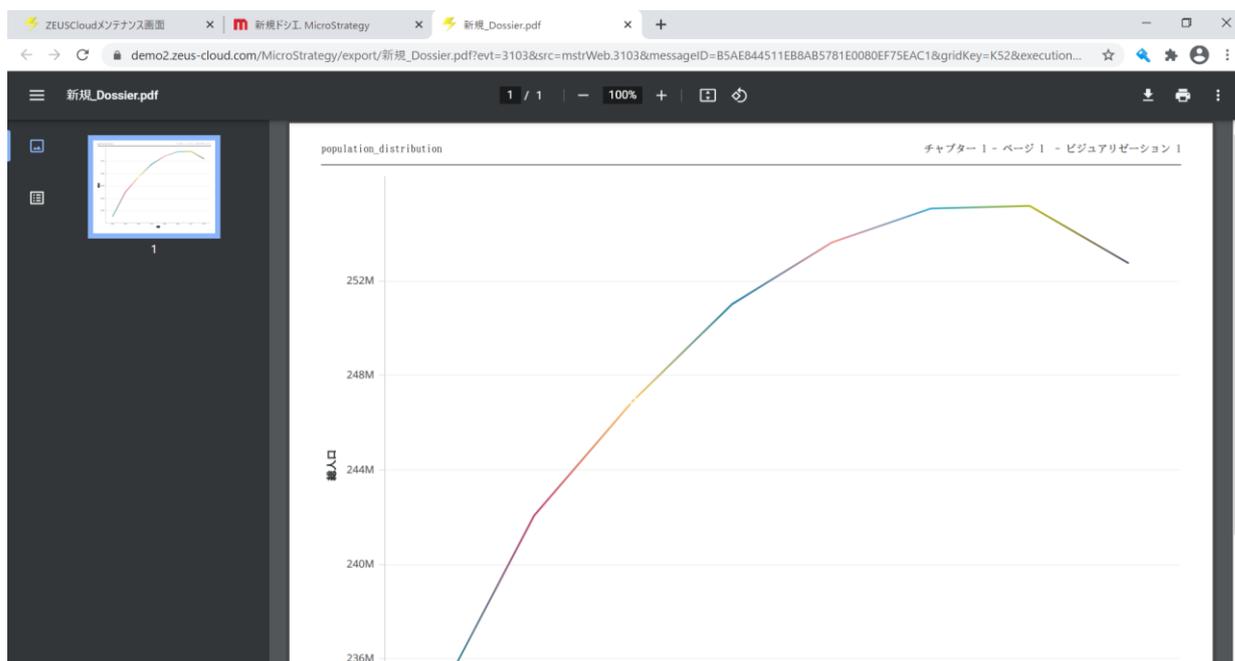
「エクスポート」にマウスオーバーし、「PDF」をクリックします。



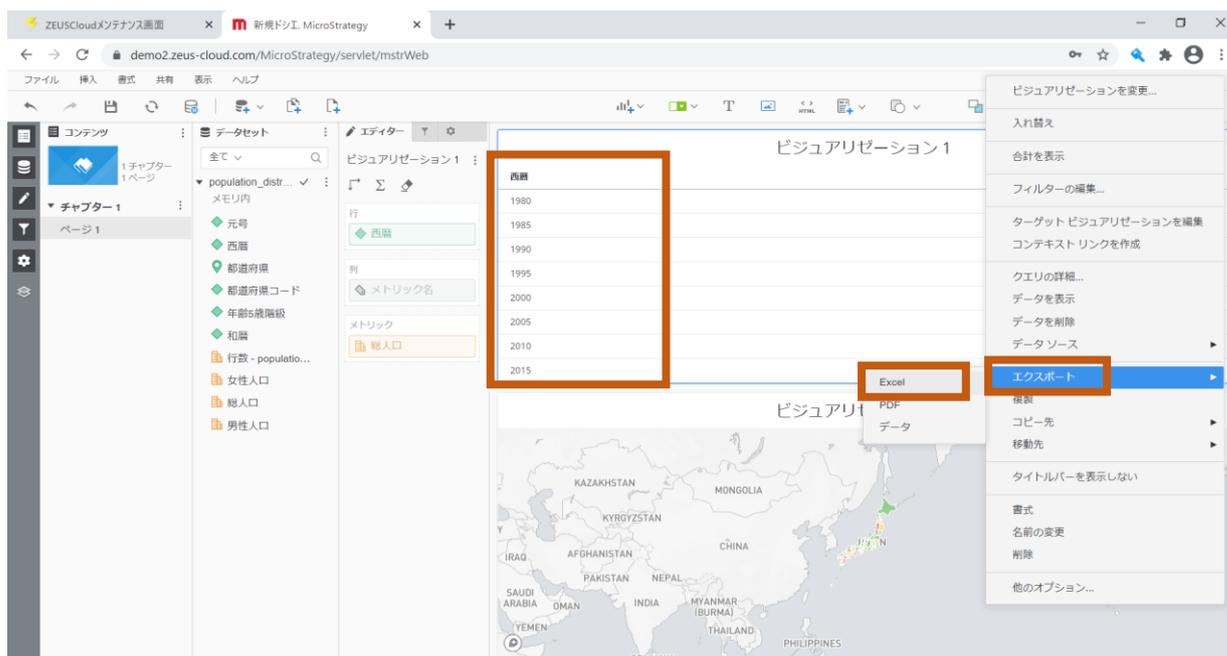
「エクスポート」をクリックします。



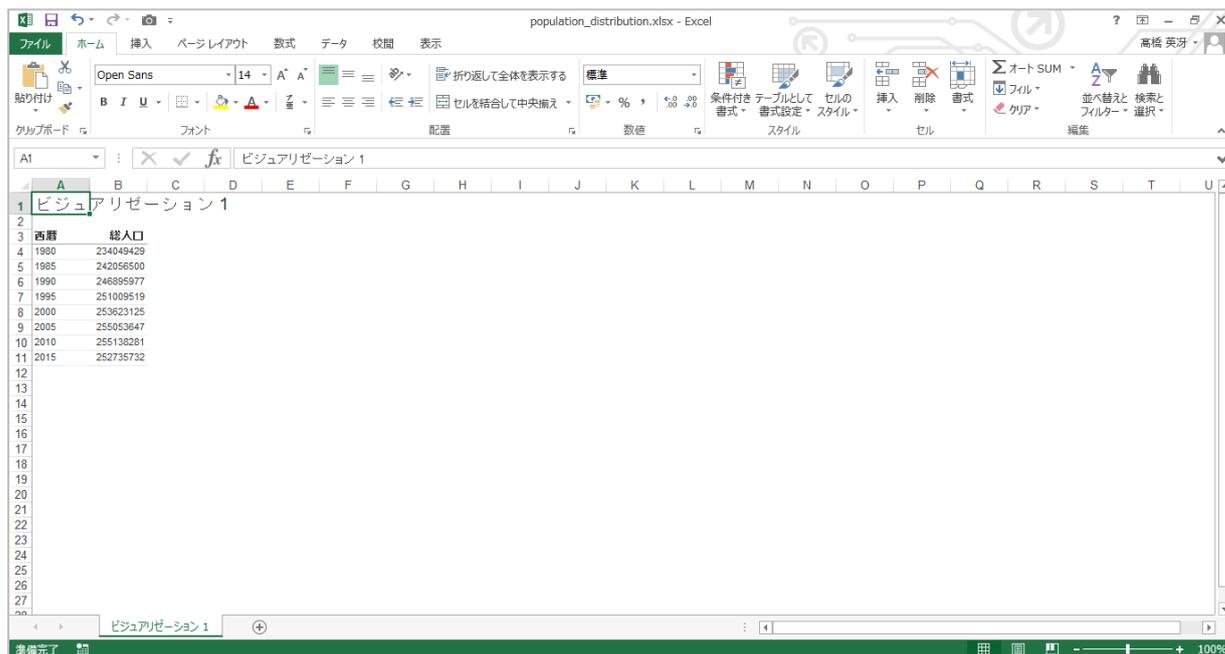
選択したビジュアライゼーションのデータが、PDFにエクスポートされます。



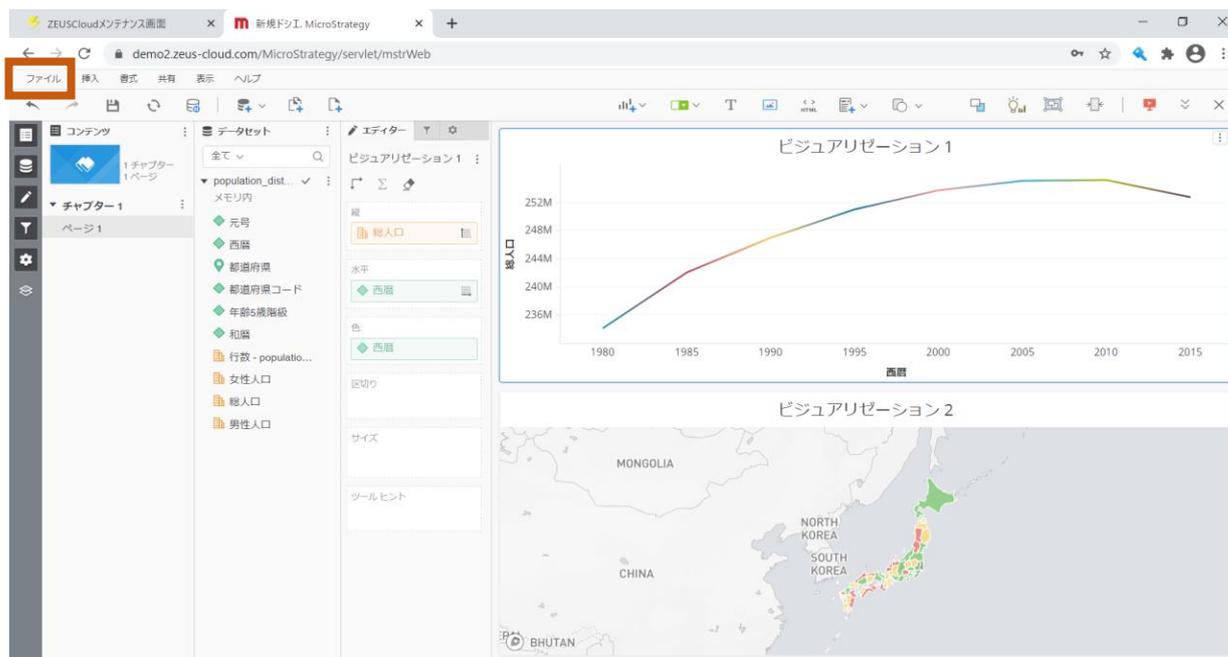
ビジュアリゼーションがグリッド形式の場合、Excel へのエクスポートが可能です。



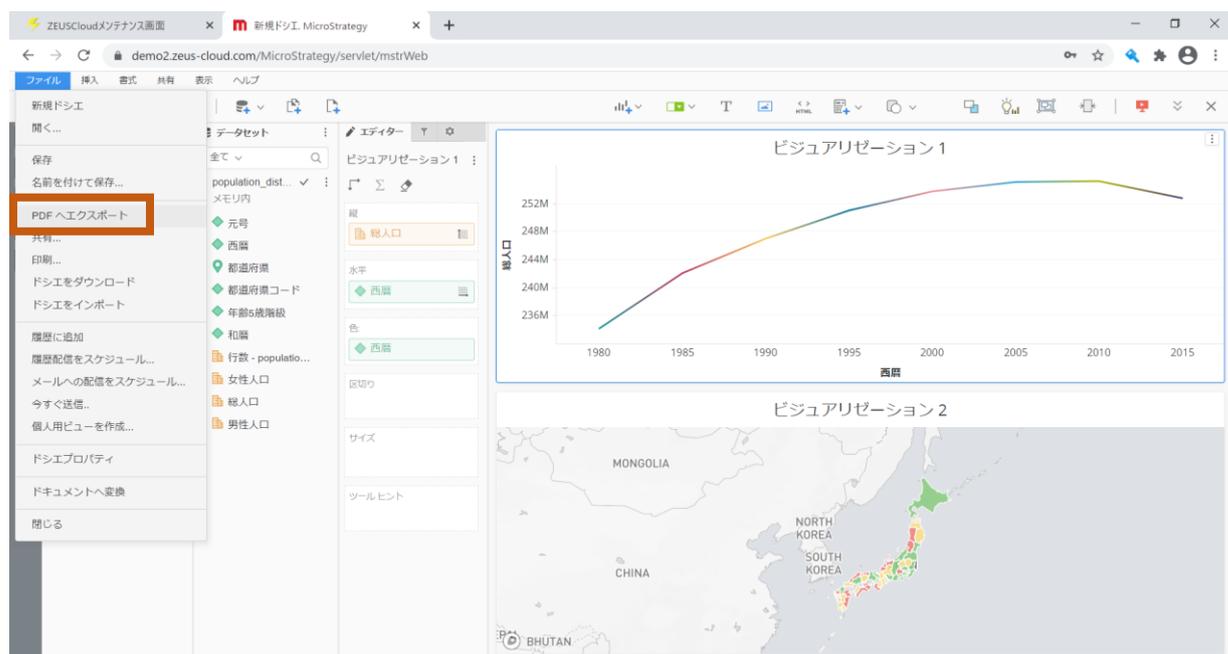
## ●エクスポートした Excel



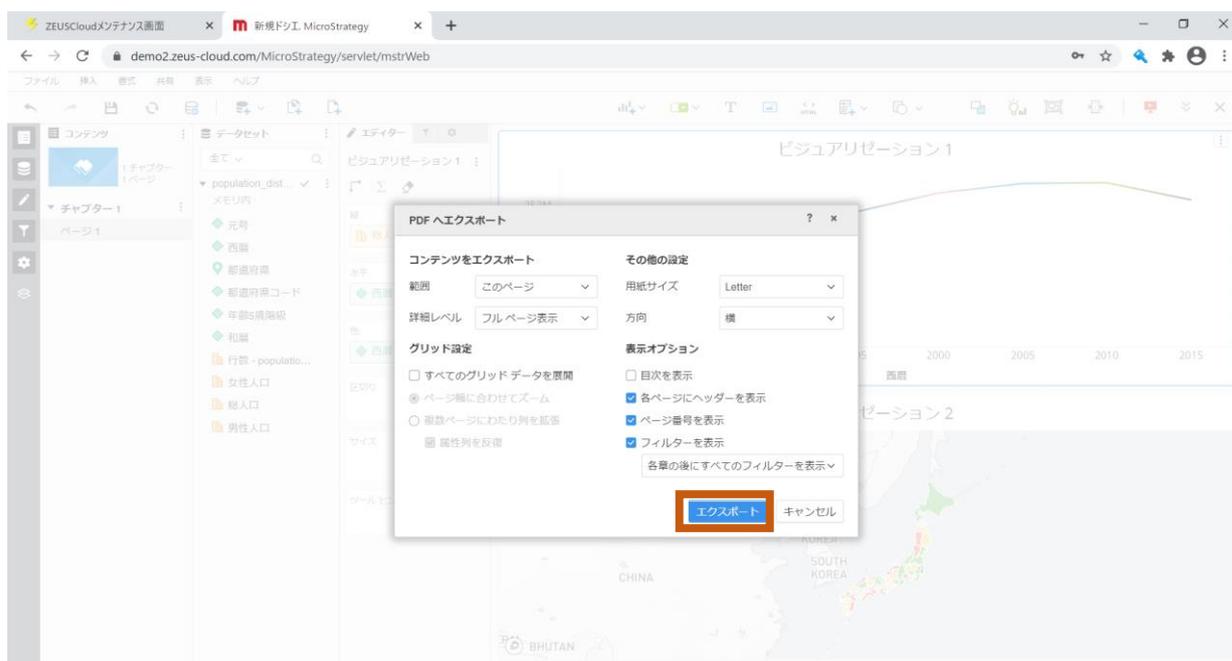
また、下記の方法では、画面全体をエクスポートすることも可能です。  
画面ヘッダーの「ファイル」をクリックします。



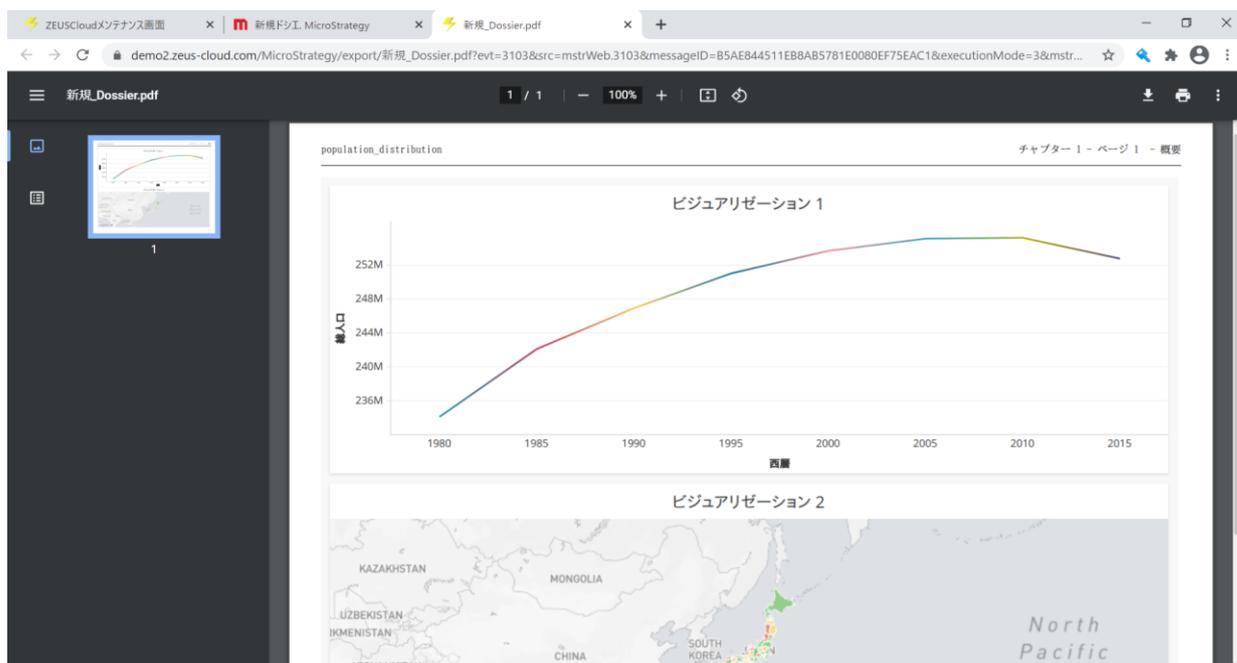
「PDFへエクスポート」をクリックします。



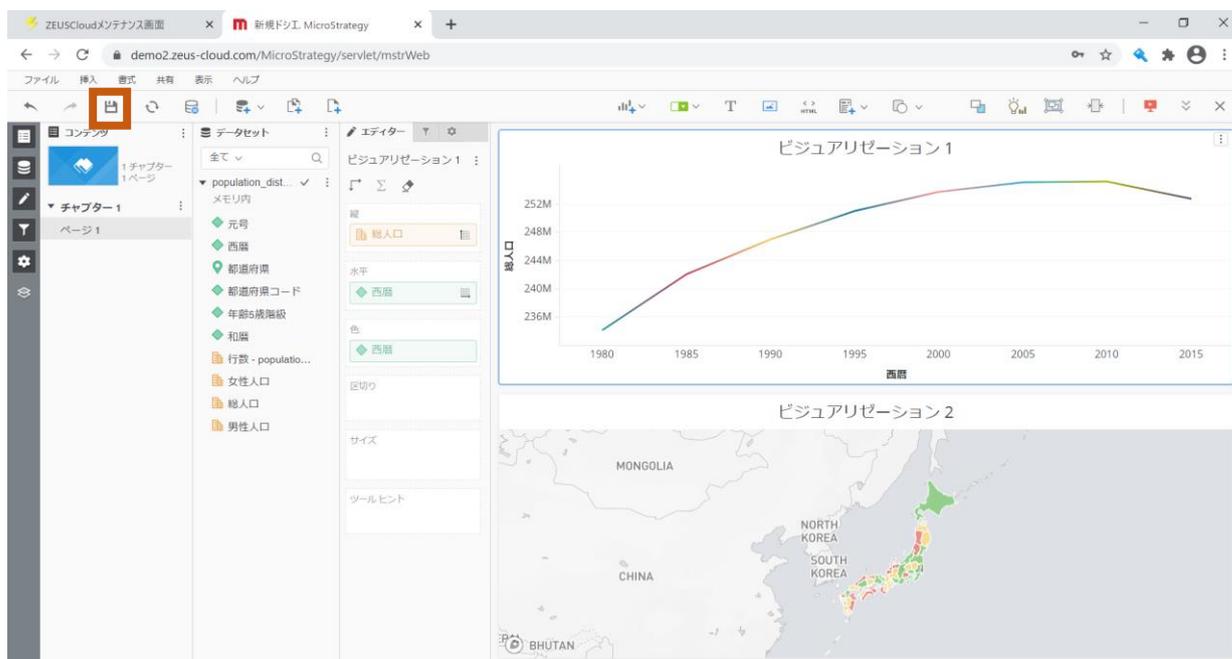
「エクスポート」をクリックします。



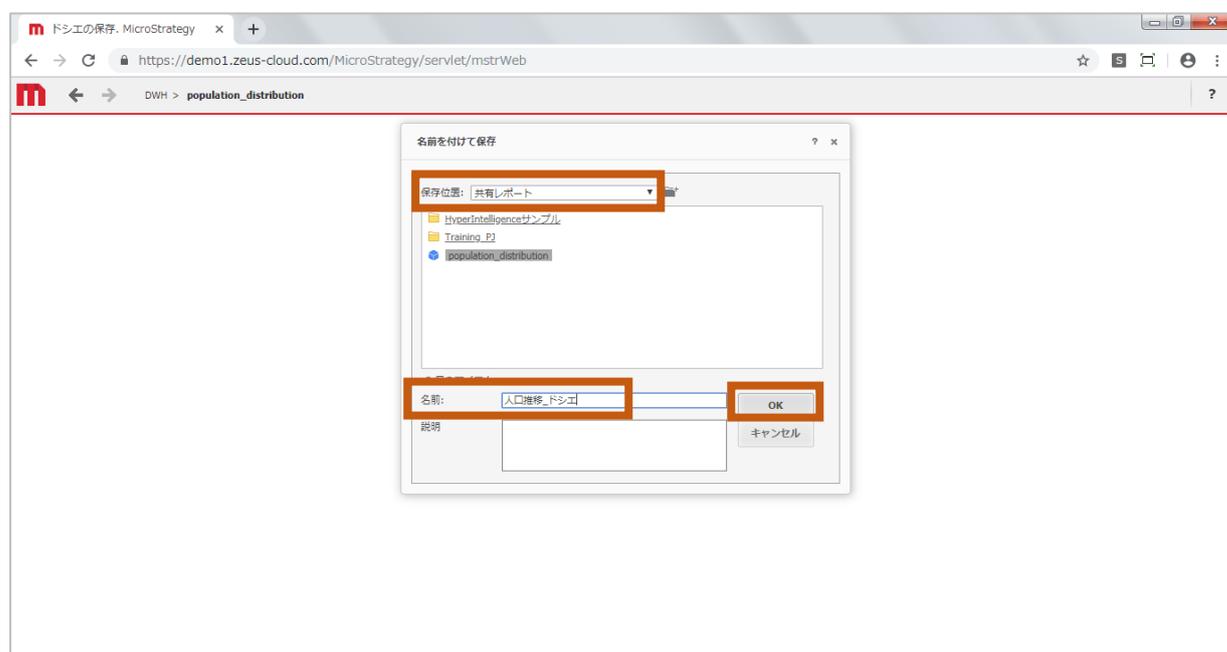
## ●エクスポート画面



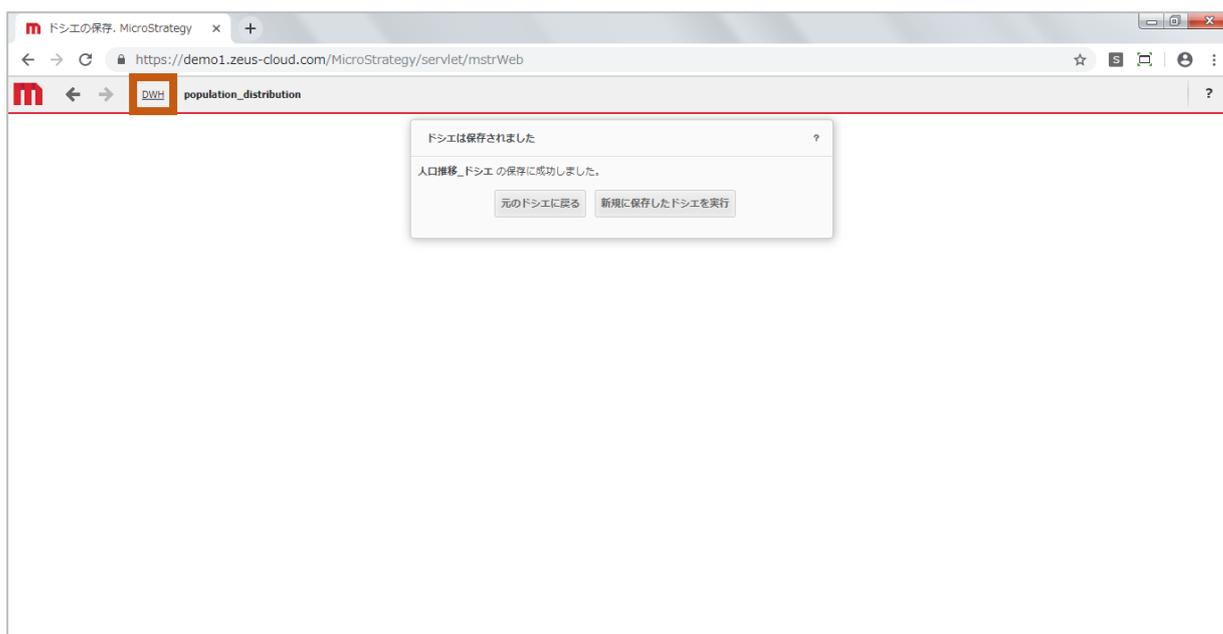
最後に作成したドシエを保存します。  
ヘッダーにある「保存」をクリックします。



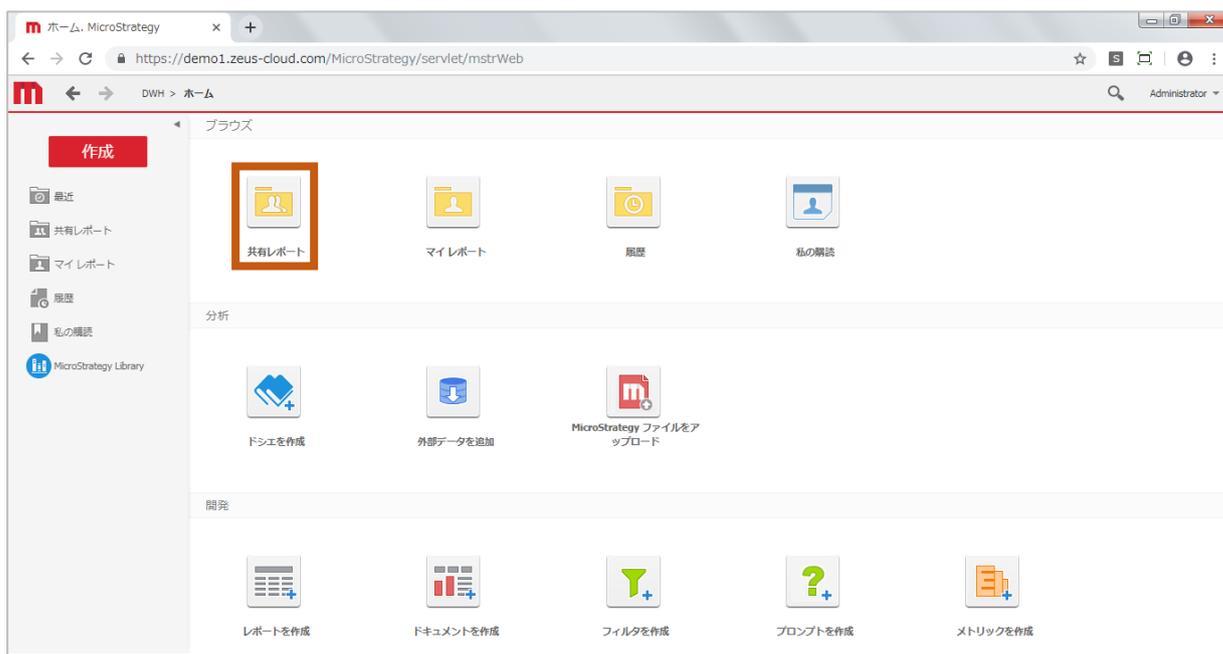
保存位置はドロップダウンリストから「共有レポート」を選択し、  
名前を「人口推移\_ドシエ」と入力し、「OK」をクリックします。



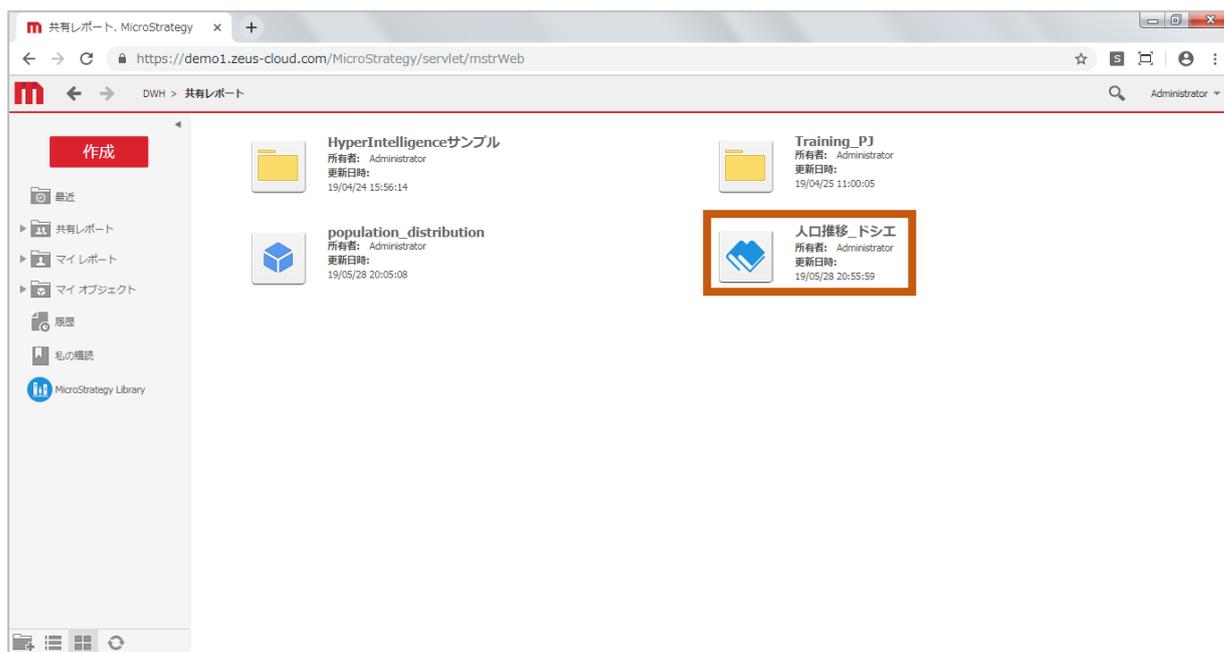
「DWH」をクリックします。



ホーム画面に移動したら、「共有レポート」を選択します。



保存されていることを確認します。

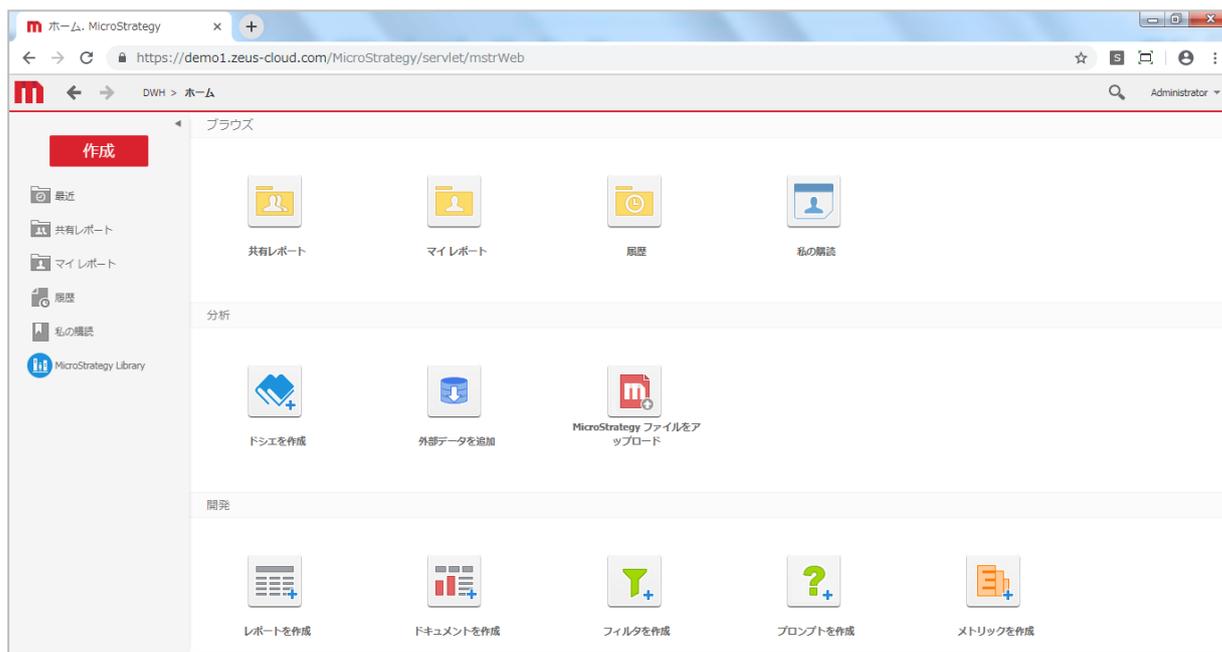


## 8 MicroStrategy Library

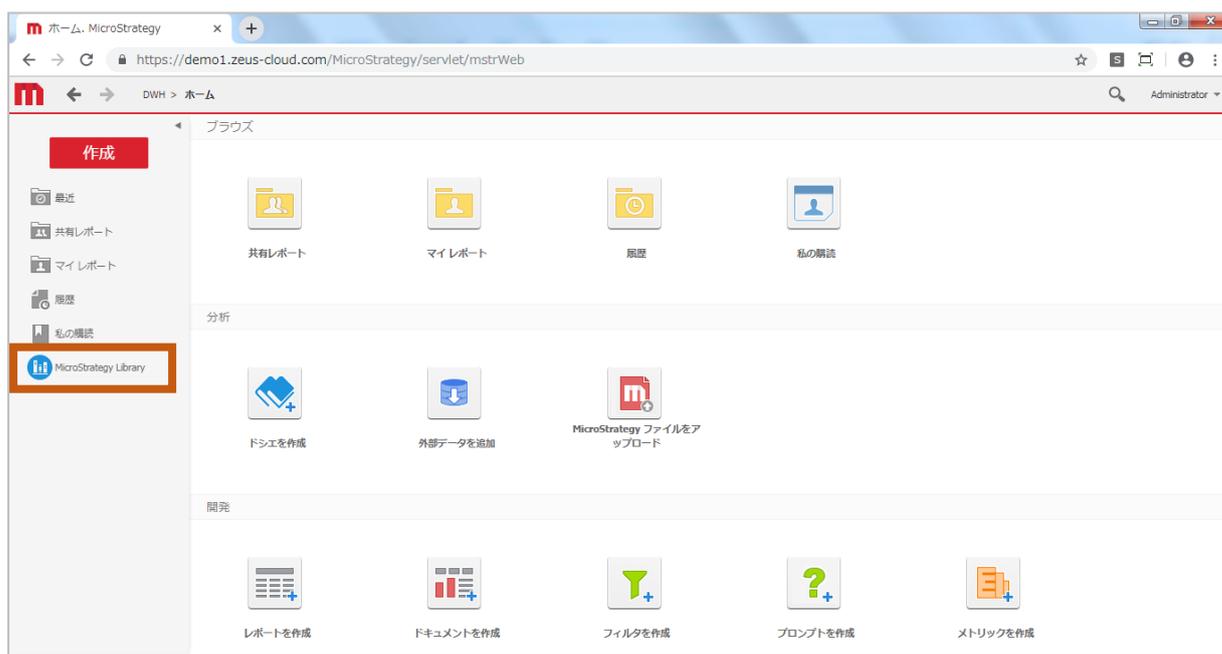
MicroStrategy Library は、PC だけではなく、iPhone、iPad、Android からでもドシエを閲覧、操作するためのツールです。

### 8.1 MicroStrategy Library への接続

MicroStrategy Web のホーム画面にアクセスします。



MicroStrategy Library をクリックします。

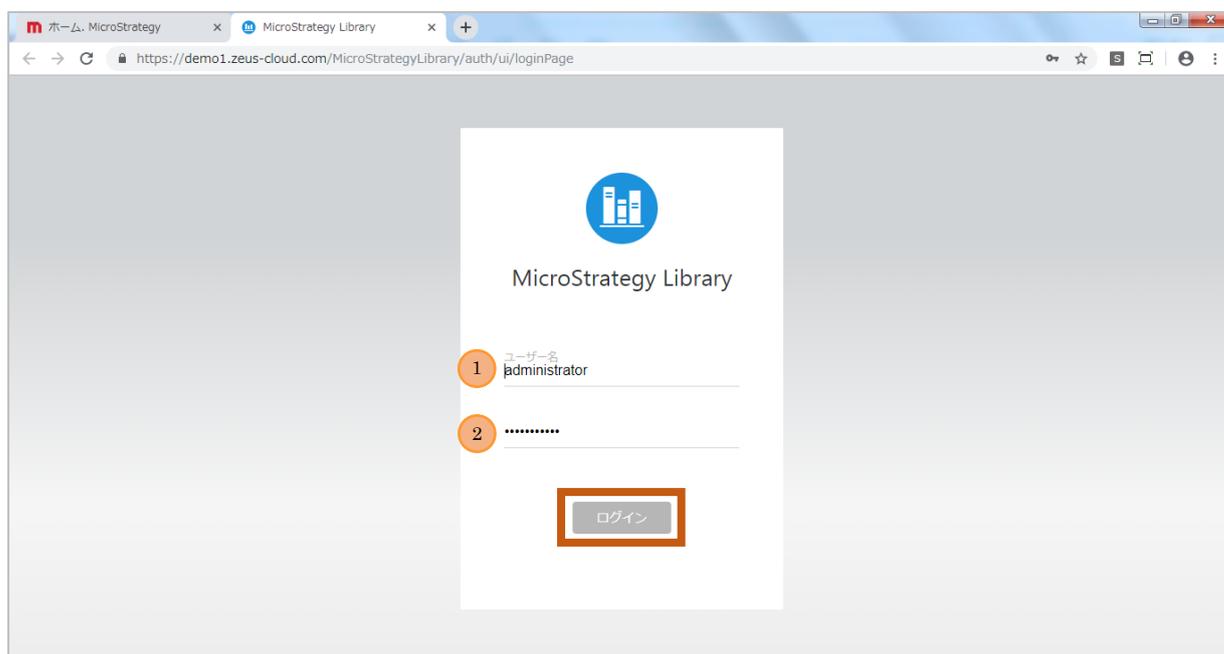


MicroStrategy Library のログイン画面です。

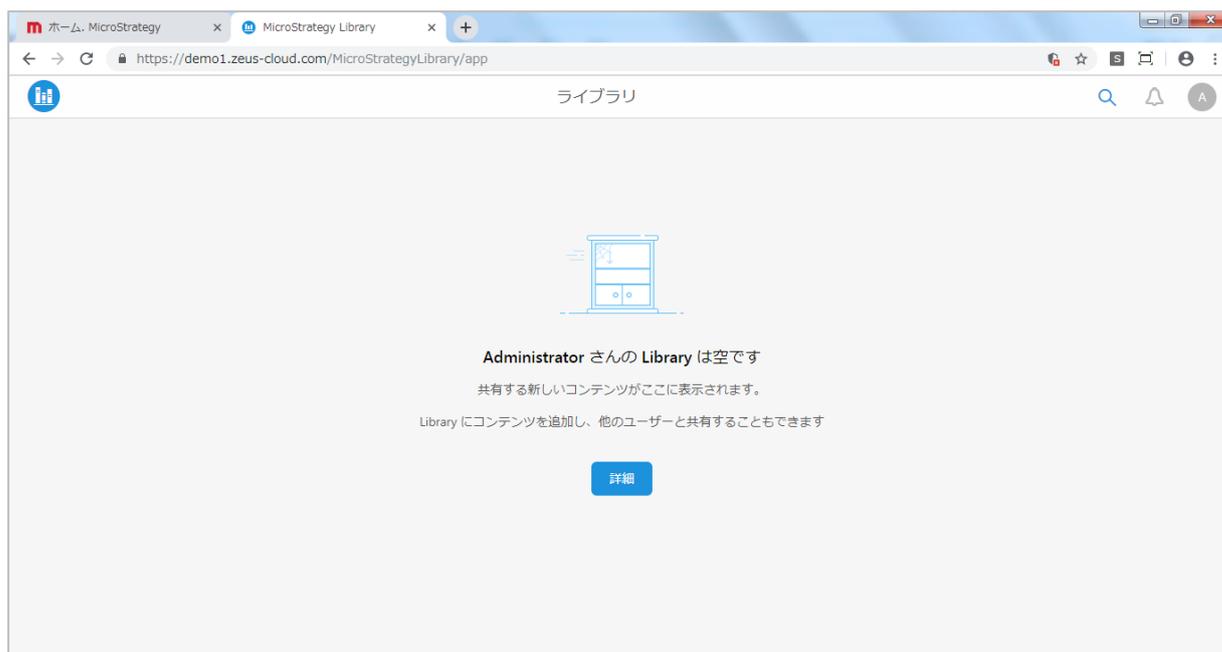
ユーザー名とパスワードを入力した後、ログインをクリックしてください。

※接続情報と参照マニュアルは以下の表の通りです。

項番	フィールド	参照マニュアル	参照箇所
-	参照 URL	利用開始マニュアル 1.3 分析・参照機能接続情報	参照 URL
①	ユーザー名	基本情報記載シートの 「ログインユーザー記入シート」	ユーザー名
②	パスワード	初回パスワード変更マニュアル	初回ログイン時に設定したパスワード



ログイン後の画面です。

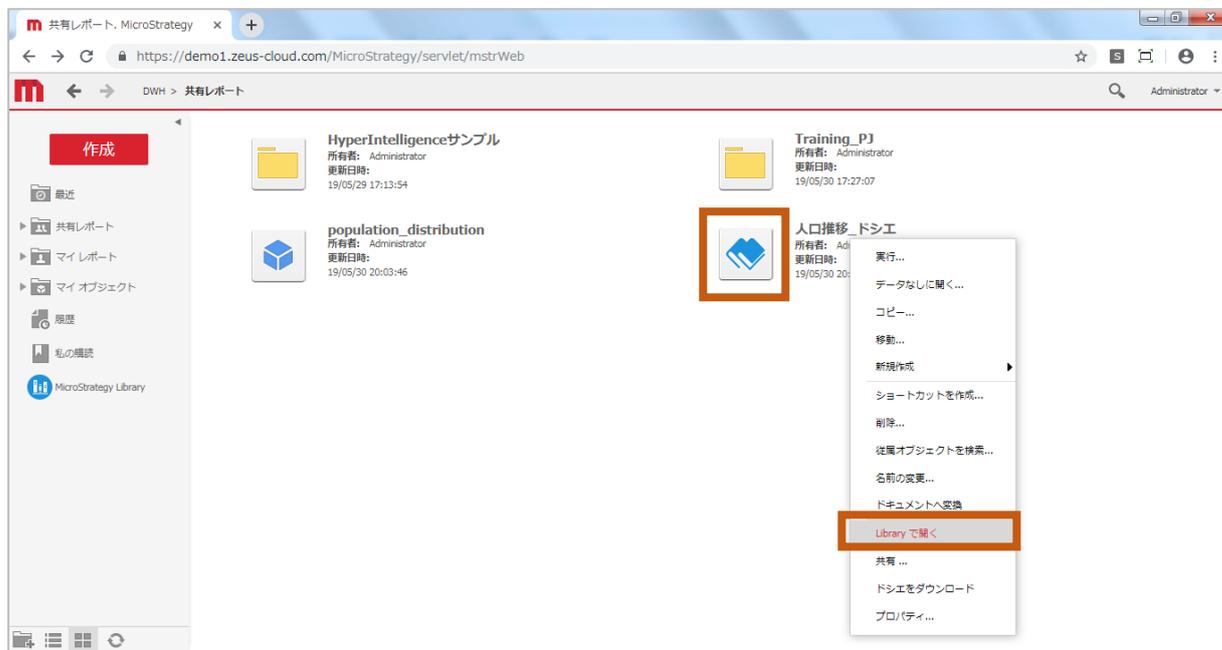


## 8.2 MicroStrategy Library へのドシエの追加

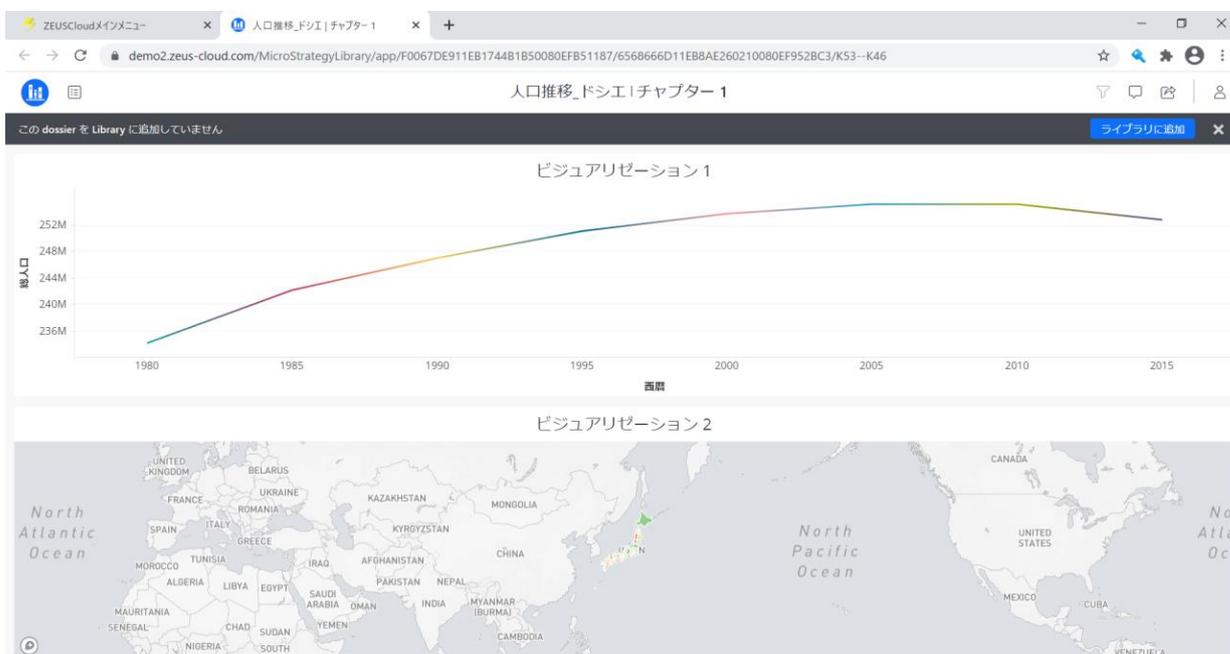
MicroStrategy Library へのドシエの追加方法を説明します。

追加したいドシエを右クリックし、「Library で開く」をクリックします。

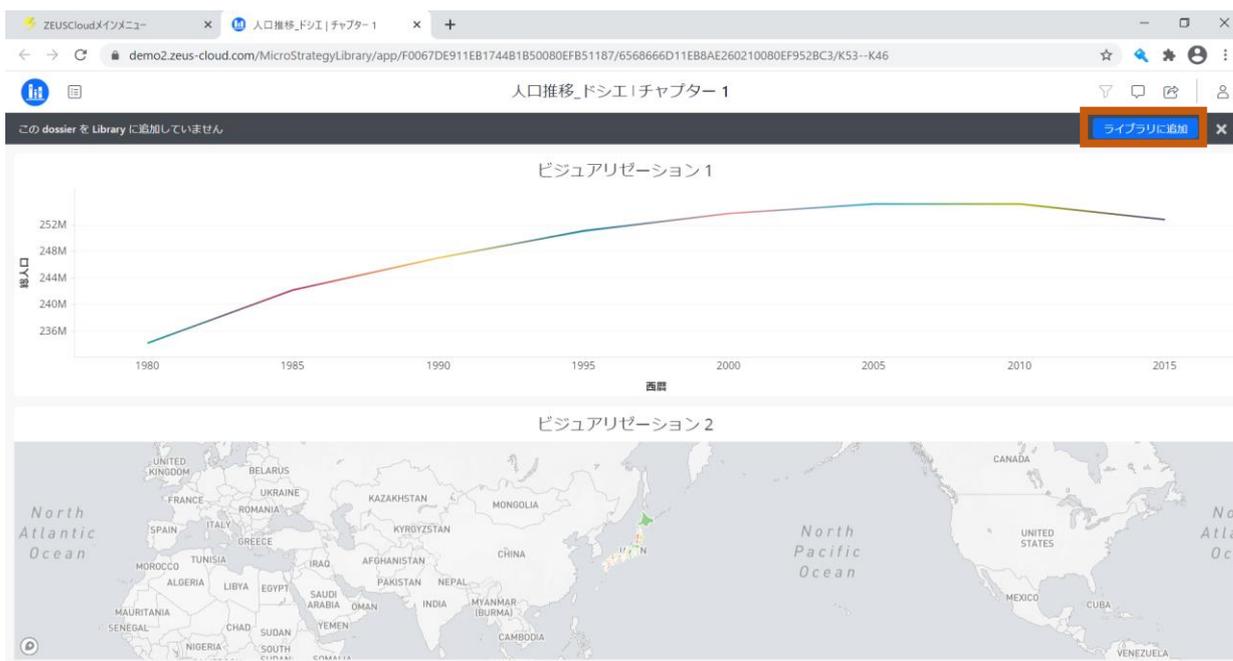
※今回は、先ほど作成した「共有レポート」内にある「人口推移\_ドシエ」を追加します。



MicroStrategy Library でドシエを開いた画面です。



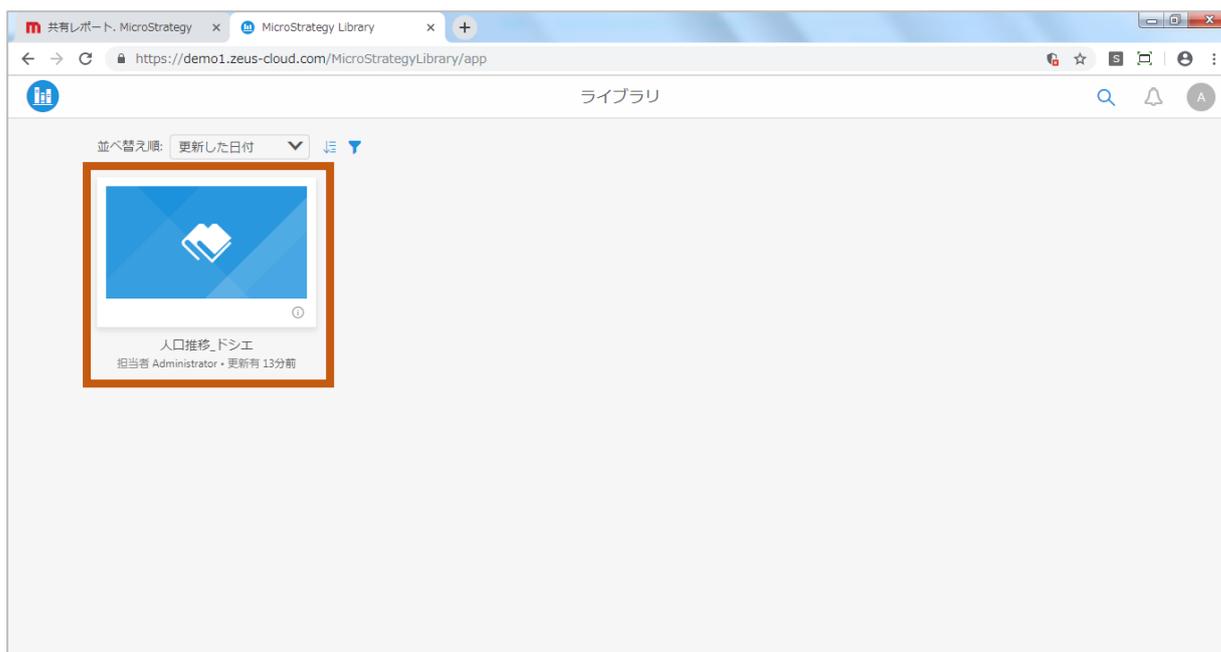
「ライブラリに追加」をクリックします。



「ライブラリに追加」をクリック後、ライブラリをクリックします。



MicroStrategy Library に追加できたことを確認します。



## 9 モバイルからの参照方法

モバイル端末で分析を参照する事が出来ます。

iPhone、iPad 及び Android の設定方法を記載します。

### 9.1 iPhone

iPhone でレポート参照するには Apple Store からアプリをインストールする必要があります。

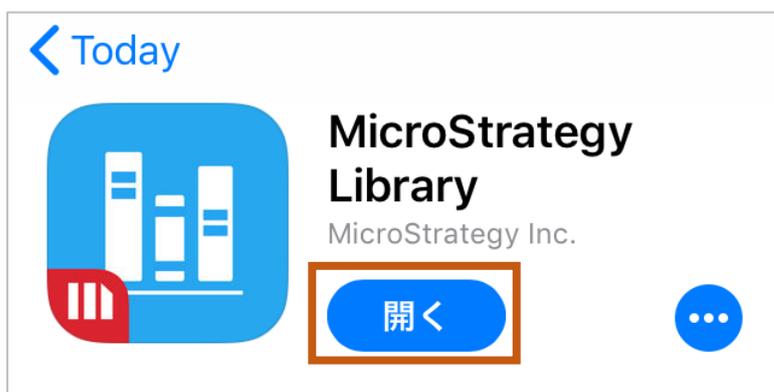
<https://itunes.apple.com/jp/app/microstrategy-library/id1333261570?mt=8>



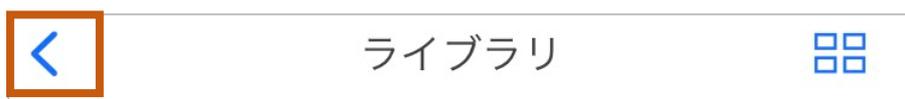
「入手」をタップします。



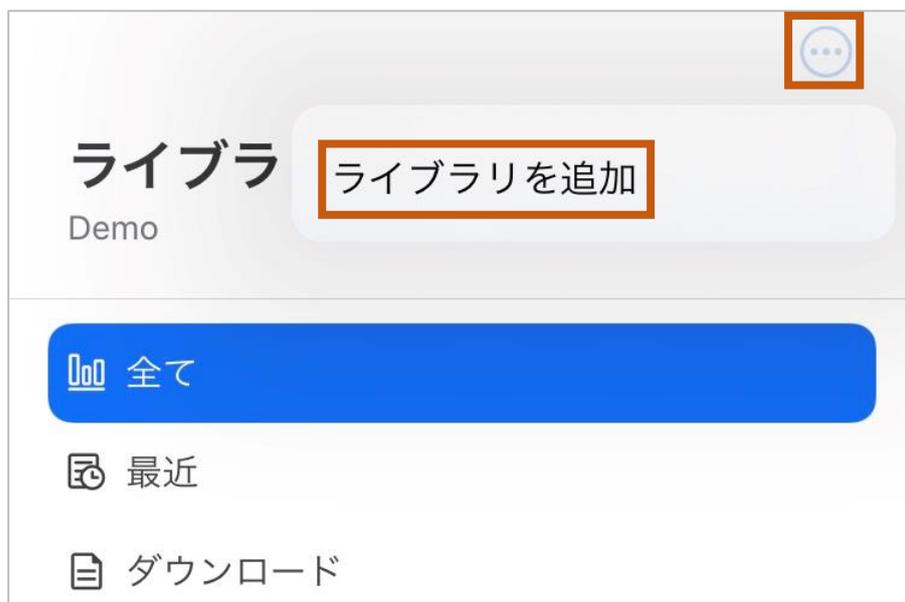
「開く」をタップします。



起動後、ライブラリの設定を行います。左上の< アイコンをタップします。



右上の⋮ アイコンをタップして表示される、「ライブラリを追加」をタップします。



接続情報を入力し、「HTTPS」をオンにします。

※接続情報と参照マニュアルは以下の表の通りです。

項番	フィールド	参照マニュアル	参照箇所
①	名前	-	任意の値を入力してください
②	アドレス	利用開始マニュアル 1.3 分析・参照機能接続情報	アドレス
③	ポート	利用開始マニュアル 1.3 分析・参照機能接続情報	ポート
④	パス	利用開始マニュアル 1.3 分析・参照機能接続情報	パス

右上の「保存」をタップします。

キャンセル
新規ライブラリ
保存

---

① 名前
ZEUSCloud

---

② アドレス
demo2.zeus-cloud.com

---

③ ポート
443

---

④ パス
MicroStrategyLibrary

---

HTTPS

ログイン画面へ遷移するので

MicroStrategy のユーザー名とパスワードを入力し、「ログイン」をタップします。

※接続情報と参照マニュアルは以下の表の通りです。

項番	フィールド	参照マニュアル	参照箇所
①	ユーザー名	基本情報記載依頼シートの 「ログインユーザー記入シート」	ユーザー名
②	パスワード	初回パスワード変更マニュアル	初回ログイン時に設定したパスワード

キャンセル ZEUSCloud

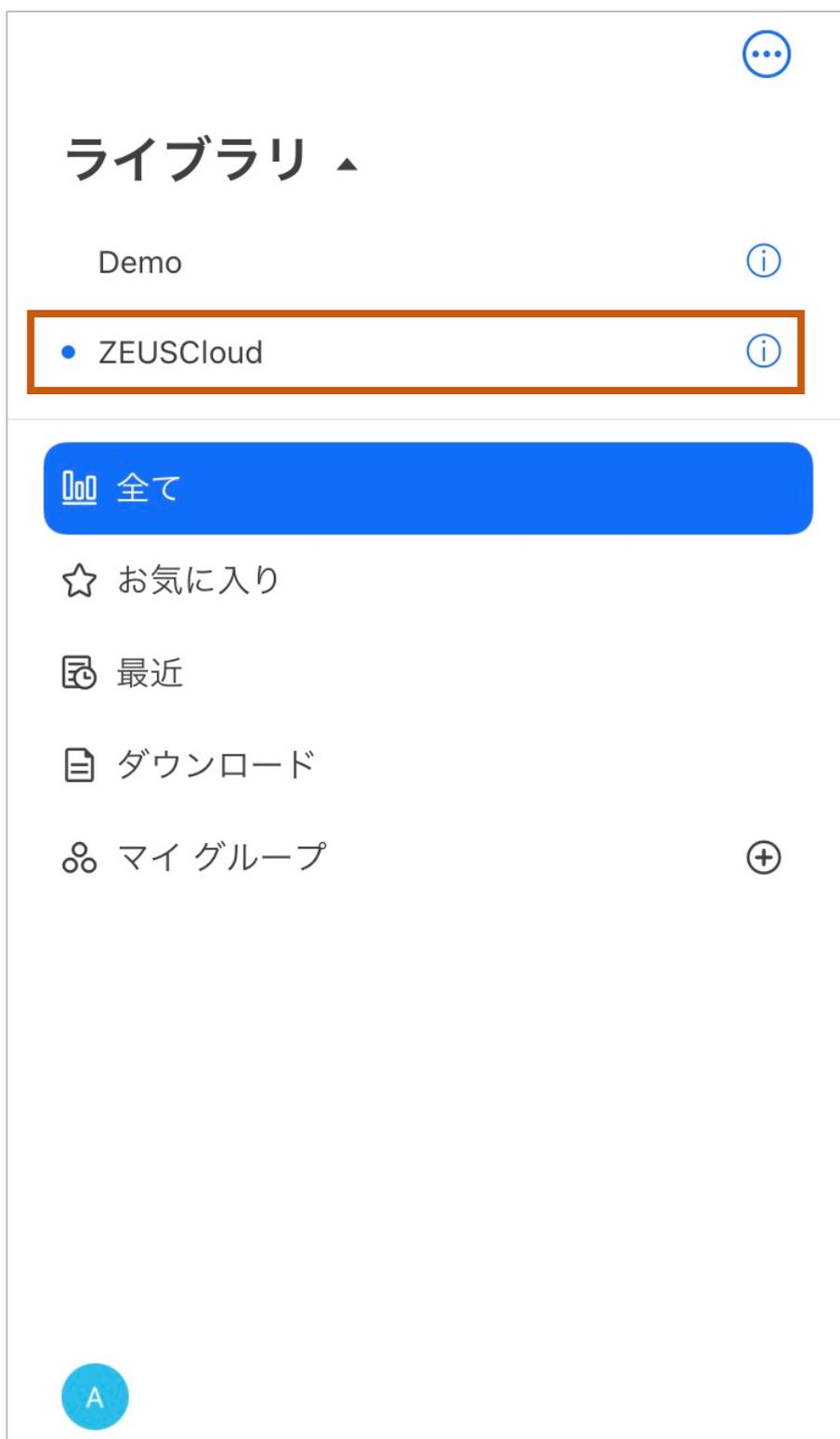
① Administrator

② ●●●●●●●●●●●● (X)

ログイン状態を保持する

ログイン

ライブラリが表示されます。接続完了です。



9.2 iPad

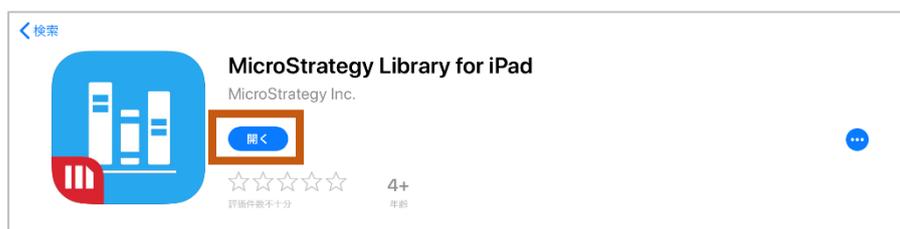
iPad でレポート参照するには Apple Store からアプリをインストールする必要があります。

<https://apps.apple.com/us/app/microstrategy-library/id1333261570/?platform=ipad>

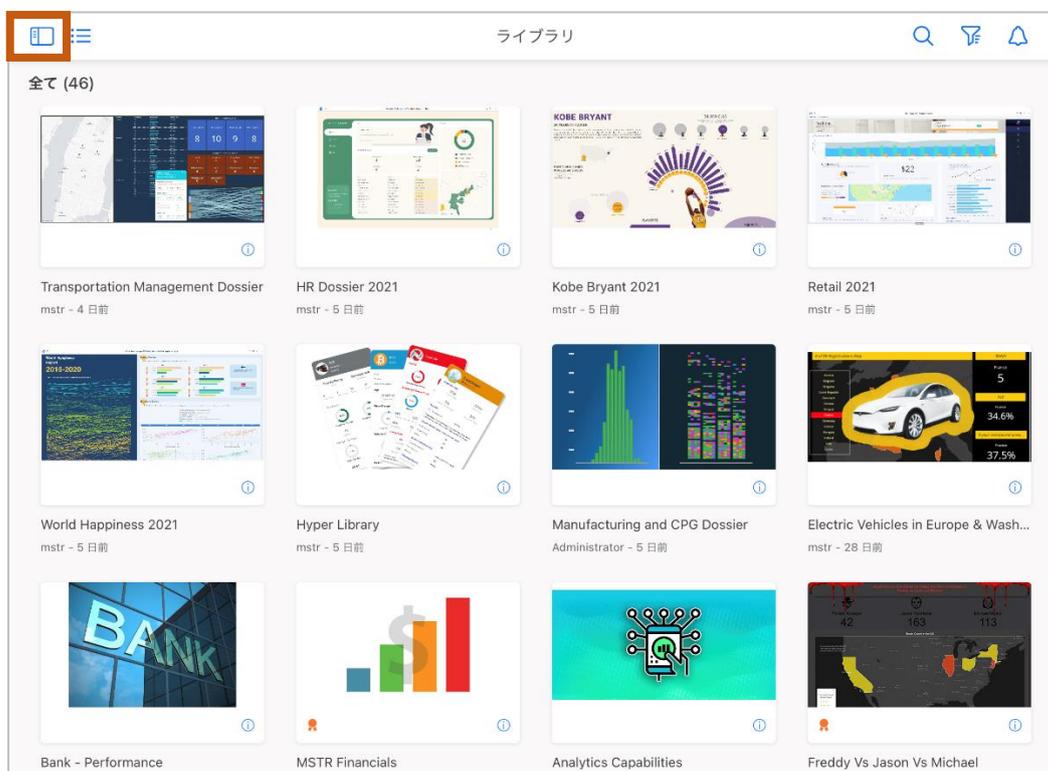


「入手」をタップしてインストールをします。

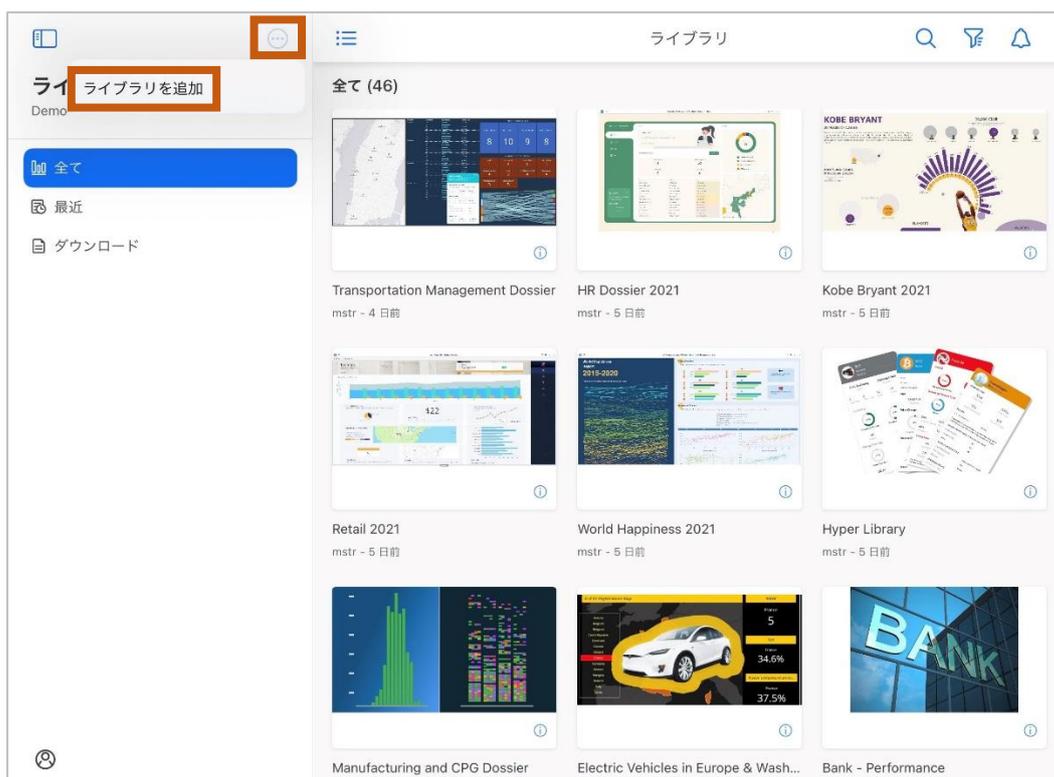
インストール後「開く」をタップします。



起動後、ライブラリの設定を行います。左上の アイコンをタップします。



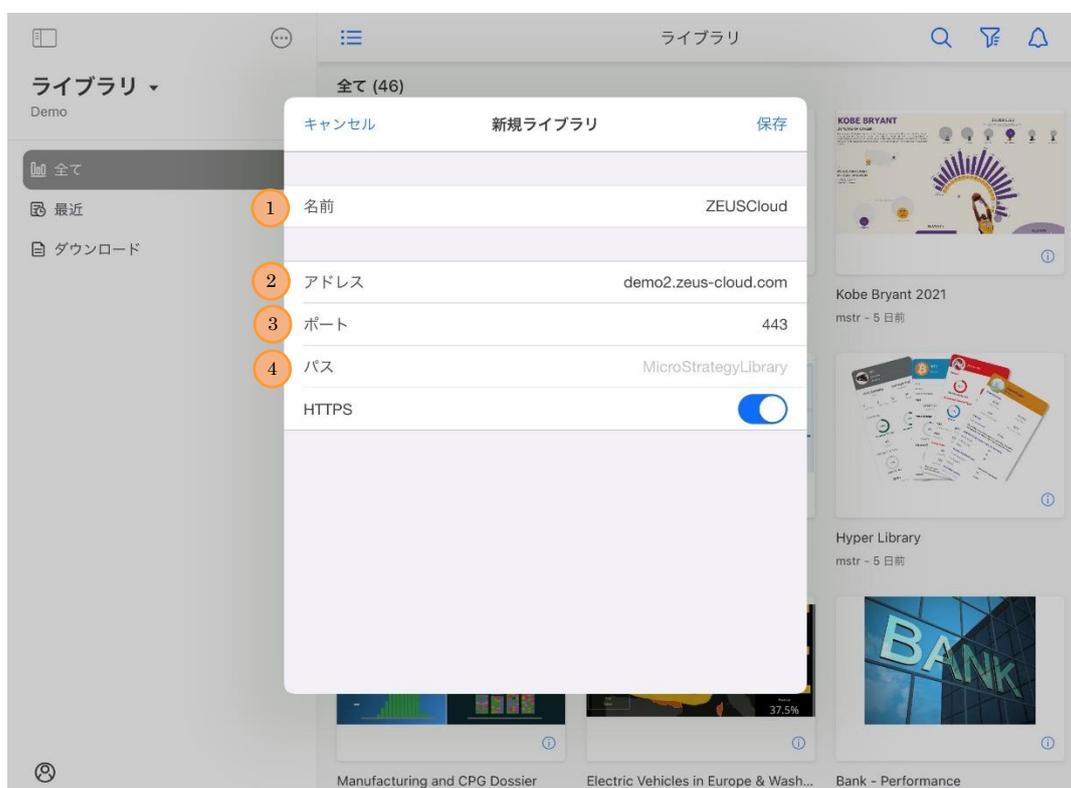
メニュー右上の  アイコンをタップして表示される、「ライブラリを追加」をタップします。



接続情報を入力し、「HTTPS」をオンにします。  
 ※接続情報と参照マニュアルは以下の表の通りです。

項番	フィールド	参照マニュアル	参照箇所
①	名前	-	任意の値を入力してください
②	アドレス	利用開始マニュアル 1.3 分析・参照機能接続情報	アドレス
③	ポート	利用開始マニュアル 1.3 分析・参照機能接続情報	ポート
④	パス	利用開始マニュアル 1.3 分析・参照機能接続情報	パス

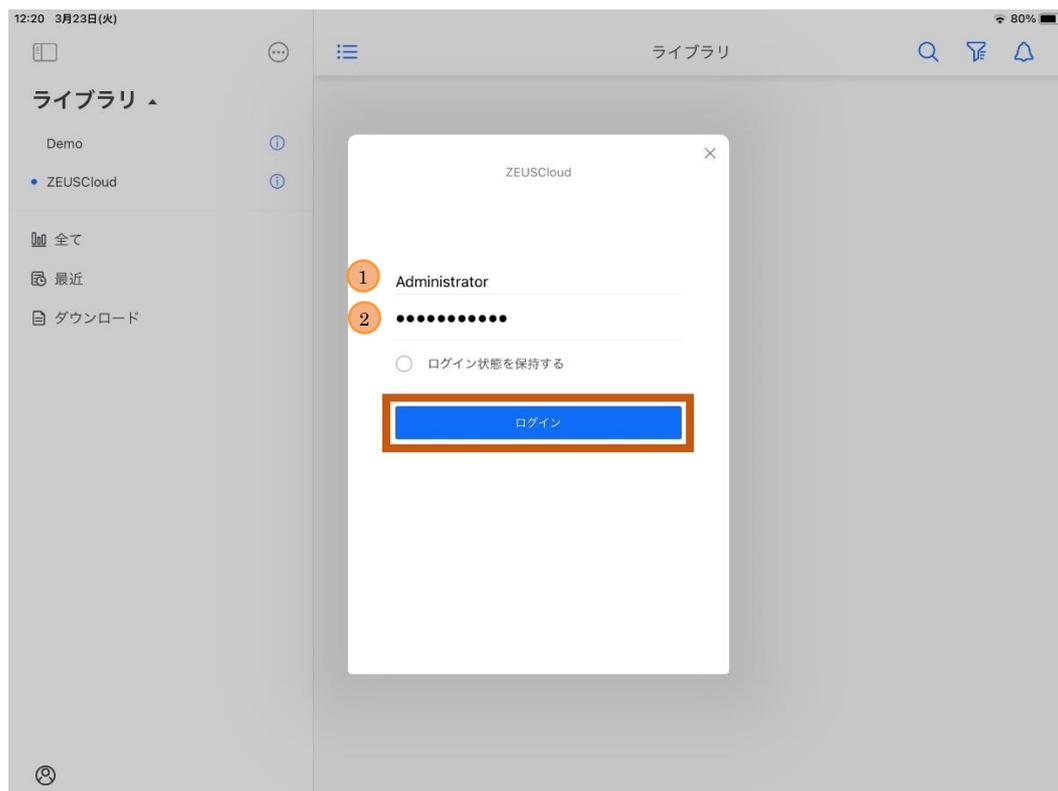
右上の「保存」をタップします。



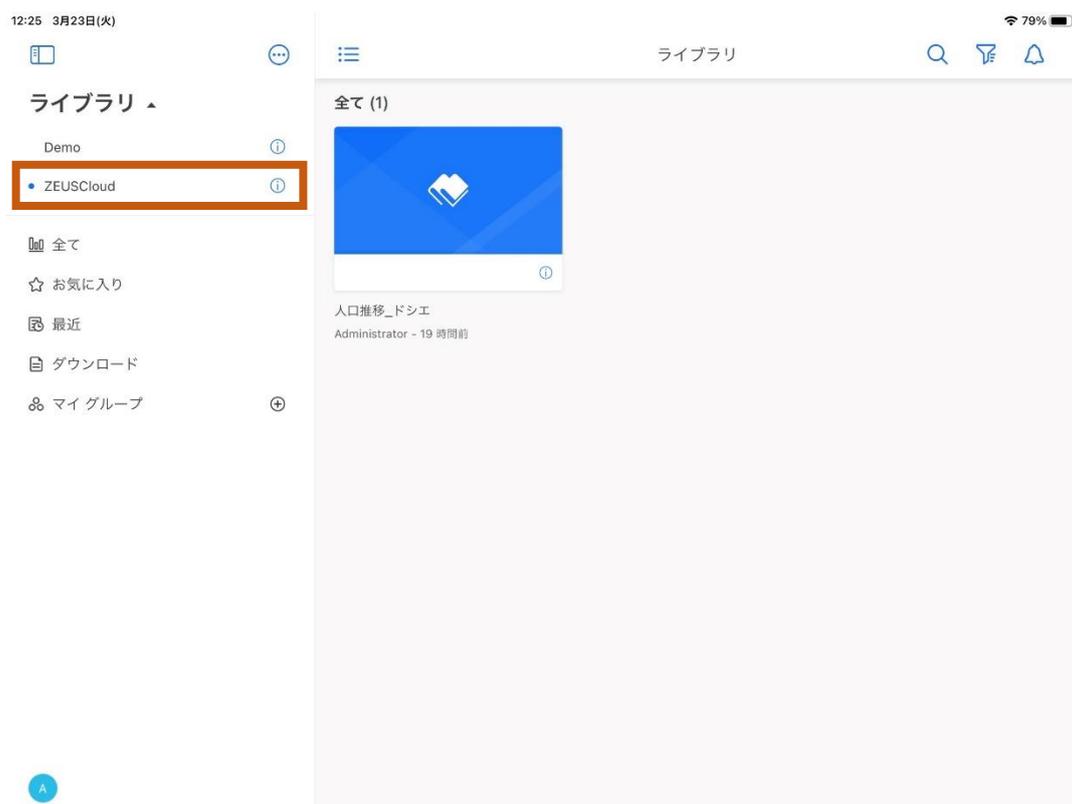
MicroStrategy のユーザー名とパスワードを入力し、「ログイン」をタップします。

※接続情報と参照マニュアルは以下の表の通りです。

項番	フィールド	参照マニュアル	参照箇所
①	ユーザー名	基本情報記載依頼シートの「ログインユーザー記入シート」	ユーザー名
②	パスワード	初回パスワード変更マニュアル	初回ログイン時に設定したパスワード



ライブラリが表示されます。接続完了です。



### 9.3 Android

Android で参照するには Play Store からアプリをインストールする必要があります。

<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.microstrategy.android.dossier>



「インストール」をタップします。



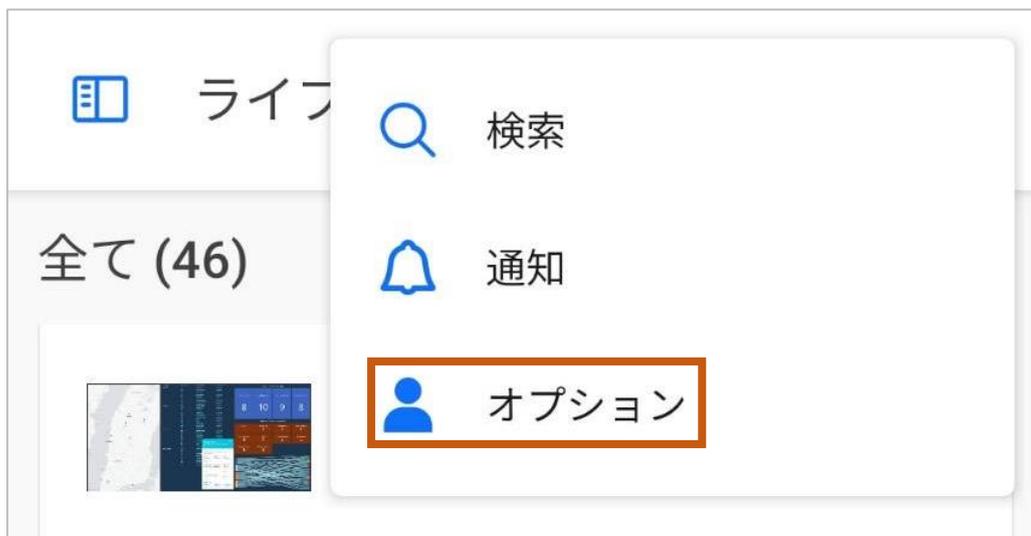
「開く」をタップします。



起動後、ライブラリの設定を行います。右上の  アイコンをタップします。



「オプション」をタップします。



「高度な設定」をタップします。



下へスクロールし、「新規ライブラリを追加」をタップします。



接続情報を入力し、「HTTPS」をオンにします。

※接続情報と参照マニュアルは以下の表の通りです。

項番	フィールド	参照マニュアル	参照箇所
①	名前	-	任意の値を入力してください
②	アドレス	利用開始マニュアル 1.3 分析・参照機能接続情報	アドレス
③	ポート	利用開始マニュアル 1.3 分析・参照機能接続情報	ポート
④	パス	利用開始マニュアル 1.3 分析・参照機能接続情報	パス

HTTPS を ON に設定し、右上の「✓」をタップします。

← 新規ライブラリ ✓

① 名前  
ZEUSCloud

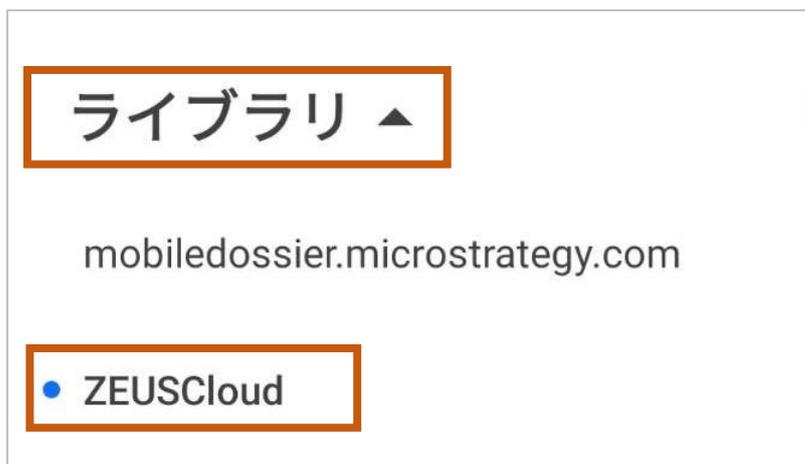
② アドレス  
demo2.zeus-cloud.com

③ ポート  
443

④ パス  
MicroStrategyLibrary

HTTPS  
HTTPS を使用してドシエ サーバーにアクセス

オプションメニューを閉じ、「ライブラリ」をタップして開きます。  
追加したライブラリをタップします。



MicroStrategy のユーザー名とパスワードを入力し、「ログイン」をタップします。

※接続情報と参照マニュアルは以下の表の通りです。

項番	フィールド	参照マニュアル	参照箇所
①	ユーザー名	基本情報記載依頼シートの 「ログインユーザー記入シート」	ユーザー名
②	パスワード	初回パスワード変更マニュアル	初回ログイン時に設定したパスワード

 ZEUSCloud

① Administrator  
\_\_\_\_\_

② .....  
\_\_\_\_\_

ログイン状態を保持する

**資格情報でログインする**

以下のメッセージが表示されたら接続完了です。



## 10 用語集

用語	分類	意味
AWS (Amazon Web Service)	AWS	Amazon が提供するサービス。インターネットを經由してサーバーやデータベース、アプリケーションなどの機能を利用できる。
AWS S3	AWS	Amazon が提供するストレージサービス。
AWS アクセスキー	AWS	AWS へプログラムからアクセスするために必要な認証情報。アクセスキーID とシークレットアクセスキーから構成される。
MicroStrategy	MicroStrategy	データを可視化する BI (ビジネスインテリジェンス) ツール。
MicroStrategy Library	MicroStrategy	MicroStrategy のドシエを描画するツール。
MicroStrategy WorkStation	MicroStrategy	MicroStrategy のクライアントツール。
MicroStrategy Developer	MicroStrategy	MicroStrategy の管理ツール。
キューブ	MicroStrategy	多面的にデータを分析したり、複数のレポート間でデータセットを共有したりすることができる多次元データセット。
SaaS	サービス	ソフトウェアの機能をネットワーク経由で使用できるサービス形態。
WinSCP	ソフトウェア	ファイルを暗号化し、コンピュータ間でファイル転送を行うソフトウェア。
ステージング領域	データ	アップロードしたデータを DWH にロードするまでの間、一時的にデータを保管するための領域。
DWH	データ	時系列に蓄積されたデータから、各項目にある関連性を分析する際に使用するデータベース。
データレイク	データ	データの整形を行わず、そのままの状態に蓄積するデータベース。
CSV	データ	カンマでデータを区切ったテキストファイル。
XML	データ	任意のタグを使ってデータを記述するフォーマット。
JSON	データ	軽量のデータ交換フォーマット。